

第3期

宗像市スポーツ推進計画

令和7年3月

宗像市

目 次

第 1 本編

1. 計画の目的	1-1
2. スポーツとは	2-1
3. 計画の位置づけ	3-1
4. 計画の期間	4-1
5. 基本理念	5-1
6. 施策の体系	6-1
7. 基本方針	7-1
8. 推進体制	8-1
9. 進捗管理	9-1

第 2 資料編

1-1. 計画策定の趣旨	1-1-1
1-2. 社会情勢の変化	1-2-1
3-1. 各計画の説明	3-1-1
5-1. 第 2 期宗像市スポーツ推進計画の振り返り	5-1-1
5-2. 宗像市の現状	5-2-1
5-3. 運動やスポーツに関する市民アンケート調査結果	5-3-1
7-1. 基本方針について	7-1-1
8-1. 関係機関について	8-1-1
9-1. 審議会の概要	9-1-1
10-1. その他	10-1-1

本編と資料編の関係性について

本編と資料編は連動する構成となっており、本編の詳細を資料編にまとめています。

本 編		資 料 編	
1	計画の目的	1-1	計画策定の趣旨
2	スポーツとは	1-2	社会情勢の変化
3	計画の位置づけ	3-1	各計画の説明
4	計画の期間	5-1	第2期宗像市スポーツ推進計画の振り返り
5	基本理念	5-2	宗像市の現状
6	施策の体系	5-3	運動やスポーツに関する市民アンケート調査結果
7	基本方針	7-1	基本方針について
8	推進体制	8-1	関係機関について
9	進捗管理	9-1	審議会の概要

第Ⅰ 本編

Ⅰ 計画の目的

本計画は、本計画の終期の5年後までにスポーツ施策において達成したい状況を明確に示すことにより、目指すべき目標を市民やスポーツ施策に携わる者と共有しやすくすること、また、目標達成のためにこれらの関係者と連携して取り組むことを目的とします。

2 スポーツとは

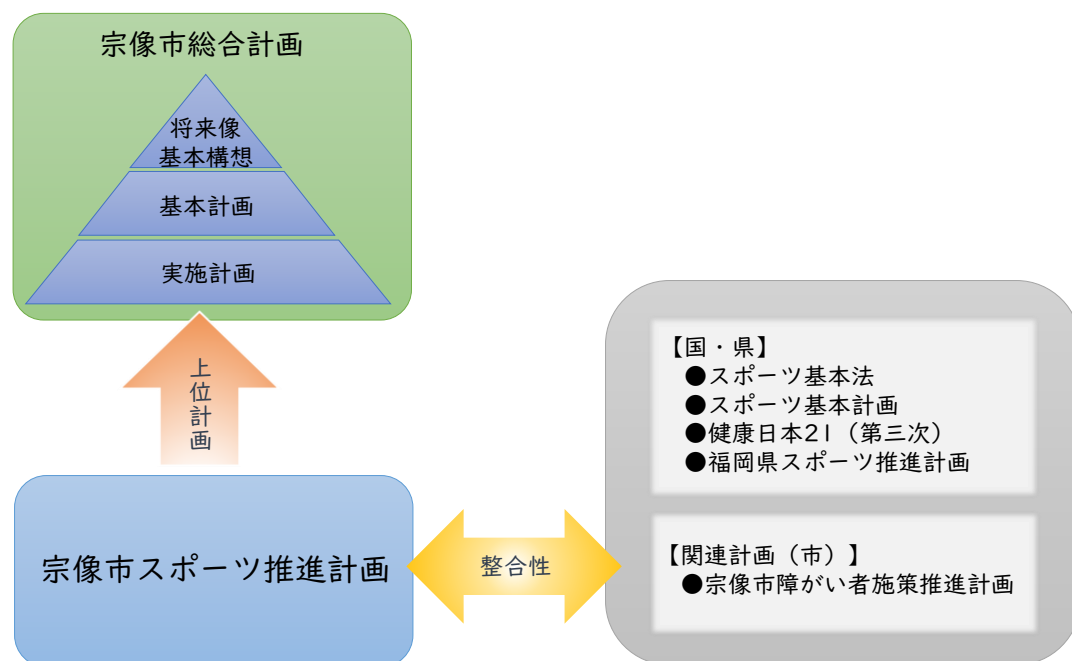
本計画では、スポーツ基本法（前文）に示されているとおり、「心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、先進的な充足感の獲得、自立心その他の精神の涵（かん）養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動」をスポーツと定義します。

なお、本計画の指標において「運動やスポーツ」等と表示しているものについては、データソースの項目の内容をそのまま表示しています。

3 計画の位置づけ

本計画は、スポーツ基本法第10条「地方スポーツ推進計画」の規定に基づくスポーツ推進に関する計画で、上位計画である「第3次宗像市総合計画（令和7年度～令和16年度）」（以下「総合計画」という。）のスポーツに関する施策を推進する上での個別計画として策定します。この計画は5年先の将来像を見据えた基本的な方針を示すもので、具体的な取り組みについては、「総合計画」の「実施計画（総合計画の基本計画を推進するための事業を定めるもの）」に定めます。

計画の策定にあたっては、「総合計画」のスポーツ推進に関する方向性を基本とし、「スポーツ基本法」、「福岡県スポーツ推進計画」を踏まえるとともに、本市の関係する各種計画との整合を図っています。



4 計画の期間

本計画は、令和7年度（2025年度）から令和11年度（2029年度）までの5年間の計画期間とします。

5 基本理念

『「スポーツ」と「市民」と「宗像市」と 共に創る 笑顔輝くむなかたのまち』

スポーツは、生活習慣病の予防等身体的な健康の維持増進だけでなく、爽快感や達成感、楽しみや喜びをもたらします。さらには、人と人、地域と地域との交流も深め、人生をより豊かに、充実したものとしします。

本計画では、市民の誰もがいつまでもスポーツを楽しみ、喜びを実感し続けることで、スポーツが市民にとって、人生を豊かに彩る存在となることを目指します。

6 施策の体系

施策体系

本計画の基本理念『「スポーツ」と「市民」と「宗像市」と共に創る 笑顔輝くむなかたのまち』を踏まえて、取り組むべき6つの基本方針を以下のとおり定めました。

【6つの基本方針】

1. スポーツで市民の心と身体健康づくり

アンケートの結果から市民の身体活動への関心が国の平均と比べて低いと推測されるため、無関心層へのアプローチを中心に健康づくりを推進します。

2. 誰もがスポーツを楽しむことのできる環境づくり

スポーツ施設の利用状況等からスポーツを生きがいにしている市民が多いことから、引き続き市民のスポーツによる生きがいづくりを推進します。

3. 子どもがスポーツを楽しめる機会の創出

アンケートの結果から、大人からスポーツを始めることのハードルが高いこと、子どもからスポーツを始めることが大切であることの見解が多いことから、中学生を中心に子どもがスポーツを楽しめる機会の創出を推進します。

4. スポーツ活動を支える基盤体制の整備

第2期宗像市スポーツ推進計画の振り返りから宗像市スポーツ協会や民間組織等、スポーツ施策の関係者との更なる連携が必要であるため、これらの関係者との連携強化等の基盤づくりを推進します。

5. 「伝わる」効果的な情報の発信

アンケートの結果から、スポーツ施策の取り組み内容の認知度が低く、また、スポーツに関する情報が少ないと感じている人が多いことから、市民が知りたいときに知りたい情報にたどり着けるよう、また、発信した情報が市民のもとへ届き、興味を持ってもらえるよう、「伝わる」効果的な情報の発信を推進します。

6. “むなかた”の地域資源を活用したスポーツ観光等の推進

本市には、海や宿泊施設とスポーツ施設が充実したグローバルアリーナ、10年以上続く実業団女子駅伝等、貴重な地域資源があることから、これらの地域資源を持続して活用するスポーツ観光等のスポーツ活動を推進します。

施策の体系図は以下のとおりです。

基本理念

基本方針

施策目標

「スポーツ」と「市民」と「宗像市」と共に創る
笑顔輝くむなかたのまち

スポーツで市民の心と身体の健康づくり

- 自分の健康状態に適したスポーツに取り組める（◆）
- 市民が地区ごとに自宅から歩けるウォーキングコースを知っている（◆）
- 健康意識が高まり、新たにスポーツを始める人が増えている

誰もがスポーツを楽しむことのできる環境づくり

- 誰もが気軽にスポーツに取り組める（★◆）
- スポーツの体験→練習→仲間づくりができる（★）
- スポーツを継続する人のために、その目標となる成果発表の場がある（★◆）
- 市民のニーズに合ったプログラムを提供している（★◆）
- 障がいの有無にかかわらずスポーツに親しむことができる
- スポーツの継続年数にかかわらず、スポーツを通じて楽しさや喜びを実感し続けることができる
- スポーツを始めるきっかけとしてeスポーツの普及について研究している

子どもがスポーツを楽しめる機会の創出

- 幼児期から様々なスポーツを体験できる（★◆）
- すべての中学生が取り組みたいスポーツを行うことができる（◆）
- 子どもがトップスポーツ選手と交流できる（◆）

スポーツ活動を支える基盤体制の整備

- それぞれの取り組みにおいて適した指導者がいる（★）
- 相談できる環境が整っており、市民がそれを知っている（★◆）
- 市民のスポーツできる場を確保している
- 地域スポーツの課題が明らかになり、スポーツ推進委員と連携してそれらに取り組んでいる
- スポーツ施設に関する計画に基づく施設の集約・複合化や既存施設の有効活用等を着実に実行している
- 市民が施設にアクセスしやすくなる対策を研究している
- 世代や地域を超えて交流できる場がある
- 市民が市内でスポーツ観戦をしている（トップスポーツ）
- スポーツ協会に「★」を推進する基盤体制が構築できるよう体制の整備に努める

「伝わる」効果的な情報の発信

- 市民が次のサービスを知っている（★）
①施設で何ができるか ②施設の使い方やルール ③スポーツ用具の貸出制度
- 毎年、市広報紙でスポーツの体験→教室（練習）→仲間づくり→成果発表の場（→観戦（見学））を情報発信している
- 「◆」の情報を発信している
- 情報発信（蓄積）サイトが充実している
- 発信した情報が市民のもとへ確実に届いている
- 宗像市のイベントが市外の人にも興味を持ってもらえている

“むなかた”の地域資源を活用したスポーツ観光等の推進

- 毎年、子どもたちに海に親しむ機会を提供している（◆）
- プリンセス駅伝が継続されるよう支援を行っている（◆）
- ホスタウン交流による子どもの異文化交流ができていく（◆）
- 世代ごとのラグビーを通じた交流やラグビーの試合、観戦の提供が行われるように支援を行っている（◆）
- 市内の民間スポーツ施設等のスポーツ資源を有効に活用している

7 基本方針

【施策目標に含まれる記号（★）（◆）の意味について】

文末に（★）がついている目標の（★）印については、「基本方針4」の「施策目標⑨」の「スポーツ協会に「★」を推進する基盤体制が構築できるよう体制の整備に努める」の★印のことを指します。

文末に（◆）がついている目標の（◆）印については、「基本方針5」の「施策目標③」の「「◆」の情報が発信されている」の◆印のことを指します。

基本方針Ⅰ スポーツで市民の心と身体健康づくり

アンケートの結果から市民の身体活動への関心が国の平均と比べて低いと推測されるため、無関心層へのアプローチを中心に健康づくりを推進します。

施策目標① 自分の健康状態に適したスポーツに取り組める（◆）

目標	指標	データソース	目標値	現状値
スポーツを行っている者の増加	「成人の週1回30分以上の運動やスポーツを行っている者」の割合	市民アンケート	50.0%	45.0%
	「成人の週1回30分以上の運動やスポーツを行っている者」の割合	5年後の文化スポーツ課アンケート	50.0%	45.7%
	「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している人」の割合	法定報告	57.0%	52.1%

施策目標② 市民が地区ごとに自宅から歩けるウォーキングコースを知っている（◆）

目標	指標	データソース	目標値	現状値
ウォーキングコースを知っている者の増加	ウォーキングコースを知っている者の割合	5年後の文化スポーツ課アンケート	推進地区で20.0%	なし

施策目標③ 健康意識が高まり、新たにスポーツを始める人が増えている

目標	指標	データソース	目標値	現状値
(再掲) スポーツを行っている者の増加	「成人の週 1 回 30 分以上の運動やスポーツを行っている者」の割合	市民アンケート	50.0%	45.0%
	「成人の週 1 回 30 分以上の運動やスポーツを行っている者」の割合	5 年後の文化スポーツ課アンケート	50.0%	45.7%
	「1 回 30 分以上の軽く汗をかく運動を週 2 日以上、1 年以上実施している人」の割合	法定報告	57.0%	52.1%
スポーツを通じた健康づくりに関する相談支援件数の増加	スポーツを通じた健康づくりに関する相談支援件数	実績	100 件/年	なし

基本方針 2 誰もがスポーツを楽しむことのできる環境づくり

スポーツ施設の利用状況等からスポーツを生きがいに行っている市民が多いことから、引き続き市民のスポーツによる生きがいづくりを推進します。

施策目標① 誰もが気軽にスポーツに取り組める (★◆)

目標	指標	データソース	目標値	現状値
(再掲) スポーツを行っている者の増加	「成人の週 1 回 30 分以上の運動やスポーツを行っている者」の割合	市民アンケート	50.0%	45.0%
	「成人の週 1 回 30 分以上の運動やスポーツを行っている者」の割合	5 年後の文化スポーツ課アンケート	50.0%	45.7%
	「1 回 30 分以上の軽く汗をかく運動を週 2 日以上、1 年以上実施している人」の割合	法定報告	57.0%	52.1%
スポーツを行っていない者の減少	「運動やスポーツを行っていない者」の割合	5 年後の文化スポーツ課アンケート	35.0%	37.4%

施策目標② スポーツの体験→練習→仲間づくりができる（★）

目標	指標	データソース	目標値	現状値
体験できる教室の設置	体験できる教室の数	実績	5 種目	なし
スキルアップできる教室の設置	スキルアップできる教室の数	実績	5 種目	なし
共通の目的を持った者が集って競い合う教室の設置	共通の目的を持った者が集って競い合う教室の数	実績	5 種目	なし
団体加入率の増加	団体加入率	5 年後の文化スポーツ課アンケート	16.0%	15.0%

施策目標③ スポーツを継続する人のために、その目標となる成果発表の場がある（★◆）

目標	指標	データソース	目標値	現状値
成果発表の場の設置	成果発表ができる種目の数	実績	19 種目	なし

施策目標④ 市民のニーズに合ったプログラムを提供している（★◆）

目標	指標	データソース	目標値	現状値
アンケートでニーズの多いプログラムの提供	プログラムの種目の数	実績	3 種目	なし

施策目標⑤ 障がいの有無にかかわらずスポーツに親しむことができる

目標	指標	データソース	目標値	現状値
スポーツや文化芸術活動等への参加率の増加	スポーツや文化芸術活動等の参加率	実績	26.0%	22.5%

施策目標⑥ スポーツの継続年数にかかわらず、スポーツを通じて楽しさや喜びを実感し続けることができる

目標	指標	データソース	目標値	現状値
スキルや目的に合った教室の設置	スキル等に合わせて選ぶことができる教室の数	実績	4 教室	なし
上記教室の指導者の育成や確保	上記教室に携わる指導者の人数	実績	4 人	なし

施策目標⑦ スポーツを始めるきっかけとしてeスポーツの普及について研究している

目標	指標	データソース	目標値	現状値
-	-	-	-	-

基本方針3 子どもがスポーツを楽しめる機会の創出

アンケートの結果から、大人からスポーツを始めることのハードルが高いこと、子どもからスポーツを始めることが大切であることの見解が多いことから、中学生を中心に子どもがスポーツを楽しめる機会の創出を推進します。

施策目標① 幼児期から様々なスポーツを体験できる（★◆）

目標	指標	データソース	目標値	現状値
幼児対象の体験教室の増加	体験できる種目の数	実績	2 種目	なし
スポーツが好きな小学5年生の増加	「運動が好きな小学5年生」の割合	学校アンケート（全国体力テスト）	66.0%	61.0%

施策目標② すべての中学生が取り組みたいスポーツを行うことができる（◆）

目標	指標	データソース	目標値	現状値
中学生対象の様々な教室の設置	種目の数	実績	10 種目	10 種目
中学生対象の学校以外の場での教室の設置	種目の数	実績	3 種目	3 種目

スポーツが好きな中学２年生の増加	「運動が好きな中学２年生」の割合	学校アンケート（全国体カテスト）	50.0%	44.1%
------------------	------------------	------------------	-------	-------

施策目標③ 子どもがトップスポーツ選手と交流できる（◆）

目標	指標	データソース	目標値	現状値
トップスポーツ選手との交流事業の実施	交流事業の回数	実績	２回/年	年２回

基本方針４ スポーツ活動を支える基盤体制の整備

第２期宗像市スポーツ推進計画の振り返りから宗像市スポーツ協会や民間組織等、スポーツ施策の関係者との更なる連携が必要であるため、これらの関係者との連携強化等の基盤づくりを推進します。

施策目標① それぞれの取り組みにおいて適した指導者がいる（★）

目標	指標	データソース	目標値	現状値
（再掲）上記教室の指導者の育成や確保	上記教室に携わる指導者の人数	実績	４人	なし

施策目標② 相談できる環境が整っており、市民がそれを知っている（★◆）

目標	指標	データソース	目標値	現状値
（再掲）スポーツを通じた健康づくりに関する相談支援件数の増加	スポーツを通じた健康づくりに関する相談支援件数	実績	100件/年	なし
上記の支援体制の市民の認知	知っている市民の割合	５年後の文化スポーツ課アンケート	アクアドーム 76.0% スポーツ協会 30.0% 相談支援体制 30.0%	アクアドーム 74.9% スポーツ協会 16.0% サポートセンター 6.3%

施策目標③ 市民のスポーツできる場を確保している

目標	指標	データソース	目標値	現状値
種目数の維持	種目数	実績	19 種目	なし
面数の維持	面数	実績	屋内施設 バスケット 40 面 温水プール 25m×7 コース 屋外施設 野球場 5 面 テニスコート 11 面 弓道場	屋内施設 バスケット 40 面 温水プール 25m×7 コース 屋外施設 野球場 5 面 テニスコート 11 面 弓道場
稼働率の維持	稼働率	実績	屋内施設 93.0% 屋外施設 50.0%	屋内施設 (3 体育館): 91.4% 屋外施設 (運動広場): 44.3%

施策目標④ 地域スポーツの課題が明らかになり、スポーツ推進委員と連携してそれらに取り組んでいる

目標	指標	データソース	目標値	現状値
スポーツ推進委員の支援体制の維持	支援回数	実績	20 回/年	20 回/年
スポーツ推進委員との連携による地域課題解決事業の推進	委員の延べ参加人数	実績	484 人/年	484 人/年

施策目標⑤ スポーツ施設に関する計画に基づく施設の集約・複合化や既存施設の有効活用等を着実に実行している

目標	指標	データソース	目標値	現状値
-	-	-	-	-

施策目標⑥ 市民が施設にアクセスしやすくなる対策を研究している

目標	指標	データソース	目標値	現状値
-	-	-	-	-

施策目標⑦ 世代や地域を超えて交流できる場がある

目標	指標	データソース	目標値	現状値
南の郷クラブの 会員数の増加	南の郷クラブの会員数	実績	154 人	124 人

施策目標⑧ 市民が市内でスポーツ観戦（トップスポーツ）をしている

目標	指標	データソース	目標値	現状値
市内観戦者数の 増加	「市内で観戦したことがあ る者」の割合	5 年後の文化ス ポーツ課アンケ ート	10.0%	6.0%

施策目標⑨ スポーツ協会に「★」を推進する基盤体制が構築できるよう体制の整備に
努める

目標	指標	データソース	目標値	現状値
-	-	-	-	-

基本方針 5 「伝わる」効果的な情報の発信

アンケートの結果から、スポーツ施策の取り組み内容の認知度が低く、また、スポーツに
関する情報が少ないと感じている人が多いことから、市民が知りたいときに知りたい情報
にたどり着けるよう、また、発信した情報が市民のもとへ届き、興味を持ってもらえるよう
「伝わる」効果的な情報の発信を推進します。

施策目標① 市民が次のサービスを知っている ①施設で何ができるか ②施設の使い方
やルール ③スポーツ用具の貸出制度（★）

目標	指標	データソース	目標値	現状値
認知度の増加	認知度	5 年後の文化ス ポーツ課アンケ ート	①60.0% ②60.0% ③15.0%	①なし ②なし ③13.7%

施策目標② 毎年、市広報紙でスポーツの体験→教室(練習)→仲間づくり→成果発表の場
(→観戦(見学))を情報発信している

目標	指標	データソース	目標値	現状値
情報発信の定着	市広報紙への掲載号数	実績	1 回/年	なし

施策目標③ 「◆」の情報を発信している

目標	指標	データソース	目標値	現状値
情報発信の定着	市広報紙への掲載号数	実績	1回/年	なし

施策目標④ 情報発信（蓄積）サイトが充実している

目標	指標	データソース	目標値	現状値
サイト認知度の増加	認知度	5年後の文化スポーツ課アンケート	25.0%	なし

施策目標⑤ 発信した情報が市民のもとへ確実に届いている

目標	指標	データソース	目標値	現状値
（再掲）サイト認知度の増加	認知度	5年後の文化スポーツ課アンケート	25.0%	なし

施策目標⑥ 宗像市のイベントが市外の人にも興味を持ってもらえている

目標	指標	データソース	目標値	現状値
同一イベントの市外視聴率の増加	市外視聴率（プリンセス駅伝）	実績	6.3%	5.8%

基本方針6 “むなかた”の地域資源を活用したスポーツ観光等の推進

本市には、海や宿泊施設とスポーツ施設が充実したグローバルアリーナ、10年以上続く実業団女子駅伝等、貴重な地域資源があることから、これらの地域資源を持続して活用するスポーツ観光等のスポーツ活動を推進します。

施策目標① 毎年、子どもたちに海に親しむ機会を提供している（◆）

目標	指標	データソース	目標値	現状値
維持	提供件数	実績	25 コマ/年	25 コマ/年

施策目標② プリンセス駅伝が継続されるよう支援を行っている（◆）

目標	指標	データソース	目標値	現状値
持続	実績	実績	5 年継続	10 年継続

施策目標③ ホストタウン交流による子どもの異文化交流ができていく（◆）

目標	指標	データソース	目標値	現状値
持続	交流件数	実績	5 件/年	9 件/年

施策目標④ 世代ごとのラグビーを通じた交流やラグビーの試合、観戦の提供が行われるように支援を行っている（◆）

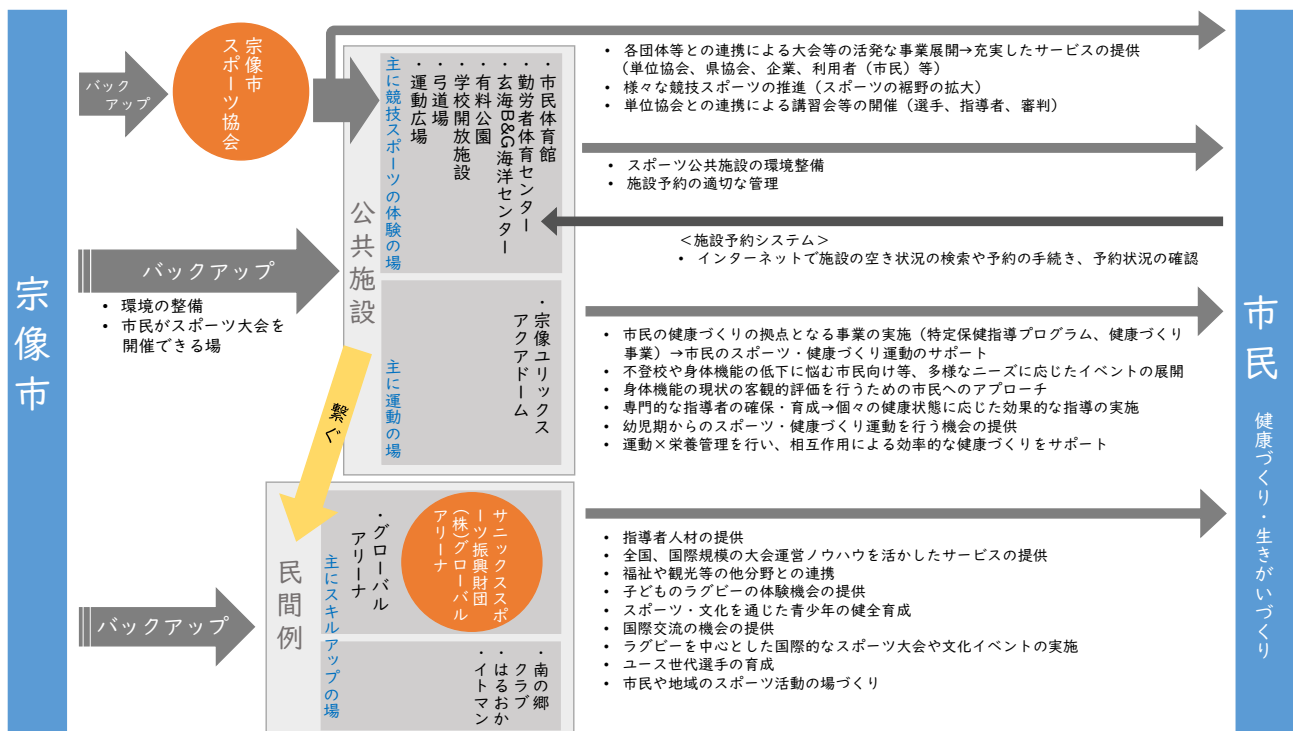
目標	指標	データソース	目標値	現状値
持続	来場者数	実績	4,000 人/日（休日）	なし

施策目標⑤ 市内の民間スポーツ施設等のスポーツ資源を有効に活用している

目標	指標	データソース	目標値	現状値
活用数の増加	活用数	実績	6 回/年	なし

8 推進体制

本計画の実現に向けては、行政だけでなく、市民、スポーツ関係団体、民間組織等との協働が必要不可欠であります。それぞれの役割を認識し、各主体が連携を図りながら、効果的に本計画を推進していくため、各主体の役割を次のとおり整理しました。



9 進捗管理

本計画の進捗管理については、基本方針ごとの指標をもとに、毎年度、達成状況の把握と評価を行い、次年度以降の取り組みに繋がります。また、評価結果については、「宗像市スポーツ推進審議会」に諮り、必要に応じて取り組みの見直しや改善、重点化を検討する等、市民ニーズや宗像市を取り巻く社会情勢等の変化にも柔軟に対応しつつ、計画を進めます。

第2 資料編

1-1. 計画策定の趣旨

このたび、平成27年度に作成した「宗像市スポーツ推進計画」が、計画期間である10年（第1期（前期）：平成27年度～令和元年度、第2期（後期）：令和2年度～令和6年度）を経過することから、新たに第3期となる「宗像市スポーツ推進計画」を策定します。

本計画の策定にあたっては、第2期計画における取り組みの振り返りや市民のニーズ等の分析を行い、現状の課題を整理してきました。この課題を踏まえ、今後5年間におけるスポーツ行政の方向性を明確に示しています。

また、本計画は、各項目における要点のみを本文に簡潔明瞭に示し、その詳細や関連情報については、全て資料編にまとめました。これにより、これまでの量感のある計画のイメージを一新させ、より読みやすく、活用しやすい計画となるよう作成しました。さらに、これまでの計画には明記していなかった関係機関等のそれぞれの役割を明記し、関係者との連携体制を明確に示すこととしました。

このように、本市の実情に沿った新たな宗像市スポーツ推進計画を策定することにより、本市のスポーツに関する施策を着実に推進させ、基本理念である『「スポーツ」と「市民」と「宗像市」と共に創る 笑顔輝くむなかたのまち』の実現を目指します。

1-2. 社会情勢の変化

本市では、平成 27 年 3 月に、平成 27 年度からの 10 年間を計画期間とした「宗像市スポーツ推進計画」を策定（第 1 期（前期）：平成 27 年度～令和元年度、第 2 期（後期）：令和 2 年度～令和 6 年度）し、この計画の基本理念である「スポーツで笑顔・元気あふれるまちづくり」の実現に向けて、様々な施策の推進に取り組んできました。

この間、人口の減少や高齢化、デジタル技術の進展、脱炭素社会への対応等、私たちを取り巻く状況は大きく変化してきました。特に、「ラグビーワールドカップ 2019」「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」という大規模な国際大会が続き、世界中がスポーツを通じた盛り上がりを見せている最中に発生した、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、私たちの日常生活に未曾有の事態をもたらし、スポーツイベントや競技大会も延期・中止を余儀なくされました。

そうした中、国は、新たに「第 3 期スポーツ基本計画（令和 4 年度～令和 8 年度）」を策定しました（令和 4 年 3 月）。「第 3 期スポーツ基本計画」では、国民がスポーツを「する」「みる」「ささえる」ことを真に実現できる社会を目指すため、「つくる/はぐくむ」「あつまり、ともに、つながる」「誰もがアクセスできる」という 3 つの新たな視点を取り入れ、スポーツそのものが有する価値やスポーツが社会活性化等に寄与する価値をさらに高めていくとされています。

福岡県は、福岡県スポーツ推進条例の施行、スポーツ局の設置、大規模スポーツ大会の誘致や福岡県スポーツコミッションの設立等を行い、新たに「福岡県スポーツ推進計画（令和 6 年度～令和 10 年度）」を策定しました。この計画では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けるなどによって、前回計画の目標の進捗が十分でないものもあることから、前回計画で掲げていた“福岡県のスポーツをより元気に、スポーツの力で福岡県をより元気に”という「スポーツ立県福岡」の理念を継続させ、その実現に向け取り組みをさらに進めていくこととされています。

本市においては、令和 2 年 3 月に、平成 27 年 3 月に策定した「宗像市スポーツ推進計画」の中間見直しを行いました。「スポーツで笑顔・元気あふれるまちづくり」という基本理念の実現に向けて、市民の日常的なスポーツ活動の推進から、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に関する誘致活動、地域資源を活用した国際交流やトップスポーツ選手との交流等、様々な取り組みを行ってきました。また、「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」を受けて取り組みを開始した、中学校部活動の地域移行については、全国に先駆けた取り組みであり、こうした新たな事業にも積極的に取り組んできました。

3-1. 各計画の説明

— 上位計画 —

名称	概要
宗像市総合計画	本市のまちづくりの方向性を定めた計画

— 関連計画 —

名称	概要
宗像市障がい者施策推進計画	障がいのある人に関する施策の基本的な方向性を定めた計画 (障害者基本法第11条に基づく市町村障害者計画)

障がいのある人に関する施策の基本的な方向性を定めた計画である「宗像市障がい者施策推進計画」では、「施策分野10 文化芸術活動・スポーツ等の振興」の「(2) スポーツに親しめる環境整備」において、障がい者が日常的にスポーツ活動に取り組めるような環境整備を行うことを基本方針に掲げ、障がい者の参加に配慮した各種スポーツイベントやスポーツ教室等、障がい者のためのスポーツ活動の場の確保に努めることが示されています。

5-1. 第2期宗像市スポーツ推進計画の振り返り

1 スポーツ・運動を通じた市民健康活動の推進

(1) 市民エンジョイ・ウォーキング事業

①ウォーキングの普及、推進

宗像市スポーツサポートセンターにおいて、個人でウォーキング、ジョギング等の運動をしている人を支援するため、「宗像市ウォーキングマップ」等を活用した健康ウォーキング情報の提供やウォーキング等を活用した健康づくり教室、カウンセリング等の開催を行います。また、ウォーキングの習慣化に繋がるような情報の発信や誰もが気軽に活用したくなる携帯電話等のアプリケーションなどの紹介を行い、運動をする人が増加するような働きかけを行います。

宗像市スポーツサポートセンターのホームページにおいて市内ウォーキングマップの紹介をはじめとして、令和2年度からノルディックウォーキング体験教室の開催やふくおか健康ポイントアプリを活用した「つながりヘルスケア」事業の推進を行い、ふくおか健康ポイントアプリへの加入促進やアプリを活用したウォーキングの開催に努めました。

また、ウォーキングの習慣化につなげる活動として、市委託事業で「スポーツ推進委員活動モデルウォーキング事業」を玄海地区のスポーツ推進委員2名に委託し、玄海のびのびウォーキングと銘打って令和4年9月から毎月1回継続的に実施しました。

さらに、ウォーキングの成果を発揮する場として、令和4年度より宗像市主催のウォーキング大会「イイいさんウォーキング宗像大会」を開催し、毎年200名程度の市民が参加しています。

今後の課題としては、ウォーキング活動のさらなる活発化、ウォーキングマップ・アプリの活用や普及・広報をより良くするための研究が必要です。

・参考：イイいさんウォーキング宗像大会の参加者数

コース名	R4	R5
ショートコース	142人	125人
ロングコース	85人	111人
計	227人	236人

②市民ウォーキング大会等の情報提供やコース整備の検討

日頃、ウォーキングを実施している人が成果を発表する場として、市内及び近隣自治体で開催されているウォーキング大会を紹介するとともに、市民に対しても、市内にあるウォーキングコースを利用してもらえるように情報提供を行います。また、コミュニティ内で行われている歩こう会などと連携し、個人の体力に応じた「距離別」や「ノルディックウォーキング」等の新たなウォーキングコースが整備できないか検討します。

むなかたタウンプレスやインターネットの活用（市ホームページ、SNS）により、市主催のイイいさんウォーキング宗像大会や南の郷クラブ主催の南郷ぐるっと健やかウォークの周知や情報提供を行いました。

また、日の里地区において聖火リレーウォーキングコースの整備を実施しました。

(2) 大学、企業、地域等との連携による市民の健康活動の促進

地域住民が自分に合ったペースで楽しく、笑顔でウォーキングや体操等のスポーツ・運動を実践する健康づくり活動を進めていくため、民間のスポーツ施設やコミュニティ内で行われている事業の情報を集約し、各コミュニティや各種団体に対し、情報提供していきます。また、必要に応じ、宗像市スポーツサポートセンターと市内の大学や企業が連携した講座を地域等で開催し、より専門的な視点から市民の健康づくりを推進していきます。

コミュニティ・センターや公民館等で開催されている健康づくりや運動の教室の情報の集約や、宗像市スポーツ協会の単位協会の会員であるスポーツクラブの部員の募集状況の調査を行い、これらの情報を宗像市スポーツサポートセンターのホームページにおいて紹介しました。

また、有限会社エイコーウェルと連携して、自宅でも取り組めるトレーニング動画を作成し、宗像市公式 Youtube にて公開したり、市民体育館にて体力測定や健康教室を開催しました。

さらに、市主催のウォーキング大会にて新生堂薬局や第一生命、明治安田生命と連携して、骨密度やインボディ、血管年齢等の健康測定等を行いました。

今後の課題としては、市民の健康活動を促進していくためには、関係機関、関係団体との連携の強化が必要です。

(3) 市全域を対象とした総合型地域スポーツクラブの設立・運営

市全域を対象とした総合型地域スポーツクラブの立ち上げについては、国のスポーツ推進計画に基づく総合型地域スポーツクラブの質的充実に関する取り組みを注視しながら、調査研究を続けていきます。

南郷地区コミュニティ内で活動する南の郷クラブの委員会に文化スポーツ課職員がアドバイザーとして参加し、情報提供等を通して活動の支援を行いました。

また、おなかたタウンプレスやインターネットを活用しながら、必要に応じて定期教室やウォーキングイベントの広報を行いました。

南の郷クラブが主催する南郷ぐるっと健やかウォークにおいては、一部資料の作成や運営に携わる等の活動支援を行いました。

今後の課題としては、南の郷クラブの活動を今後さらに充実させていくためには、指導者の確保や会員数の確保が必要です。

2 スポーツ・運動を通じたコミュニティ活動の活発化

(1) コミュニティ・スポーツ交流事業

平成29年度から全員が各コミュニティからの推薦となったスポーツ推進委員に対し、市が様々な研修会などを提供し、その研修内容を各コミュニティの中で情報共有することで、それぞれの特性に合わせた活動（スポーツ・運動を通じた健康づくり、世代間交流など）を活発に行える環境をつくっていきます。

必要に応じてコミュニティ運営協議会の事務局長と協議や調整等を行い、スポーツ推進委員の各地区コミュニティでの活動が円滑に進むように努めました。

また、スポーツ推進委員が各地区コミュニティの特性に合わせた活動を活発に行えるよう、次の研修会等の提供を行いました。

年度	研修内容
令和元年度	ニュースポーツ研修（シャッフルボード、ユニカール） ニュースポーツ研修（キンボール、バグジー） ニュースポーツ研修（ディスコン、五目お手玉） ニュースポーツ研修（キャッチング・ザ・スティック、リング・キャッチ）
令和２年度	スロージョギング研修 ニュースポーツ研修（アジャタ） 玄米ニギニギ体操研修
令和３年度	スロージョギング普及員フォローアップ研修 ニュースポーツ研修（ペタンク、カラーリング、ユニカール） ニュースポーツ研修（スカットボール、シャッフルボード）
令和４年度	熱中症対策アドバイザーセミナー わかめ体操 ニュースポーツ研修（ボッチャ） お手玉実技研修
令和５年度	大塚製薬 熱中症対策講座 玄米ニギニギ体操 シニアクラブ体力測定研修 救命救急講座

今後の課題としては、市とスポーツ推進委員のさらなる連携強化を図り、スポーツ推進委員が地域のスポーツ振興のコーディネーターとして、各地区でスポーツやレクリエーション事業の企画・立案・実施等を行えるよう支援が必要です。

（２）コミュニティ・スポーツ交流事業のサポート

コミュニティ・スポーツ交流事業を実行するため、各コミュニティ内にあるスポーツ・運動を所管している部会等に対し、宗像市スポーツサポートセンターからの情報の提供や市からのニュースポーツの備品の貸出などを通じてソフト、ハードの両面から活動を支援します。

各地区コミュニティのスポーツを通じた交流事業に対して支援を行うため、スポーツ推進委員と連携して、市のニュースポーツ備品の貸出し等を行いました。

今後の課題としては、各地区コミュニティのスポーツを通じた交流がより活発に行われるよう、情報提供の方法等を工夫し、より情報が伝わりやすい仕組みづくりが必要です。

（３）コミュニティ対抗スポーツ大会の開催

親善交流グラウンドゴルフ大会や親善交流お手玉大会など、既に各コミュニティの垣根を越えた市民交流を目的として開催されている「コミュニティ対抗スポーツ大会」に加え、更なる市民交流の拡大が可能であることを各コミュニティで構成された実行委員会

にて協議します。

例年、各地区の公民館活動部会長で構成する実行委員会を立ち上げてグラウンドゴルフ大会とお手玉大会を実施していましたが、令和２年度から４年度までについては新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となりました。令和５年度については実行委員会での決定によりお手玉大会が廃止となり、グラウンドゴルフ大会のみ実施しました。

今後の課題としては、参加者の減少や参加地域、年齢層の偏りが見られていることから、大会の在り方の見直しが必要です。

・参加人数：（）内は総数に含む子どもの人数

(単位：人)

年度	H26	H27	H28	H29	H30
GG 大会参加者数	301	260(30)	243(27)	258(23)	259(26)
お手玉大会	150(8)	243(22)	236(14)	192(13)	162(12)
年度	R1	R2	R3	R4	R5
GG 大会参加者数	277(24)	中止	中止	中止	177(10)
お手玉大会	136(6)	中止	中止	中止	廃止

３ 子どものスポーツ機会の充実

(１) スマイルキッズプログラム

① 幼児期を対象とした支援

保護者や保育者に幼児期の運動活動や体力づくりの必要性を十分に理解してもらうため、情報提供や親子で一緒に楽しく体を動かしながら健全な心身の発達を促すプログラム、コーディネーショントレーニング^{注16}体験会など、運動プログラムのメニューを提供します。

宗像ユリックス・アクアドームにて、未就学児とその親を対象とした「親子プール教室」を実施しました（令和２年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により未実施）。この教室に一定期間参加した子ども達のうち継続を希望する子どもを民間のプール教室に繋げ、水泳の裾野を広げる事業になりました。

また、サニックススポーツ振興財団と連携して、幼児を対象にしたタグラグビー教室を開催しました。開催にあたっては、園長会へ議案を提出し、各幼稚園、保育園に対して希望調査を実施しました。

今後の課題としては、活動をさらに充実できるよう指導者の確保や種目の多様化等が必要です。

② 小学生の体力向上支援

小学校には、今後も学校の要望に応じ、全ての子どもが楽しく運動ができるように陸上教室やマット運動などを指導する専門の指導員を派遣していきます。また、子どもたちがスポーツの楽しさや効果を実感し、自ら進んでスポーツに親しむことができるよう、海洋性スポーツなどの体験型のスポーツ事業にも取り組んでいます。宗像市スポーツサポートセンターでは、スポーツ推進委員、大学や民間のスポーツ指導者らと連携し、様々な角度から児童の体力向上を目的とした事業を展開します。

平成２７年に自由ヶ丘南小学校の５、６年生を対象とした体操教室をモデル事業として

スタートし、平成29年度から令和4年度までは学校側からの要請もあり、小学3年生の児童を対象とした民間体操クラブ(Belle 体操スクール)によるマット運動の指導を実施しました。令和5年度からは「指導のノウハウは継承されていること」、「小学校の体育授業への支援が目的になっていること」、「教室が本格運用し、5年目であること」から取り組みは終了となりました。

また、平成29年度に吉武小学校をモデル事業として、宗像中央公園ゲートボール場にて民間陸上クラブ（アローザル）による「速く走れるかけっこ教室」をスタートしており、令和元年度から本格運用を行いました。令和4年度からは「小学校の体育授業への支援が目的になっていること」、「教室が本格運用し、4年目であること」から取り組みは終了となりました。

さらに、オリンピックレガシーの取り組みとして、令和3年度に小学4・5年生の女子を対象に女子ラグビーの育成普及を図ることを目的としたトライ MUNAKATA を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止し、令和4年度からサニックススポーツ振興財団に委託しガールズラグビースクールを実施しました。

その他、サニックススポーツ振興財団等と連携して、小学4年生を対象としたタグラグビー教室の開催（年3～4回）や小学5年生の児童を対象に、勝浦浜海洋スポーツセンターにて海洋性スポーツ体験授業の実施、小学校の新体力テストへのスポーツ推進委員の派遣を行いました。

今後の課題としては、タグラグビー教室やスポーツ推進委員の小学校の体力テストへの派遣事業等は継続して実施できましたが、終了となった事業もあることから、事業の精査が必要です。

③中学校運動部活動の支援

宗像市スポーツサポートセンターは、部活動の指導者に関し、各種スポーツの専門性のある指導員を中学校に紹介できるように、地域人材の発掘や登録、また、学校とのコーディネートを行っていきます。

令和2年度に冬季休暇中に市内中学校のうち希望する部活動に講師を派遣し、SAQ(スピード、アジリティ、クイックネス)トレーニングやコンディショニングトレーニング等の指導を実施しました（計6コマ、163人参加）。

令和3年度に河東中学校等の指導者を対象としたスポーツ部活動指導者コーチングモデル事業の実施（テーマ：体幹と姿勢、身体の連動。参加者10人）と市内小中学校の部活動・クラブ活動の実態調査を実施しました。

令和4年度に福岡県地域運動部活動推進事業に取り組み、野球とバスケットボールをモデル競技として、宗像市部活動改革検討協議会とワーキンググループを立ち上げ、実践研究を行いました（検討会議2回、ワーキング会議4回開催）。また、平日の運動活動支援として、平日の放課後に中学校部活動にトレーナーを派遣し、運動部活動加入者等を対象とした体幹、コンディショニング、フィジカル等の基礎トレーニング（S&C）を実施しました（実施校は自由ヶ丘中学校、大島中学校の2校）。

令和5年度に国の実証事業を活用し、野球2クラブ、バスケットボール2クラブ、バレーボール、柔道の計6クラブの起ち上げ支援を行いました。また、グローバルアリーナと

の委託契約にて、中学校部活動休養日に中学校運動部活動全 10 種目の「むなかたアカデミー教室」を開催し 225 人が参加しました。

今後の課題としては、各中学校に専門性のある指導者を配置する仕組みとなっていない現状があり、本市に適した仕組みづくりについて研究が必要です。また、中学校にある運動部活動種目 10 種目については、部活動に代わる教室の継続的な取り組みが必要です。

④社会体育等における活動の支援

子どもたちのスポーツ・運動に関する興味・関心を高めるため、多種目体験プログラムの提供、トップアスリートとの交流、学童スポーツなどの社会体育指導者への支援を通じて、生涯にわたってスポーツを楽しむ土台づくりを行います。また、更なる競技力向上やトップアスリートを目指す選手にはその手助けとして福岡県タレント発掘事業^{注1}などを積極的に活用し、その活動の支援を行います。

全国大会等参加費用補助制度の実施や南の郷クラブでのバドミントン育成教室及びソフトテニス育成教室の実施を継続的に行いました。

また、令和 4 年度に石川佳純サクスツアーの誘致、令和 5 年度に企業版ふるさと納税を活用してアビスパ福岡とのトップアスリート交流事業を実施する等、少しずつトップアスリートの交流の機会を増やすことができました。

しかし、福岡県タレント発掘事業等の活用については、取り組むことができませんでした。

(2) スポーツ指導者体制の整備

①スポーツ指導者の育成及び活動支援

学童スポーツクラブの指導者、中学校運動部活動の部活動指導員や外部指導者（地域指導者）等のスポーツ指導者を対象として、スポーツ医科学に基づいた子どもの発達年齢に応じた適正な指導方法やコーディネーショントレーニングなどの運動プログラムのメニューづくりの方法、オーバーワークと不適切なトレーニングによるスポーツ障害を発生させないための指導等を共通認識するための講習会・セミナーなどの学びの場を提供します。

令和 4 年度に河東中学校の運動部活動の指導者を対象として、「体幹と姿勢、身体の運動」をテーマに「中学校スポーツ部活動指導者コーチングモデル事業」を実施しました。

今後の課題としては、子どもたちの指導をするには年代に関わらず競技ごとにそれぞれ資格が必要となり、さらに、中体連に関わるためには指導者資格のみならず審判資格が必要な場合が発生するため、資格の獲得・更新のためのバックアップの研究が必要です。

②異種目間のスポーツ指導者のネットワーク化

子どもが同時期に複数種目を実施することが運動能力向上につながるという「医科学的な研究に基づいた効果」や各種スポーツにおける指導方法などを各種スポーツ指導者間で共通認識するためのネットワーク構築方法について、調査研究を行います。

講習会等を通じ異種目間の情報交換を実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施できませんでした。

③小中一貫教育による体力向上に向けた教職員の共通理解

義務教育 9 年間で切れ目なく、発達段階に応じて体系的にバランスよく体力向上を図るため、各学校が各学園（中学校区）と連携して作成している体力向上プランの実践を引き続き促進します。

アクション福岡の運動能力評価表を活用し、校長会・保健体育研究会等で学園間の共通理解を図りました。

4 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

（１）スポーツ未実施者等のライフステージに応じたスポーツ・運動プログラムの開発・実施

①親子や家族がともに参加できるスポーツ・運動プログラム

宗像市スポーツサポートセンターにおいて、親子や家族がともに参加できるスポーツ・運動教室を開催し、スポーツ未実施者やスポーツが苦手な人に対するスポーツ実施のきっかけづくりとしてのスポーツ・運動プログラムを提供します。

令和２年度に宗像市スポーツサポートセンターにて親子を対象としたスポーツイベントを実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施できなかったため、宗像市スポーツサポートセンターのホームページにて自宅で親子でも取り組めるような運動プログラムを紹介しました。令和３年度からは宗像ユリックス・アクアドームにて、未就学児とその親を対象にした親子プール教室を開催し、一定期間参加した子ども達を民間プールに繋げました。

今後の課題としては、種目を増やす等、より多くのスポーツに触れることができる機会をつくっていく必要があります。

②２０代、３０代が参加できるスポーツ・運動プログラム

宗像市スポーツサポートセンターにおいて、スポーツ・運動離れが進んでいる若者に対し、きっかけづくりとなるようなスポーツ・運動プログラムを提供します。

宗像市スポーツサポートセンターにおいて、参加料をワンコインにする等の工夫を行い、平日夜間に運動プログラム（ボクササイズ）、土曜日にはピラティスやストレッチボール教室を実施しました。

また、令和５年度にアビスパ福岡と連携して宗像スポーツフェスタを実施し、そのイベントの一つとして小学１～４年生とその保護者を対象としたふれあいサッカー大会を開催しました。

今後の課題としては、若い世代をターゲットとして事業を展開しましたが、サポートセンターで行った教室の参加者の年代は５０～７０代となっており、また、参加者が固定化されている現状があることから、若い世代にも参加してもらえよう、改めて研究が必要です。

③全世代が参加できるウォーキング大会等の情報提供

ウォーキングは、個人の生活スタイルに合わせて行うことができることから、市民の健康づくりやスポーツ観光にもつながるウォーキング大会の開催情報を提供し、ウォー

キング人口の増加を図ります。また、必要に応じて、各世代のニーズに応じたスポーツ・運動イベント等の開催情報を提供します。

むなかたタウンプレスや宗像市スポーツサポートセンターのホームページ、ふくおか健康ポイントアプリのお知らせ機能等を活用し、ウォーキング情報を提供しました。

しかし、その他の SNS 等を活用しての開催情報の提供はできませんでした。

(2) コミュニティにおけるスポーツ・運動活動、健康づくりの支援

各地区のコミュニティが総合型地域スポーツクラブやスポーツ・運動を所管している部会等を通じ、スポーツ・運動教室を行う際は、必要に応じて宗像市スポーツサポートセンターから講師を派遣し、各地域単位で行うスポーツ・運動活動や健康づくりを支援します。また、総合型地域スポーツクラブの立ち上げについては、市で調査研究を続けていき、必要に応じ、コミュニティに対し情報提供を行います。加えて、各コミュニティがそれぞれの特性に合わせた活動（スポーツ・運動を通じた健康づくり、世代間交流）を活発に行えるような環境をつくっていきけるように、スポーツ推進委員に対し、研修会を実施するなどの支援も行います。

南の郷クラブによる教室の実施（(R6.2月現在)124人（大人42人、子ども82人）教室数11（大人7、子ども4））と各地区コミュニティへのスポーツ推進委員の派遣（派遣スポーツ推進委員数52人 延べ参加者数484人）の2つの活動を中心に、活動の拡充に対する支援を行いました。

今後の課題としては、指導員の高齢化が進んでいることから、今後も充実した教室を開催するには、指導員の確保が必要です。

(3) 障がい者のスポーツ・運動活動の支援

①障がい者スポーツに触れる機会の提供

すべての市民対象に、パラバドミントンなどの障がい者スポーツに触れ合える機会を提供するとともに、障がい者福祉施設の関係者や保護者、介助者などを対象とした障がい者スポーツに関する研修会等で、障がい者スポーツ実施の意義を理解し、障がい者スポーツ実施者をサポートできるように啓発を行います。

民間の団体等の協力を得て、パラバドミントン教室やパラバドミントン体験会、パラ水泳教室を実施しました。また、宗像市が東京パラリンピックのレガシーとしてパラバドミントンの日本代表選手団を受け入れ、さらにはサポートシティにもなりました。

その他にも、ニューススポーツ用品（ボッチャ等）を市で保有し、自治会やコミュニティ運営協議会への貸出を実施しました。令和5年度にユリックスにて市主催のニューススポーツフェスを開催し、障がい者を含む1,547人の来場者に対してボッチャやバッコ等ニューススポーツのルールの説明や使い方等の指導を行いました。

今後の課題としては、障がいがあっても気軽にできるスポーツの啓発の取り組みを充実させていくことが必要です。

②障がい者スポーツ等の情報の提供

宗像市スポーツサポートセンターにおいて、障がい者スポーツに関する種目やそのル

ールなどの情報を収集し、必要に応じ、情報提供ができる仕組みを構築していきます。
また、障がい者向けの運動活動についても情報提供や研修が行えるように、調査研究を行っていきます。

宗像市スポーツサポートセンターにて障がい者スポーツに関する種目やそのルール等の情報を収集しました。また、障がい者を対象にしたスポーツ教室の開催において、障害福祉サービス事業所、障害児通所支援事業所、相談支援事業所及び障がい児相談支援事業所に対してメール配信をする等の情報提供を行いました。

その他にも、パラバドミントン、パラ水泳のチーム立ち上げに向けた取り組みを行う中で、福岡県スポーツ協会&福岡県スポーツ振興センター（アクション福岡）と福岡県障がい者スポーツ協会（クローバープラザ）へのヒアリングを行いました。

今後の課題としては、宗像市スポーツサポートセンターの取り組みを知らない市民が多くいるため、知ってもらうための工夫が必要です。

③スポーツ・運動活動の支援

宗像市スポーツサポートセンターにおいて、スポーツや運動活動を実施したい障がい者が活動場所などの必要な情報を得ることができるように、福岡県障がい者スポーツ協会、近隣の市町村や各種団体などと連携できる仕組みを検討していきます。

宗像市スポーツサポートセンターにおいて、県や近隣市町村と連携し、スポーツや運動活動を実施したい障がい者に対してホームページ等を通じて活動の場等の情報提供や、宗像市障害者自立支援協議会に所属する障がい者施設に対して障がい者のスポーツに関するアンケート調査を行いました。

5 宗像市スポーツサポートセンターを活用し、住民が主体的に参画する地域スポーツ環境の整備

（１）スポーツ資産の有効活用

①宗像市スポーツサポートセンターでのスポーツ資産情報の集約

市内にある大学や宗像市スポーツ協会、民間スポーツ施設、企業スポーツ団体等が保有する人材、施設・設備、ノウハウといった多種多様なスポーツ資産を今まで以上に有効活用するため、宗像市スポーツサポートセンターにて、市内のスポーツ資産情報の集約を行います。

宗像市スポーツサポートセンターのホームページにおいて、市内の学校やスポーツ関係団体等が保有する様々なスポーツ資産情報を集約し、公開しました。

今後の課題としては、宗像市スポーツサポートセンターの取り組みを知らない市民が多くいるため、知ってもらうための工夫が必要です。

②宗像市スポーツサポートセンターの機能の充実

宗像市スポーツサポートセンターの組織体制を拡充し、市内にあるスポーツ資産を幅広く活用できるように、スポーツ資産情報の発信や学校教育のサポートを含めたスポーツ全般に係るコーディネート機能を強化していきます。また、宗像市スポーツサポートセンターにて、市民のスポーツ・運動活動の実態把握を行っていきます。

令和３年度から宗像市スポーツサポートセンターでの体力テストや健康教室、小学生を対象とした体操教室や陸上教室、海洋性スポーツ体験に加え、個人でウォーキング等の運動をしている市民を支援する「つながりヘルスケア事業」を開始する等、スポーツサポートセンターの機能の充実を図りました。また、つながりヘルスケア事業を推進するに当たり、その担い手となるスポーツ推進委員のサポートを継続的に行いました。

令和４年度に中学校の部活動改革の実践について研究を開始し、中学校部活動の地域移行における受皿づくりや休日の部活動に代わる教室（スクール）を競技種目毎に開催する等、子どものスポーツ環境充実に向け、スポーツサポートセンターがコーディネーターとしての役割を果たしました。

令和５年度に受皿クラブを５クラブ起ち上げ、中学生のスポーツ環境の充実を図りました。また、市が主催となり市立中学校の部活動１０種目の教室（むなかたアカデミー教室）を部活動休養日に実施し、２２５人が参加しました。

今後の課題としては、アウトリーチ事業の実施等を通じて、「健康づくりや運動・スポーツの支援」をより幅広い市民に提供する必要があります。

③宗像市スポーツサポートセンターと宗像市スポーツ協会等との連携

宗像市スポーツサポートセンターと「スポーツ、レクリエーションを通じて、スポーツ精神を養い市民の強健なる心身の発達、および豊かな人間性の醸成に努めること」を設置目的とした宗像市スポーツ協会とは、それぞれの役割分担のもと、住民が参画する地域スポーツ環境がより向上するように、連携、また、必要に応じて、一体となり、事業展開を行っていきます。宗像市スポーツサポートセンターは、自らがコーディネーターとなり、宗像市スポーツ協会をはじめ、学童スポーツクラブ、小・中学校、高校、大学、企業、民間スポーツ施設、スポーツ推進委員等のスポーツ関係団体・機関が一体となって地域スポーツ環境が向上できるような連携体制づくりの調査研究を行います。

令和５年度から開始となる「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」を受け、令和４年度からスポーツサポートセンターにおいて地域スポーツサイドから中学生の運動部活動の受皿づくりを進めるに当たり、市スポーツ協会との連携を図り、野球とバスケットボールにおける実践研究の取り組みを進めました。

また、令和４年度に宗像市スポーツ協会の４０周年を記念して、宗像市スポーツサポートセンターが宗像市スポーツ協会と連携して、ウォーキング事業や市民親善ゴルフ大会、石川佳純４７都道府県サックスツアーを開催しました。

さらに、令和５年度に中学校部活動の地域移行に伴い、スポーツ協会や各単位協会と調整や意向確認を行う等、受皿クラブの起ち上げを行いました。

今後の課題としては、宗像市スポーツサポートセンターと各単位協会との連携が不足している部分があることから、関係団体と連携しながらスポーツ推進の基盤づくりを行う必要があります。

④スポーツ推進委員との連携強化

平成２９年度から全員が各コミュニティからの推薦となったスポーツ推進委員は、市主催事業の支援に加え、宗像市スポーツサポートセンターと地域のパイプ役の存在とし

て、また、地域でのスポーツ・運動活動の先導者・コーディネーターとしての役割を担えるように、連携強化を図っていきます。

各地区コミュニティから２人（赤間地区は３人、大島地区は１人）のスポーツ推進委員を配置（計２４人）し、小学校体力測定、プリンセス駅伝、グラウンドゴルフ大会、イイさんウォーキング等の市のイベントでスタッフとして協力をいただきました。また、スポーツ推進委員が安心してボランティア活動に取り組めるよう定例会議を毎月開催し、熱中症対策や救命救急等のスキルアップ研修を行いました。さらに、各種研修会等に参加いただき、地域への派遣事業等の際に活用しました。

今後の課題としては、これらの事業に継続して取り組んでいけるよう、関係機関と連携を図りながら、スポーツ推進の基盤づくりに力を入れる必要があります。

⑤市内を本拠地とするトップチームの活用

ジャパンラグビートップリーグの宗像サニックスブルースを「おらがまちのチーム」といったより身近な市民チームとするため、市民を挙げた応援や支援を行いながら、シテプロモーションの柱の一つとして活用していきます。トヨタ自動車九州陸上競技部についても、市民応援や支援を行っていきます。

宗像サニックスブルースの活用については、本市のグローバルアリーナで開催するトップリーグに多くの方が訪れるよう、また、ファンクラブや市民応援団の会員促進につながるようシャトルバスを運行してきましたが、令和４年のサニックスブルースの活動休止に伴い、本活動を終了しました。

トヨタ自動車九州陸上競技部の活用については、市民を挙げた応援や支援を行えるよう、後援会加入促進や連携強化に努めました。

今後の課題としては、トップスポーツチームと市民が交流できる機会の創出が必要です。

（２）トップスポーツ試合の地元観戦機会の提供（観る）

ジャパンラグビートップリーグや全日本実業団対抗女子駅伝競走大会予選会（プリンセス駅伝 in 宗像・福津）等、地元で開催されるトップスポーツ観戦案内を市の広報紙やホームページ、チラシ等による周知、地域や学校等との連携による周知により、市民応援者を増やします。

ジャパンラグビートップリーグや全日本実業団対抗女子駅伝競走大会予選会（プリンセス駅伝 in 宗像・福津）等のトップスポーツの観戦については、市の広報紙やホームページ、チラシ等による周知、地域や学校等との連携による周知を実施しました。また、地域等に元気を与え続けようとする取り組みトップスポーツのアスリートと連携して、新型コロナウイルス感染拡大防止のためにさまざまな制限を強いられた市民の笑顔、元気をスポーツで取り戻すため、子どもがスポーツの楽しさ、トップレベルの技術を学べる機会の提供や、市民のスポーツを「する」「観る」「交流する」機会の充実、市民が身近にプロのスポーツを親しむことができる環境づくりとしてアビスパ福岡との連携事業を実施しました。さらに、アビスパ福岡の公式戦の１試合を「宗像市応援デー」と題して宗像市民の無料招待を行い（招待者数：小中高生 226 人、大人 223 人）、試合開始前のイベント、試合中の

ボールパーソンを市内サッカーチームへ依頼しました。

今後の課題としては、近隣のプロスポーツチームや実業団チームの選手からトップレベルの技術やスポーツの楽しさを学べる等、生涯に渡ってスポーツに親しむきっかけづくりに取り組む必要があります。

(3) スポーツボランティアの活用・充実（支える）

多くの市民がスポーツを支える市民ボランティアとしてスポーツイベントに気軽に参加し、支える楽しさをより実感できるようスポーツ団体やコミュニティと連携するとともに、様々な媒体を活用した募集案内を行っていきます。

毎年、宗像・福津で開催されている全日本実業団対抗女子駅伝競走大会予選会については、市民や日の里、東郷、玄海地区の地域、スポーツ推進委員、スポーツ協会、交通安全協会、トヨタ自動車九州、市内中高大生がボランティアとして参加し、大会運営のサポートを行っていただきました。

令和4年度に開催した石川佳純 47 都道府県サックスツアーについては、市卓球協会や市内中高生がボランティアで運営に参画していただきました。

また、令和5年度に市主催で開催したニュースポーツフェスについては、スポーツ推進委員の全面的なサポートのもとで、来場者に対してニュースポーツのルール説明や使い方等の指導を実施しました。

今後の課題としては、多くの市民が支える側としてスポーツに携わり、体験してよかったと思えるような付加価値のある体験の場の提供に取り組む必要があります。

(4) トップアスリートとの交流事業の実施（交わる）

ラグビーでは、宗像サニックスブルースの市民向け交流イベント等を開催し、市民と選手の交流機会を提供します。また、地元の少年チームや高校を対象としたラグビークリニック等の開催に加えて、幅広い年齢層に対しての体験会を開催し、多くの市民のラグビー競技そのものへの関心を高めていきます。また、選手やスタッフの地域行事等への参画を一層進めることで、市民との交流をさらに促進させます。陸上競技では、トヨタ自動車九州陸上競技部の選手とファンが直接触れ合うことができる陸上イベントの支援や地域での交流イベントの開催に向けたコーディネートなどを行い、市民との交流を図っていきます。加えて、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会へ向けたホストタウン交流等の取り組みに合わせて、トップアスリートや海外アスリートとの交流も図っていきます。

令和2年度に小・中学生を対象としたトヨタ自動車九州陸上競技部との交流事業として、ランニングイベントを開催しました。

令和4年度までサニックスブルースの選手・スタッフによる幼稚園・保育園ラグビー訪問教室を実施しましたが、サニックスブルースの活動休止に伴い令和5年度の実施はありませんでした。

その他、石川佳純 47 都道府県サックスツアーやアビスパ福岡公式戦宗像応援デー、宗像スポーツフェスタ、カノアラウレアーズ福岡とむなかたアカデミー教室の特別教室としてバレーボール教室等のトップアスリートとの交流事業を実施しました。

今後の課題としては、現在提案いただいている各種トップチームからの地域連携の活用方法について研究する必要があります。

6 スポーツ観光による地域経済活性化

(1) 全国・九州レベルのスポーツ大会の誘致・開催支援

全日本実業団対抗女子駅伝競走大会予選会（プリンセス駅伝 in 宗像・福津）をはじめとした全国の代表で競う実業団、インターカレッジ、インターハイスクールや九州地区の代表で競うブロック国体、各種小・中学生大会等の宿泊を伴う大会の誘致やグローバルアリーナ等民間による大会開催の支援を行います。宿泊を伴うスポーツ大会については、宿泊人数に応じた補助制度の導入を検討します。

全国の実業団が競い合う全日本実業団対抗女子駅伝競走大会予選会や、ワールドユースラグビー大会、ハンドボール大会、新体操サニックスカップ等の全国レベルのスポーツ大会の誘致を行いました。

また、以下のとおり宿泊を伴う大会がグローバルアリーナで開催されました。

開催時期	大会名
4月～5月	サニックスワールドラグビース交流大会
9月	U-16 グローバルアリーナルーキーズカップ
10月	サニックスカップ U-17 国際ハンドボール交流大会
11月	サニックス CUP 国際新体操団体選手権
12月	サニックス旗福岡国際中学生柔道大会
1月	サニックスワールドラグビース交流大会予選会 グローバルアリーナ小・中学生バドミントン大会
2月	サニックス CUP 男子新体操競演会 サニックス Open 新体操チーム選手権
3月	サニックス杯国際ユースサッカー大会 サニックス杯 U-17 女子サッカー大会

今後の課題としては、大会の誘致だけでなく、既存の大会が継続して実施できるような支援の在り方を研究する必要があります。

(2) スポーツ合宿の誘致活動の支援

①合宿・研修会の誘致活動の支援

実業団、大学、高校、青少年スポーツクラブ等の「通常合宿」やスポーツ大会の「直前合宿」の誘致活動の支援を行います。また、スポーツ指導者、トレーナー、スポーツドクター、審判等を対象とした宿泊を伴う各種研修会の誘致活動の支援を行います。

令和2年から3年度までについては新型コロナウイルス感染症拡大の影響により未実施となりましたが、令和4年度については、日本ラグビー界で活動するマツダスカイアクティブズ広島や釜石シーウェイブスのキャンプ、フィジー女子ラグビー代表の合宿の誘致活動の支援を実施しました。

また、令和5年度については、海外や大学のスポーツクラブ等の合宿に係る誘致活動の支援に取り組み、三重県的女子ラグビーチームの合宿誘致に繋げました。

今後の課題としては、合宿誘致のための補助制度等を整備していく必要があります。

②「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」のキャンプ地受入

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウンとして、柔道ブルガリア代表・7人制ラグビーロシア女子代表のキャンプの受入と市民交流を進めることで、スポーツ合宿受入に係る連携体制の整備を進めるとともに、市の認知度向上を目指します。レガシーとして、ブルガリアとの国際交流やラグビー競技の普及啓発に取り組みます。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で十分な活動はできませんでしたが、令和2年度については、啓発活動として日の里中学校にて聖火を展示し、自由ヶ丘南小学校6年生とともにブルガリアホストタウンの横連携事業を実施しました。

令和3年度については、誘致活動としてロシア（ROC）7人制女子ラグビー選手団やブルガリア柔道選手団の事前キャンプの受入れを行い、市内小学校児童の授業の一環としてブルガリア柔道選手団とのオンライン交流を実施しました。また、レガシー事業として市立学校21校での「心に残るレガシー巡回展示」や、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連の品の巡回展示、ブルガリアの音楽や料理等の文化に触れる「ブルガリア音楽の聴食」を実施しました。その他、ブルガリアとのWEB会議を利用した交流（小学校4校）や市民交流事業を実施しました。

さらに令和4年度からは小学生女子のラグビー教室の開催、令和5年度についてはグローバルアリーナで開催されるブルガリアフェスティバルにおいて来日するカザンラック民族舞踊団やサニックス Cup 国際新体操団体選手権で来日するブルガリア・レフスキー新体操クラブとのホストタウン交流等、市民交流や国際交流を実施しました。

今後の課題としては、様々な交流事業に取り組んだもののその情報発信という部分においては不十分であったことから、情報発信をより充実させる必要があります。

（3）宿泊や市内周遊につながるスポーツ大会の開催・支援

グローバルアリーナ等と連携し、宿泊を伴う広域スポーツ大会を開催します。またウォーキングイベントについては、JR九州ウォーキングや宗像市商工会青年部が主催する「おなかつたウォーキング」等の民間主催のイベントとの連携や開催支援等を通じて、スポーツ大会を活用した市内周遊等の観光PRを進めていきます。

おなかつたキッズセブンラグビー大会において、対象となる小学3、4年生がグローバルアリーナで宿泊を行いました。

また、スポーツ観光による地域経済活性化を図るための取り組みとして、市内で行われる宿泊を伴うスポーツ大会の開催に要する経費の助成を行いました。

なお、JR九州ウォーキングや宗像市商工会青年部が主催する「おなかつたウォーキング」については、新型コロナウイルス感染症拡大以降、市が関わっていないことから現状の把握から必要な状況です。

今後の課題としては、ラグビーやウォーキングに拘らず、様々な種目の大会等の開催について研究する必要があります。また、既存の大会においても工夫できるものは積極的に取り組む必要があります。

(4) むなかたスポーツコミッション（仮称）の体制の確立

国・九州レベルでのスポーツ大会、合宿、国内トップスポーツ試合等の誘致や市主催の広域スポーツ大会等の開催を支援するとともに、市内周遊等の観光PRを促進するため、グローバルアリーナを中心として、関係機関、団体で構成する宗像版のスポーツコミッションの体制づくりに取り組みます。

プリンセス駅伝 in 宗像・福津が大きな目玉となりスポーツ大会を通して市内周遊等の観光PRの促進に繋がられました。特に視聴者プレゼント企画を活用しての宗像市宿泊プランや食事券のプレゼントが観光PRに繋がりました。

令和2年度については、株式会社グローバルアリーナと「スポーツを通じた地域振興に関する協定」を締結し、グローバルアリーナ、宗像市等による宗像版スポーツコミッションの会議の開催（月1回実施）やむなかたキッズセブンラグビー大会の実施、ラグビーチームの誘致等を行いました。

今後の課題としては、スポーツコミッションという組織・仕組みが果たすべき役割について、関係団体等と協議し、考え方を共有したうえで、事業を実施する必要があります。

7 スポーツ活動の場の確保

(1) 既存の3つの市営体育館施設の運営

現在、既存の3つの市営体育館は毎週月曜日（月曜日が祝日の時は翌日）、お盆及び年末年始が休館日となっていますが、開館日時の見直しなど市民に利用しやすい施設運営の在り方について、調査研究を行います。

利用しやすい施設運営の在り方についての調査研究は実施できませんでした。現状の運用において市民からの要望等を確認できていないことから見直しの必要性はないと判断しています。

ただ、令和6年度に今後の体育施設の在り方を検討するための調査を実施したことから、今後はその結果に基づきハード面の整理と併せて必要に応じて施設運営の在り方について整理を行う必要があります。

(2) 学校開放施設の運営

小・中学校の学校施設（主に体育館・運動場・武道場）の開放については、卓球場など、さらに開放が可能かどうかを調査研究します。

宗像市スポーツ協会や教育政策課、学校管理課と連携して学校施設の開放事業を実施しました。開放施設の拡大については、この必要性についての調査等が未実施であり、また、市民からの要望を確認できていないため、大きな進展はありませんでした。

その他、学校開放を実施している市内小中学校にリモートロックを設置しました。

今後の課題としては、設置したリモートロックを有効的に活用するための方法や、効率的な利用料金の支払い方法、利用ルールを違反した団体への対応、施設の備品の在り方等について研究が必要です。

(3) 市内のスポーツ施設の活用

宗像市スポーツサポートセンターにおいて、市内のスポーツ資産情報の集約を行うと

ともに、市民への貸し出しが可能であるか調査を行います。

今後のスポーツサポートセンターの在り方をまとめる中で、スポーツ資産の活用について整理を行いました。また、令和6年度に実施した今後の体育施設の在り方を研究するための調査において、スポーツ資産の活用についての整理を行いました。

今後の課題としては、整理を行った結果をもとに、具体的な動きや政策に取り組み、スポーツ推進の基盤づくりに繋げる必要があります。

(4) 近隣市町のスポーツ施設の相互利用

市と近隣市町間で協定を交わすなど、スポーツ観光での活用も視野に入れた「近隣市町のスポーツ施設の相互利用」を実施します。

「福岡都市圏スポーツ施設広域利用案内」を宗像市スポーツサポートセンターのホームページに掲載し、近隣市町のスポーツ施設情報を発信しました。市内スポーツ施設は空き状況の検索や予約申込をインターネット上で行うことができるようになっており、広域での利用がしやすい環境が整っています。

ただ、近隣市町の施設について正確な把握ができておらず、また、施設の場所や設備、予約のルール等が相互利用をしやすいものになっていないため、有益な相互利用に至っていない現状があります。

8 中核拠点となる施設の再構築と整備

(1) 体育館施設の整備

既存の3つの市営体育館については、宗像市公共施設アセットマネジメント推進計画に基づき、今後も市民が安全に利用できるよう、保全改修を実施します。また、体育館は、いずれも築30年以上が経過しており、大規模改修を含めた今後の施設のあり方、スポーツを「観る」の視点の必要性、冷暖房設備設置の必要性など、将来の本市がどのような体育館施設を有すべきなのか、その方向性を示します。

宗像市公共施設アセットマネジメント推進計画、宗像市体育施設保全計画に基づき、必要な改修工事等を行いました。(玄海B&G海洋センターの照明LED化、外壁の改修工事、勤労者体育センターの照明LED化、トイレの洋式化等の改修工事、宗像市民体育館のカーテン、フローリング床の改修工事、火災報知器の改修工事を実施)

さらに令和5年度については、令和6年度に予定している今後の体育施設の在り方を研究するための調査の実施に向けて、庁内関係者への説明や調整、実施計画の策定、予算の要求等、業務開始準備を行い令和6年度に調査を実施しました。

今後の課題としては、令和6年度に実施した調査の結果をもとに、宗像市にとって最適な体育施設の整備を行う必要があります。

(2) 屋外スポーツ関連施設の整備

野球場を含めた屋外スポーツ関連施設については、宗像市公園施設長寿命化計画(平成26年3月策定)に沿って、今後も市民が安全に利用できるよう、必要な保全改修を行います。また、屋外スポーツ関連施設には、野球場、テニスコート、弓道場などさまざまな施設があり、その整備については将来を見据え、施設ごとに拡充やその必要性和

近隣市町との相互利用などを含め、その方向性を示すため、今後の屋外スポーツ関連施設の在り方について調査研究を行います。

長寿命化計画に基づいて、必要な改修工事を実施しました。（宗像中央公園野球場改修工事（TOTO 助成活用）、運動広場野球場にて近隣住居への飛球を防ぐためのレフトフェンスの嵩上げ等改修工事、ふれあいの森総合公園にてスケートボード場の改修工事とナラ枯れ被害木の伐採工事、明天寺公園野球場にて外野の防護マットの改修工事を実施）

今後の課題としては、各屋外施設の整備が十分に行えておらず、利用者が満足に利用できない状況も発生しているため、整備体制の改善の検討を行う必要があります。

（３）民間スポーツ施設の活用

市が保有しないサッカー等の球技場や陸上トラック（400m）は市独自には整備せず、民間のスポーツ施設を市営スポーツ施設の代替施設として活用を図るとともに、その代替施設が今後も活用できるような仕組みについて調査研究を行います。

民間スポーツ施設と連携し、東京 2020 オリンピック競技大会の事前合宿受入を実施しました。また、市が保有しないサッカー場や陸上トラック、フットサル等の民間のスポーツ施設について、これらの民間のスポーツ施設を市営スポーツ施設の代替施設として活用するための調査研究を行ないました。

今後の課題としては、代替施設の活用方法について研究する必要があります。

（４）宗像ユリックスのスポーツ施設

宗像ユリックスの保全改修計画に基づき市民の身近な施設として安全に利用できるよう、保全改修を行います。

保全改修計画に基づき修繕等を実施しました。令和４年度については、令和５年度から令和２５年度までの期間の保全計画及び長寿命化計画を策定しました。

今後の課題としては、アクアドームの老朽化が進行しているため、施設整備の方針を研究する必要があります。

5-2. 宗像市の現状

I まとめ編

以下の内容については、資料編「5-1 運動やスポーツに関する市民アンケート調査結果」を基に現状の課題を整理したものです。

(1) 健康づくり

●スポーツの実施率⇒国と比べて低い

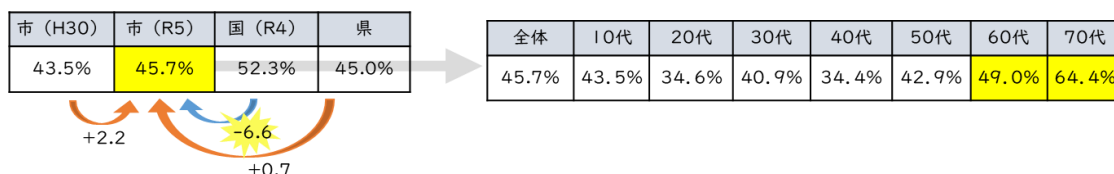
成人の週1回以上運動している割合は45.7%（R5）で、前回の43.5%（H30）に比べると増加傾向にありますが、国の平均の52.3%（R4）と比べると低い状況です。

【週1回以上運動している割合】⇒国と比べて低い

▶週1回以上運動している割合は、前回の43.5%（H30）に比べると増加していますが、国の平均の52.3%（R4）と比べると低い状況にあります。

【年代別スポーツ実施率】⇒60代以上の実施率が高い

▶平均の45.7%を上回っているのは60代と70代のみでした。



【週2日以上運動している割合】⇒国と比べて高い

▶週2日以上運動している割合でみると、男女ともに、国の平均と比べて高い状況です。

	市	国
男性	47.9%	33.4%
女性	33.9%	25.1%

(2) 生きがいづくり

●スポーツのニーズ⇒世代・性別により異なる

市民のスポーツに関するニーズは、世代や性別によって異なります。

【種目のニーズ】⇒世代・性別により異なる

▶今後やってみたい種目で10%以上の回答を得た種目は、女性ではウォーキング、ヨガ・エアロビ、ダンス、男性ではウォーキング、10～30代ではヨガ・エアロビ、ダンス、バドミントン、40～50代ではウォーキング、ヨガ・エアロビ、60代以上ではウォーキングです。今後やってみたい種目としては、ウォーキング、ヨガ・エアロビ、ダンス等の個人スポーツが多く、対人スポーツや団体スポーツを避ける傾向があります。

	現在行っている種目	今後やってみたい種目 (10%以上の回答を得られた種目)
10~30代	ウォーキング、マラソン・ジョギング、釣り、ゴルフ	ヨガ・エアロビ、ダンス、パドミントン
40~50代	ウォーキング、マラソン・ジョギング、ヨガ・エアロビ	ウォーキング、ヨガ・エアロビ
60代以上	ウォーキング、ゴルフ、登山	ウォーキング
男性	ウォーキング、ゴルフ、マラソン・ジョギング、釣り	ウォーキング
女性	ウォーキング、ヨガ・エアロビ、登山、マラソン・ジョギング	ウォーキング、ヨガ・エアロビ、ダンス

【運動を行う理由】⇒世代・性別により異なる

▶運動やスポーツを行う理由は、主に自分の身体的なことについてで、健康・体力づくり、楽しみ・気晴らし、運動不足解消等様々であり、世代によって異なります。女性では、運動不足解消、美容・ダイエット、男性では、心身の修行・鍛錬、友人仲間との交流の項目において性差が現れました。

	10~30代	40~50代	60代以上	男性	女性
健康・体力づくり	69.5%	77.0%	84.9%	81.5%	75.8%
楽しみ・気晴らし	70.0%	64.4%	57.5%	62.5%	65.8%
友人仲間との交流	30.5%	23.4%	39.4%	34.3%	28.4%
運動不足解消	54.3%	55.9%	59.1%	50.1%	63.2%
美容・ダイエット	35.2%	30.3%	8.5%	10.8%	35.8%
心身の修行・鍛錬	9.5%	8.4%	8.5%	13.2%	4.7%

【もっと運動を行う（始める）ための条件】⇒世代により異なる

▶経済面や自由に使える時間が増えることに関する回答が多くあります。10~50代においては、自ら時間を作ることができるか、60代以上では気軽に参加できるかがポイントと考えられます。

	10~30代	40~50代	60代以上
1	休暇が増えれば	休暇が増えれば	近くに運動・スポーツを行える施設や場所が整備されれば
2	近くに運動・スポーツを行える施設や場所が整備されれば	運動やスポーツにかかる費用が安くなれば	気軽に参加できる運動・スポーツ教室があれば
3	生活費に余裕ができれば	近くに運動・スポーツを行える施設や場所が整備されれば	一緒に活動する仲間ができれば

【団体加入率】⇒年代の高い方が高い

▶団体への加入率は、年代の高い方が低い方と比べて加入率が高い傾向にあります。

	10~30代	40~50代	60代以上
全体	7.4%	14.2%	20.9%
男性	8.0%	14.4%	17.3%
女性	7.2%	13.6%	25.9%

どうなれば加入する？

10~50代（外的要因が大きい）
 時間やお金に余裕ができれば、気軽に参加できれば、日時や場所が合えば、育児・家事が軽減されれば、託児サービスがあれば
 60代以上（内的要因が大きい）
 勧誘があれば、体調が整えば、興味があれば、年齢的に難しい、活動したくない、できない

(3) 子どものスポーツ

●子どもの体力向上・スポーツへの関心⇒年齢が上がるにつれて低下

肥満・痩身傾向児は増加減少傾向にあります。また、小学5年生と中学2年生を比較すると運動の実施率、運動が好きと回答したものは減少しており、スポーツへの関心が低下しています。

【児童生徒における痩身、肥満傾向児（学校保健統計調査）の割合】⇒標準体型児の減少

▶痩身・肥満傾向児の割合がともに増加傾向にあります。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
痩身傾向児	1.6%	1.8%	2.3%
肥満傾向児	8.3%	7.3%	9.2%

【学校アンケート（令和5年度）】⇒「運動頻度」「運動が好き」とともに減少

▶小学5年生と中学2年生を比較すると、「運動頻度」は減少し、「運動が好き」と回答した者の割合も減少しています。

	男子			女子		
	小5	中2		小5	中2	
運動部所属	67.6%	79.6%	12.0%	47.0%	59.0%	12.0%
運動頻度 (毎日、時々)	91.5%	88.5%	-3.0%	83.0%	72.0%	-11.0%
運動が好き (好き、やや好き)	95.2%	81.6%	-13.6%	88.4%	71.5%	-16.9%
運動が好き (好きのみ)	78.3%	51.2%	-27.1%	56.3%	35.4%	-20.9%

【運動を始めるきっかけづくりに重要なこと】⇒幼児期からの習慣化

▶運動を始めるきっかけづくりで重要なことでは、幼児期から外で遊ぶ習慣との回答が50%以上あります。

1	幼児時期から外で遊ぶことの習慣化	61.6%
2	保育園・幼稚園における運動やスポーツ	49.7%
3	小学校放課後の活動における運動やスポーツ機会の提供	49.2%

【習い事を始めるうえで重視すること】⇒金額・回数・時間帯・距離

▶習い事を始めるうえで重視することは、男性・女性・10～50代で、金額・回数・時間帯・距離に関する回答が50%を超えています。

		10～30代	40～50代	60代以上	男性	女性
1	毎月の月謝などの金額	79.6%	73.7%	58.6%	69.2%	71.2%
2	1週間のうちの教室の回数や時間帯	61.6%	63.2%	40.1%	51.7%	55.6%
3	送迎の距離(送迎の必要の有無)	60.2%	56.4%	40.9%	53.3%	51.7%

※参考【習い事を始めるうえで困っていること】

▶習い事を始めるうえで困っていることの上位3つは以下のとおりです。

1	教室がどこで実施されているかわからない	35.1%
2	やりたい(学びたい)競技(種目)の教室が宗像市内にない	12.3%
3	やりたい(学びたい)競技(種目)を行うための設備が整っていない	6.2%

(4) スポーツ環境の整備

●スポーツ環境の整備⇒現状に満足できていない

市内のスポーツ環境に満足していると回答した割合は非常に少なく、身近に気軽にスポーツを行える環境、快適に利用できる設備を整備して欲しいという要望が多くあります。

【市内でスポーツをおこなう環境に対する満足度】⇒非常に低い

▶市内でスポーツを「する」「学ぶ」「観る」環境について、満足していると回答した割合は、いずれも約25%以下でした。

	する	学ぶ	観る
満足度	25.2%	12.9%	16.7%

⇒不満な理由

施設が近くにない、少ない。情報不足。利便性が悪い。時間が合わない。設備不足、古い。料金が低い。

【日頃スポーツを行っている場所】⇒最寄りの公園や道路等

▶日頃スポーツを行っている場所は、最寄りの公園・広場等が40%近くあり、施設の利用は20%未満と少ない状況です。また、行っていないと回答した人が25%(4分の1)近くいます。

市内公共 スポーツ施設	市内学校	市内公共施設	市内民間 スポーツ施設	市外スポーツ 施設
13.9%	3.8%	8.1%	10.5%	7.8%
最寄りの公園・道 路等	登山道	自宅	その他	行っていない
40.8%	9.2%	25.4%	8.1%	22.7%

【過去2年間で使用した施設】⇒ユリックスが約30%

▶最近使用した施設については、性別年代別ともに宗像ユリックスが約30%(3人に1人)、ふれあいの森が約20%です。また、施設を利用したことがないという回答は、約40%もあります。

	10~30代	40~50代	60代以上	男性	女性
市民体育館	12.6%	12.2%	7.1%	8.6%	12.4%
宗像ユリックス	38.1%	30.9%	30.0%	33.7%	31.3%
ふれあいの森	22.3%	14.9%	18.7%	21.0%	15.9%

【施設を利用しない(したことない)理由】

⇒身近に気軽に行える環境

1	家や職場から遠い	21.6%
2	利用方法が分からない	21.0%
3	仲間がいない	20.4%
4	利用時間が合わない	17.0%

【スポーツ施設にとって重要なこと】

⇒身近に気軽に行えない

1	施設や設備が整っている	57.2%
2	施設の使用料が適切である	52.5%
3	交通の便が良い	50.0%
4	施設の規模に適した駐車場がある	48.3%

▶スポーツ施設にとって重要と思うことでは、交通の便、施設設備、駐車場、使用料に関する回答が、50%近くあります。

【スポーツの観戦頻度】 ⇒直接観戦が非常に少ない

▶スポーツ観戦の頻度については、最近1年間で直接観戦したことがある人の割合が20%にも満たない状況です。また、市内で直接観戦したことがある人の割合は6%であり、非常に少ない結果となっています。

直接観戦	市内観戦/全体
18.1%	6.0%

⇒市内観戦をしない理由

いつどこで開催されているかわからない。観たいと思う競技がない。興味がない。

(5) 情報発信

●情報発信⇒**情報不足**

関連団体や取り組み内容の認知度が低く、また、運動・スポーツに関する情報が少ないと感じている人が多いです。

【関連団体の認知度】 ⇒6 団体中 3 団体は 20%以下

▶スポーツサポートセンター、南の郷クラブ、スポーツ協会の認知度は、20%以下です。

スポーツサポートセンター	6.3%	グローバルアリーナ	85.2%
南の郷クラブ	7.1%	ユリックス	89.5%
スポーツ協会	16.0%	アクアドーム	74.9%

【備品貸出サービスの認知度】 ⇒認知度は15%以下

▶知っている人の割合は13.7%です。

知っていて利用したことある	4.8%
知っているが利用したことない	8.9%
知らない	86.3%

【運動・スポーツに関して欲しい情報】 ⇒身近な情報

▶欲しい情報については、市外イベント以外が20~30%あり、身近な情報を欲していることがうかがえます。

各種運動・スポーツ教室の案内	30.7%
宗像市内の運動・スポーツのイベント情報	30.8%
宗像市外の運動・スポーツのイベント情報	8.6%
クラブ・同好会などの活動案内	21.1%
スポーツ施設の案内	23.9%
新しいスポーツ、気軽にできる運動・スポーツなどの情報	29.2%

【情報収集の方法】⇒受動的な情報を望む

▶情報収集の方法としては、市の広報紙が 50%近くあり、近年の情報発信方法としてのホームページや SNS はほとんどありません。インターネットや SNS 等受け手側が自ら収集する手段ではなく、紙媒体を通じて通知される情報を望んでいることが示唆されます。

宗像市の広報紙	52.5%	宗像市の公式HP	10.7%
チラシ・ポスター	18.5%	宗像市の公式 Instagram	2.6%
知り合いのロコミ	16.8%	宗像市の公式X	1.0%

【情報不足との回答があった項目】⇒様々な項目で回答あり

スポーツに関する環境に不満がある理由
情報不足と回答した割合(行う環境:7.3%)(学ぶ環境:29.0%)(観る:15.4%)
もっと運動を行う(始める)ための条件
運動やスポーツに関する情報が容易に手に入れば(11.8%)
どのような環境が整えばスポーツクラブなどで活動したいと思えるか
活動内容、場所がわかれば。実施場所の案内があれば。活動内容の詳細がわかれば。情報が入れば。等
習い事を始めるうえで困っていること
教室がどこで実施されているかわからない(35.1%)
⇒その他(情報が無い。やりたい種目の教室が市内で行われているか情報がわからない。ネットで調べないとわからない。等)
市内でスポーツ観戦をしない理由
スポーツ大会などがいつ、どこで開催されるのかわからない(74.2%)
備品貸出サービスを知っているが利用したことがない理由
使用方法がわからない(27.7%)使用できる場所がわからない(20.0%)借用方法がわからない(38.5%)

▶習い事を始めるうえで困っていることとして、実施されている場所がわからないとの回答が 30%あります。また、市内でスポーツ観戦をしない理由では、70%以上が、大会がいつどこで開催されているのかわからないとの回答です。

(6) 地域スポーツ資源の活用

▶第 2 期宗像市スポーツ推進計画において、地域スポーツ資源を活用した事業を実施してきました。これらの事業については、今後も資源を有効活用し、継続して取り組む必要があります。

第2期計画 施策の柱

1 スポーツ・運動を通じた市民健康活動の推進

(1)市民エンジョイ・ウォーキング事業

- ①ウォーキングの普及、推進
- ②市民ウォーキング大会等の情報提供やコース整備の検討
- (2)大学、企業、地域等との連携による市民の健康活動の促進
- (3)市全域を対象とした総合型地域スポーツクラブの設立・運営

2 スポーツ・運動を通じたコミュニティ活動の活発化

- (1)コミュニティ・スポーツ交流事業
- (2)コミュニティ・スポーツ交流事業のサポート
- (3)コミュニティ対抗スポーツ大会の開催

3 子どものスポーツ機会の充実

(1)スマイルキッズプログラム

- ①幼児期を対象とした支援
- ②小学生の体力向上支援 ⇒ 海洋性スポーツの展開
- ③中学校運動部活動の支援 ④社会体育等における活動の支援
- (2)スポーツ指導者体制の整備
- ①スポーツ指導者の育成及び活動支援
- ②異種目間のスポーツ指導者のネットワーク化
- ③小中一貫教育による体力向上に向けた教職員の共通理解

4 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

(1)スポーツ未実施者等のライフステージに応じたスポーツ・運動プログラムの開発・実施

- ①親子や家族がともに参加できるスポーツ・運動プログラム
- ②20代、30代が参加できるスポーツ・運動プログラム
- ③全世代が参加できるウォーキング大会等の情報提供
- (2)コミュニティにおけるスポーツ・運動活動、健康づくりの支援
- (3)障がい者のスポーツ・運動活動の支援
- ①障がい者スポーツに触れる機会の提供
- ②障がい者スポーツ等の情報の提供 ③スポーツ・運動活動の支援

5 宗像市スポーツサポートセンターを活用し、住民が主体的に参画する地域スポーツ環境の整備

(1)スポーツ資産の有効活用

- ①宗像市スポーツサポートセンターでのスポーツ資産情報の集約
- ②宗像市スポーツサポートセンターの機能の充実
- ③宗像市スポーツサポートセンターと宗像市スポーツ協会等との連携
- ④スポーツ推進委員との連携強化
- ⑤市内を本拠地とするトップチームの活用 ⇒ ラグビータウン関連事業の展開
- (2)トップスポーツ試合の地元観戦機会の提供(観る) ⇒ プリンセス駅伝関連事業の展開
- (3)スポーツボランティアの活用・充実(支える)
- (4)トップアスリートとの交流事業の実施(交わる)

6 スポーツ観光による地域経済活性化 ⇒ 地域資源活用関連事業の展開

(1) 全国・九州レベルのスポーツ大会の誘致・開催支援

(2) スポーツ合宿の誘致活動の支援

① 合宿・研修会の誘致活動の支援

② 「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」のキャンプ地受入 ⇒ ホストタウン交流事業の展開

(3) 宿泊や市内周遊につながるスポーツ大会の開催・支援

(4) むなかたスポーツコミッション（仮称）の体制の確立

7 スポーツ活動の場の確保

(1) 既存の3つの市営体育館施設の運営

(2) 学校開放施設の運営

(3) 市内のスポーツ施設の活用

(4) 近隣市町のスポーツ施設の

相互利用

8 中核拠点となる施設の再構築と整備

(1) 体育館施設の整備

(2) 屋外スポーツ関連施設の整備

(3) 民間スポーツ施設の活用

(4) 宗像ユリックスのスポーツ施設

2 統計データ編

【人口（１０月１日現在）（住民基本台帳）】

直近５年間の人口については増加と減少を繰り返しながら横ばいで推移しています。

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
人数	97,048 人	96,993 人	97,119 人	97,053 人	97,204 人

【子どもの人口（４月１日現在）（住民基本台帳）】

6歳以下の子どもの人口については減少傾向にあり、将来の本市の人口については減少していくことが考えられます。

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
人数	6,319 人	6,175 人	6,089 人	6,033 人	5,959 人

【高齢化率（１０月１日現在）（高齢化社会白書、住民基本台帳）】

本市の高齢化率については上昇傾向にあり、国や県と比較すると高い割合となっています。

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
国	28.1%	28.4%	28.8%	28.9%	28.9%
県	26.8%	27.2%	27.5%	27.8%	28.2%
市	28.5%	29.1%	29.5%	30.0%	30.3%

【年齢階層別介護認定率（１０月１日現在）（要介護認定率＝第１号被保険者の要支援・要介護者数／第１号被保険者数）】

年齢階層別介護認定率についてはどの階層においても低下傾向にあります。高齢化率が上昇している一方で、介護認定率が低下していることから、良い傾向にあると捉えることができます。

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
65～74 歳	2.8%	2.5%	2.3%	2.4%	2.4%
75～84 歳	14.2%	12.9%	12.2%	11.6%	11.5%
85 歳以上	54.5%	52.8%	51.5%	51.1%	49.8%
全体	15.1%	14.5%	14.0%	13.8%	13.8%

【障害者手帳の所持者数等（３月３１日現在）】

身体障害者手帳の所持者数については減少傾向にあり、療育手帳の所持者数及び精神通院受給者数については増加傾向にあります。

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
身体障害者手帳	3,810 人	3,440 人	3,395 人	3,329 人
療育手帳	647 人	650 人	734 人	753 人
精神通院受給者	1,458 人	1,640 人	1,554 人	1,528 人

【メタボリックシンドロームの該当者等（法定報告）】

メタボリックシンドロームの該当者については男女ともに減少傾向にあります。また、予備群者についても同様に減少傾向にあり、良い傾向にあると捉えることができます。

該当者	令和元年度	令和２年度	令和３年度
男	608 人	483 人	524 人
女	248 人	197 人	203 人

予備群	令和元年度	令和２年度	令和３年度
男	369 人	302 人	295 人
女	166 人	139 人	106 人

【児童生徒における痩身傾向児の割合（学校保健統計調査）】

児童生徒における痩身傾向児の割合については上昇傾向にあります。

	令和２年度	令和３年度	令和４年度
割合	1.6%	1.8%	2.3%

【児童生徒における肥満傾向児の割合（学校保健統計調査）】

児童生徒における肥満傾向児の割合については上昇傾向にあります。

	令和２年度	令和３年度	令和４年度
割合	8.3%	7.3%	9.2%

【障がい者のスポーツや文化芸術活動等の参加状況（福祉政策課アンケート調査）】

障がい者のスポーツや文化芸術活動等の参加状況については、「参加している」と回答した者の割合が上昇していますが、その割合は全体の 25%以下で、参加率が低い状況にあります。

	令和２年度	令和５年度
参加している	19.5%	22.5%
参加したいが、していない	20.6%	19.2%
参加しない	56.1%	54.2%
無回答	3.8%	4.2%

【1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している人の割合（法定報告）】

1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している人の割合については令和3年度が42.5%となっています。

	令和2年度	令和3年度
割合	41.1%	42.5%

【日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合（法定報告）】

日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している人の割合については令和3年度が51.3%となっています。

	令和2年度	令和3年度
割合	49.3	51.3

【体育施設等の利用状況】

●体育施設

体育施設の利用状況についてはコロナウイルス感染症拡大の影響により令和2年度及び令和3年度の利用人数が大幅に減少しています。令和4年度の利用人数は令和元年度の85%程度となっています。

利用人数（人）	H30	R1	R2	R3	R4
市民体育館	141,333	139,810	85,954	95,382	126,675
玄海B&G	18,384	18,874	14,387	18,341	17,632
勤労者体育センター	24,297	21,148	14,758	7,172	9,742
運動広場	10,870	11,479	9,176	9,746	11,212
弓道場	9,508	9,055	7,094	7,203	7,519
合計	204,392	200,366	131,369	137,844	172,780

●ふれあいの森総合公園

ふれあいの森総合公園の利用状況についてはコロナウイルス感染症拡大の影響により令和2年度及び令和3年度の有料部分の利用人数が大幅に減少しています。令和4年度の利用人数は令和元年度の95%程度となっています。

利用人数（人）	H30	R1	R2	R3	R4
有料部分	45,783	40,917	25,848	25,766	38,038
無料部分	46,858	50,421	51,072	45,716	50,014
合計	92,641	91,338	76,920	71,482	88,052

●有料公園

有料公園については年度や施設ごとに増減がありますが、全体的には概ね横ばいで推移しています。

利用人数（人）	H30	R1	R2	R3	R4
宗像中央公園ゲート ボール場	432	928	910	392	858
宗像中央公園テニス コート	1,475	979	776	1,122	1,123
宗像中央公園野球場	243	243	221	78	227
明天寺公園テニスコ ート	784	784	897	895	1,047
明天寺公園野球場	164	164	157	172	178
日の里4号公園テニ スコート	137	148	134	114	146
日の里7号公園テニ スコート	451	451	448	445	539
日の里7号公園野球 場	190	190	186	180	181
日の里11号公園テ ニスコート（R3で閉 鎖）	0	0	0	1	0
日の里11号公園野 球場	257	257	247	225	246
自由ヶ丘11号公園 テニスコート	575	575	576	491	600
自由ヶ丘11号公園 野球場	460	460	436	356	351
広陵台中央公園テニ スコート	643	643	609	386	634
合計	5,811	4,894	5,597	4,857	5,272

●学校開放

学校開放の利用状況についてはコロナウイルス感染症拡大の影響により令和2年度及び令和3年度の有料部分の利用人数が大幅に減少しています。令和4年度の利用人数は令和元年度の87%程度となっています。

利用団体数（団体）	H30	R1	R2	R3	R4
吉武	510	460	300	365	407
赤間	893	942	659	659	903
赤間西	960	888	521	643	804
自由ヶ丘	971	838	375	465	729
自由ヶ丘南	900	753	541	661	897

河東	789	769	522	652	883
南郷	685	568	337	441	545
東郷	860	790	411	539	749
日の里東	717	630	355	488	651
日の里西	677	605	262	352	450
河東西	1,102	986	522	527	813
玄海	303	255	149	169	212
玄海東	167	831	83	168	206
城山中	201	200	56	116	211
自由ヶ丘中	426	244	238	207	326
河東中	304	324	217	199	328
中央中	593	539	333	319	490
日の里中	283	313	204	256	333
玄海中	-	-	-	8	17
合計	11,341	10,119	6,085	7,226	9,937

利用人数（人）	H30	R1	R2	R3	R4
吉武	12,856	10,924	5,308	9,159	10,057
赤間	20,855	20,030	13,213	14,855	18,257
赤間西	19,462	18,449	10,619	12,702	17,679
自由ヶ丘	24,748	22,415	9,916	11,483	18,956
自由ヶ丘南	24,523	21,964	13,330	16,292	21,347
河東	20,554	20,760	13,112	17,275	24,213
南郷	15,588	11,528	8,074	9,735	10,753
東郷	19,943	17,757	9,778	12,155	15,801
日の里東	18,801	16,787	6,998	8,515	11,289
日の里西	17,377	13,181	5,135	8,705	10,887
河東西	28,934	26,995	15,186	15,147	21,235
玄海	6,407	5,086	3,573	4,139	4,528
玄海東	4,130	2,974	1,940	4,165	4,818
城山中	2,821	3,130	1,017	2,079	3,625
自由ヶ丘中	17,399	9,445	7,862	6,041	7,704
河東中	4,271	5,003	3,564	3,092	4,705
中央中	10,484	11,782	7,251	6,377	8,127
日の里中	5,493	5,120	2,552	3,265	4,849
玄海中	-	-	-	180	330
合計	274,646	243,330	138,428	165,181	218,830

【体力テスト結果（福岡県児童生徒体力・運動能力調査）】

直近５年間の体力テストの結果については、項目ごとに増減の変化が様々となっています。

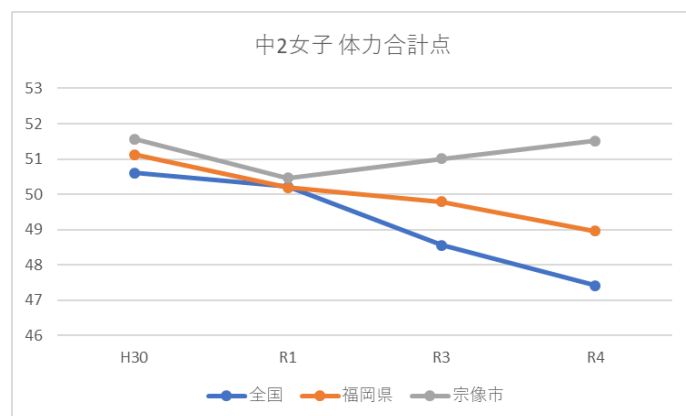
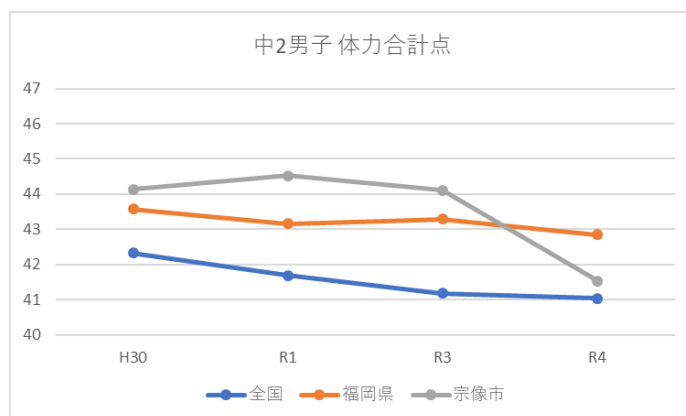
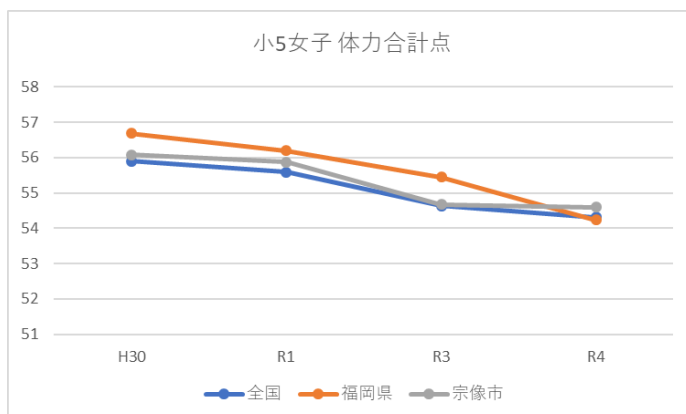
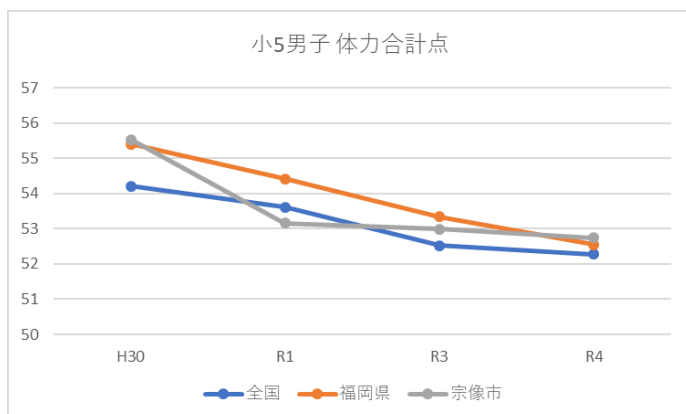
そのうち体力合計点では、小学５年生の男女、中学２年生の女子において、全国、福岡県の平均を上回る結果となっています（令和４年度）。また、平成３０年度と令和４年度の結果を比較すると、小学５年生の男女、中学２年生の男女のいずれも、平成３０年度に比べて令和４年度が下回る結果となっています。

小５男子		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	0mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)	体力合計点 (点)
R4	全国	16.21	18.86	33.79	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31	52.28
	福岡県	16.28	18.82	34.25	40.52	47.29	9.55	149.06	21.34	52.55
	宗像市	15.85	19.92	34.96	42.15	49.13	9.47	145.57	21.36	52.74
R3	全国	16.22	18.9	33.48	40.35	46.83	9.45	151.41	20.58	52.52
	福岡県	16.4	19.16	34.51	41.05	48.87	9.43	150.69	21.87	53.34
	宗像市	16.29	19.65	33.36	40.5	52.38	9.21	146.26	22.12	52.99
R2	全国									
	福岡県									
	宗像市									
R1	全国	16.37	19.8	33.24	41.74	49.21	9.42	151.45	21.61	53.61
	福岡県	16.62	20.29	33.74	42.19	52.21	9.42	150.54	22.79	54.41
	宗像市	16.13	19.89	32.34	41.42	53.73	9.31	145.96	22.52	53.16
H30	全国	16.54	19.95	33.31	42.1	52.15	9.37	152.24	22.15	54.21
	福岡県	16.76	20.55	34.04	42.95	54.98	9.33	151.94	23.54	55.4
	宗像市	16.18	20.92	34.57	44.89	53.73	9.19	145.84	24.14	55.53

小５女子		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	0mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ (m)	体力合計点 (点)
R4	全国	16.1	17.97	38.18	38.66	36.97	9.7	144.55	13.17	54.31
	福岡県	16.23	17.97	38.31	38.73	37.71	9.77	142.32	13.32	54.23
	宗像市	15.64	18.96	38.73	39.94	37.92	9.72	142.98	12.98	54.6
R3	全国	16.09	18.08	37.9	38.72	38.15	9.64	145.18	13.3	54.64
	福岡県	16.28	18.54	38.69	39.25	39.5	9.68	143.77	13.58	55.44
	宗像市	15.95	19.09	38.34	38.1	40.62	9.52	139.61	13.89	54.67
R2	全国									
	福岡県									
	宗像市									
R1	全国	16.09	18.95	37.62	40.14	40.79	9.64	145.68	13.61	55.59
	福岡県	16.49	19.44	37.96	40.7	42.05	9.66	144.4	13.94	56.2
	宗像市	16.31	19.69	38.11	40.82	39.31	9.56	139.08	14.22	55.87
H30	全国	16.15	18.96	37.62	40.32	41.88	9.6	145.94	13.77	55.9
	福岡県	16.39	19.54	37.98	40.85	43.59	9.62	145.14	14.17	56.68
	宗像市	15.87	20.06	39.02	42.01	39.49	9.62	138.89	13.6	56.08

中２男子		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	0mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール投げ (m)	体力合計点 (点)
R4	全国	28.99	25.74	43.87	51.05	78.07	8.06	196.89	20.28	41.04
	福岡県	29.36	26.11	45.31	52.29	81.64	8.06	200.87	20.75	42.84
	宗像市	29.05	25.68	47.37	51.35	80.99	8.21	196.89	20.29	41.53
R3	全国	28.8	25.99	43.67	51.19	79.88	8.01	196.36	20.31	41.18
	福岡県	29.22	26.64	45.12	52.8	84.13	7.99	200.74	20.9	43.29
	宗像市	29.92	27.47	47.57	53.23	86.91	7.92	198.82	21.41	44.11
R2	全国									
	福岡県									
	宗像市									
R1	全国	28.65	26.96	43.5	51.91	83.53	8.02	195.03	20.4	41.69
	福岡県	29.35	27.29	44.01	52.95	86.36	7.98	197.75	20.78	43.16
	宗像市	30.49	27.51	45.3	53.93	88.05	7.8	198	21.32	44.52
H30	全国	28.84	27.36	43.44	52.24	86.06	7.99	195.62	20.55	42.32
	福岡県	29.44	27.72	43.72	53.2	88.68	7.97	198.94	20.84	43.57
	宗像市	29.91	27.78	42.83	53.83	90.96	7.81	199.65	21	44.14

中2女子		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	0mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール投げ (m)	体力合計点 (点)
R4	全国	23.21	21.67	46.07	45.81	51.6	8.96	167.04	12.45	47.42
	福岡県	23.59	21.82	46.95	46.91	53.69	8.97	170.71	12.56	48.96
	宗像市	24.57	22.42	53.63	46.69	56.72	8.82	167	13.26	51.52
R3	全国	23.43	22.32	46.2	46.25	54.24	8.88	168.15	12.72	48.56
	福岡県	23.79	22.56	46.36	47.43	55.9	8.89	171.46	12.82	49.79
	宗像市	24.18	22.66	47.03	47.85	61.04	8.81	171.05	12.67	51.01
R2	全国									
	福岡県									
	宗像市									
R1	全国	23.79	23.69	46.32	47.28	58.31	8.81	169.9	12.96	50.22
	福岡県	24.06	23.03	45.83	47.46	58.7	8.83	170.33	12.83	50.19
	宗像市	24.87	23.28	47.56	47.92	57.92	8.85	166.55	12.79	50.46
H30	全国	23.87	23.87	46.22	47.37	59.87	8.78	170.26	12.98	50.61
	福岡県	24.22	23.59	46.04	47.99	60.66	8.82	172.87	12.91	51.13
	宗像市	24.72	23.53	44.81	48.08	63.53	8.59	170.19	12.86	51.56



5-3. 運動やスポーツに関する市民アンケート 調査結果

I 調査の概要

(1) 調査の目的

「宗像市スポーツ推進計画」の策定に向けた基礎資料を得ることを目的としてアンケート調査を実施しました。

(2) 調査対象

宗像市在住の18歳以上の方3,000人を無作為抽出

(3) 調査期間

令和6年1月30日から令和6年2月29日まで

(4) 調査方法

郵送により調査票を配布しました。回答については、郵送及びオンラインにて回収しました。

(5) 回収状況

有効回答数：784通（有効回答率26.1％）

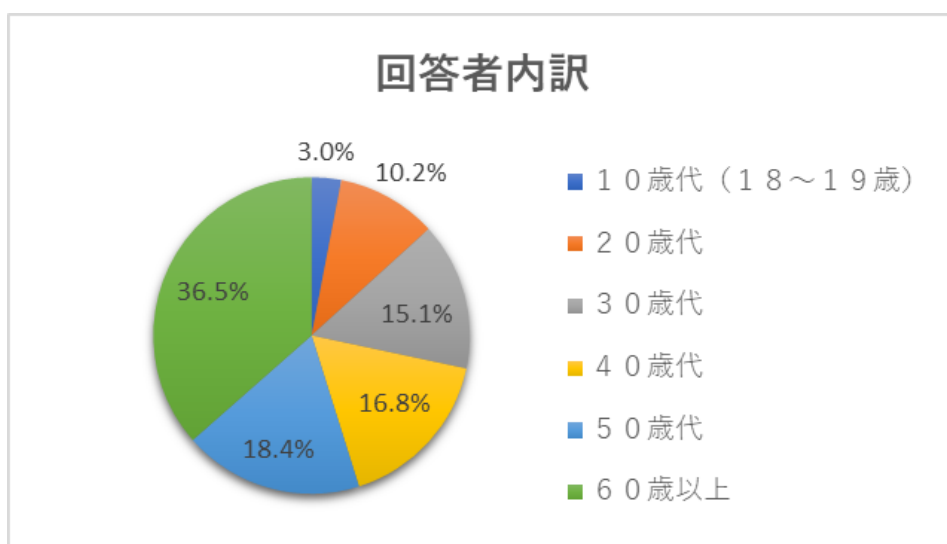
なお、回答者の内訳については、下表のとおりです。

年代	配布数（人）	回答数（人）	回答率（％）
10歳代（18～19歳）	200	23	11.5
20歳代	500	78	15.6
30歳代	500	115	23.0
40歳代	500	128	25.6
50歳代	500	140	28.0
60歳以上	800	278	34.8
その他・未回答	—	12	—
合計	3,000	784	26.1

（６）分析方法

統計分析のために、10 歳代（18 歳、19 歳）と 20 歳代、30 歳代を Young（216 人）、40 歳代と 50 歳代を Middle（268 人）、60 歳以上を Old（278 人）として 3 つのグループに分け、世代別の分析を行いました。

Young（216 人）	・ 10 歳代 ・ 20 歳代 ・ 30 歳代
Middle（268 人）	・ 40 歳代 ・ 50 歳代
Old（278 人）	・ 60 歳以上



（７）その他

アンケートの自由記入の内容については、アンケートでいただいた意見をそのまま記載しています。

2 調査結果

問1 あなたの性別はどちらですか。次の中からあてはまる番号1つに○印をつけてください。

▼「女性」の割合が51.9%で「男性」の割合が45.3%でした。

	全体	Young	Middle	Old
男性	355	77	111	159
女性	407	136	153	114
その他、無回答	7	2	3	1
未回答	15	1	1	4

問2 あなたの年齢はどれにあてはまりますか。次の中からあてはまる番号1つに○印をつけてください。
(基準日：R6.3.31)

▼「70歳以上」の割合が最も高く22.2%でした。次いで「50歳～59歳」が17.9%、「40歳～49歳」が16.3%でした。

	全体	Young	Middle	Old
17～19歳	23	-	-	-
20～29歳	78	-	-	-
30～39歳	115	-	-	-
40～49歳	128	-	-	-
50～59歳	140	-	-	-
60～69歳	104	-	-	-
70歳以上	174	-	-	-
その他	12	-	-	-
未回答	10	-	-	-

問3 あなたがお住まいの地区はどちらですか。次の中からあてはまる番号1つに○印をつけてください。

▼「河東地区」の割合が最も高く18.9%でした。次いで「赤間地区」が15.7%、「自由ヶ丘地区」が14.5%でした。

	全体	Young	Middle	Old
吉武地区	14	4	5	5
赤間地区	123	41	47	33
赤間西地区	80	19	24	35
自由ヶ丘地区	114	25	47	39
河東地区	148	38	56	53
南郷地区	33	13	8	11
東郷地区	88	29	30	27
日の里地区	94	26	30	37
玄海地区（田島・神湊・地島）	18	4	5	9
池野地区	24	3	9	12
岬地区	12	4	3	4
大島地区	3	0	1	2
その他、分からない	20	8	3	9
未回答	13	2	0	2

問4 あなたのお仕事はどれにあてはまりますか。次の中からあてはまる番号1つに○印をつけてください。

▼「勤め（全日）」の割合が最も高く37.6%でした。次いで「その他、無職」が19.8%、「専業主婦・主夫」が13.9%でした。年代別にみると、Young、Middle 世代では「勤め（全日）」が最も多く、Old 世代では「その他、無職」が最も多い結果となりました。

	全体	Young	Middle	Old
個人事業主・会社経営者（役員）	49	3	23	23
家族従業（家業手伝い）	6	3	1	2
勤め（全日）	295	116	153	26
勤め（パートタイム）	108	18	58	32
専業主婦・主夫	109	18	21	70
学生	52	50	0	1
その他、無職	155	8	12	123
未回答	10	0	0	1
個人事業主・会社経営者（役員）	49	3	23	23

問5 あなたは、1回30分以上の運動やスポーツ（散歩・ウォーキングを含む）をどのくらいの頻度で行っていますか。次の中からあてはまる番号1つに○印をつけてください。

▼「週1日以上」と回答した割合は45.7%、「していない」と回答した割合は37.1%でした。「週1日以上」と回答した割合を世代別にみると、Young世代が38.9%、Middle世代が38.8%、Old世代が58.6%でした。

	全体	Young	Middle	Old
週1日以上	358	84	104	163
週1回未満だが定期的実施	103	28	32	41
していない	291	102	122	67
無回答	19	2	10	6
未回答	13	0	0	1

問6 問5で「1. 週1日以上」と回答した方にお聞きます。1回30分以上の運動やスポーツを週何日行っていますか。次の中からあてはまる番号1つに○印をつけてください。

▼「2日」と回答した割合が最も高く20.2%、次いで「3日」が19.7%でした。また、回答者全体のうち週2日以上行っている者の割合は、41.1%で、世代別でみると、Young世代が34.3%、Middle世代が33.6%、Old世代が54.3%でした。

	全体	Young	Middle	Old
1日	42	10	15	17
2日	76	15	29	31
3日	74	22	16	35
4日	48	11	8	28
5日	55	14	20	19
6日	23	3	5	13
7日	46	9	12	25
無回答	12	3	4	5

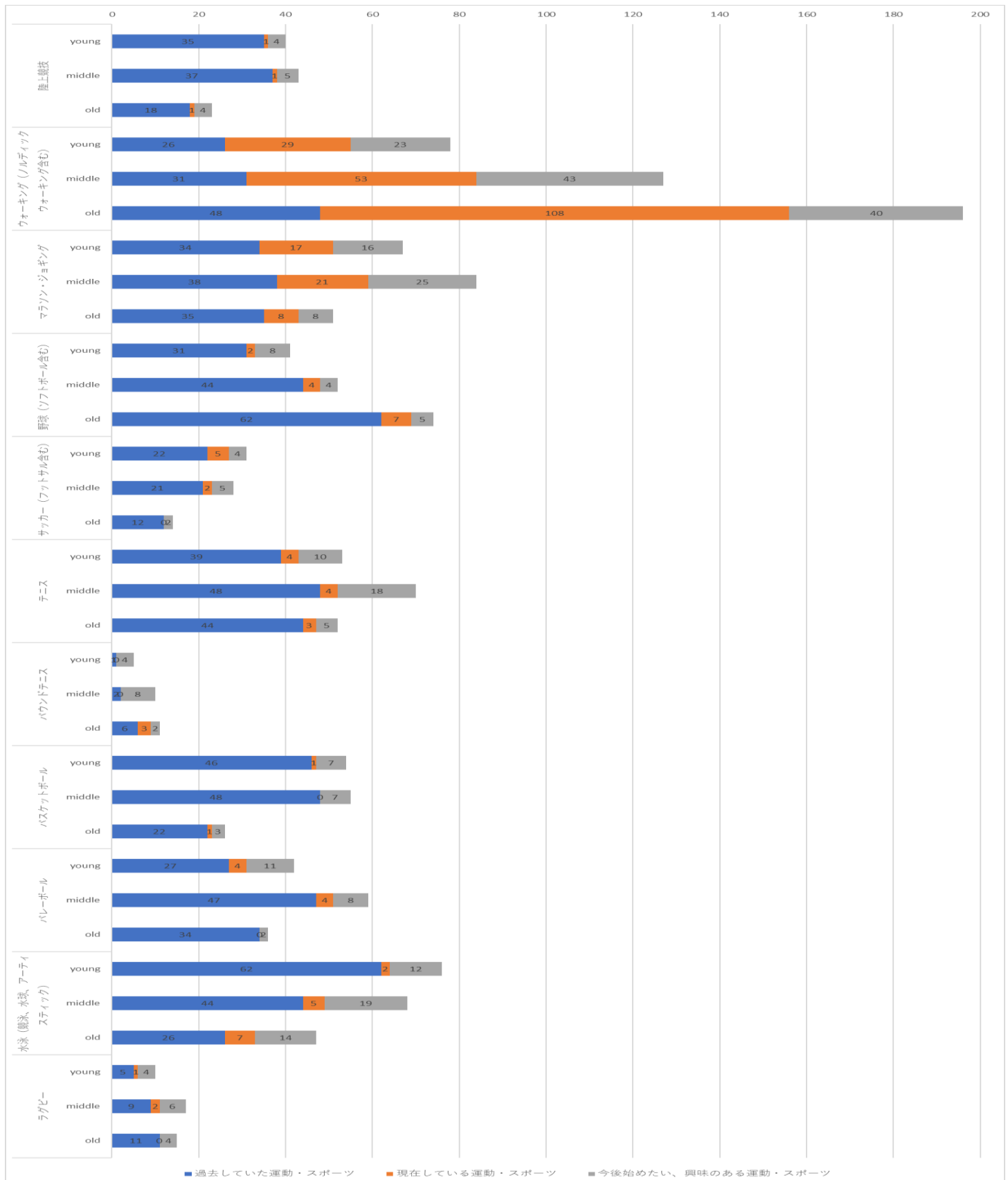
問7 問5で「2. 週1回未満であるが、定期的に行っている」と回答した方にお聞きします。運動やスポーツをどのくらい継続していますか。次の中からあてはまる番号1つに○印をつけてください。

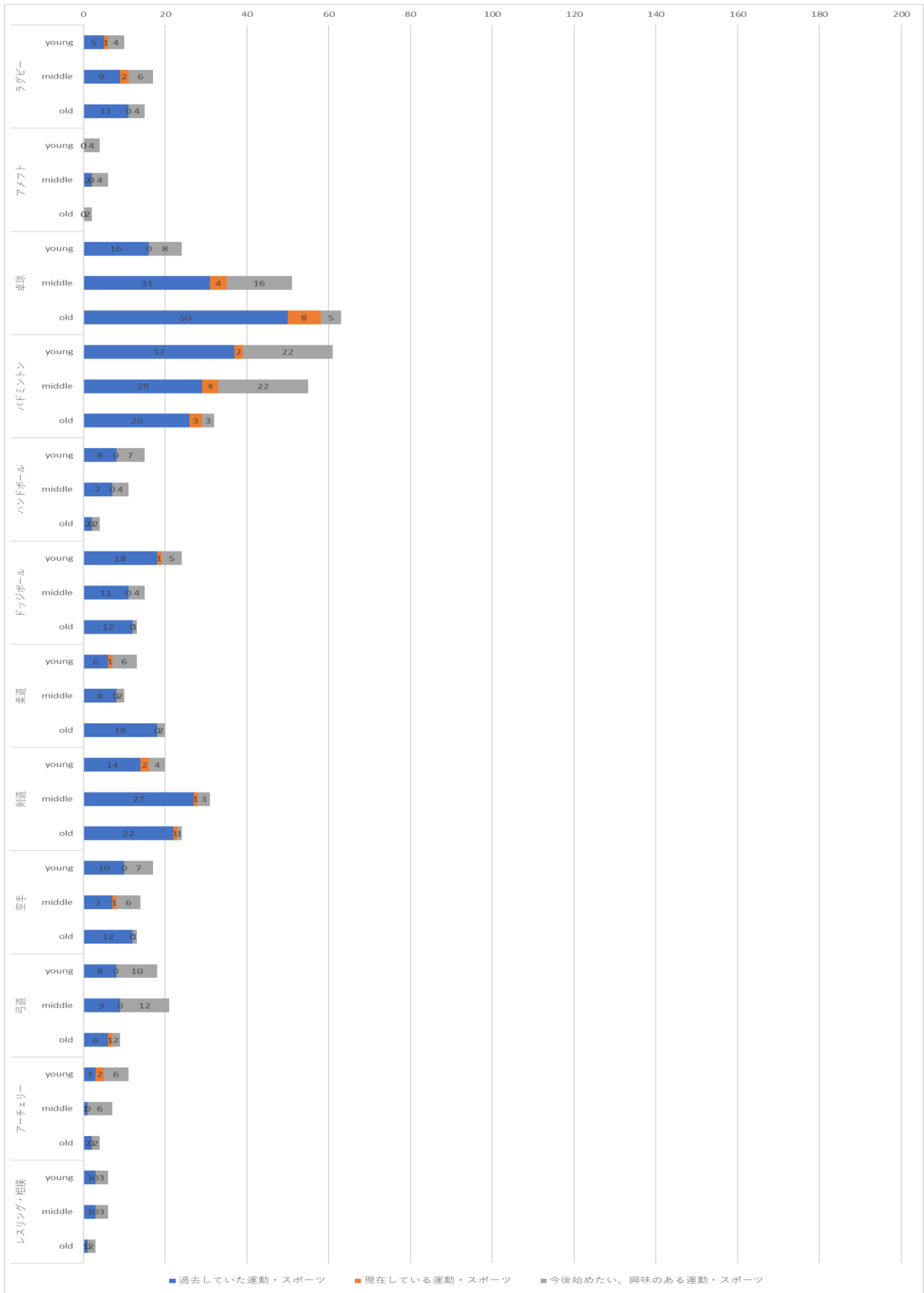
▼「継続期間は1年以上である」と回答した割合が最も高く75.8%、次いで「継続期間は1年未満である」が15.7%でした。

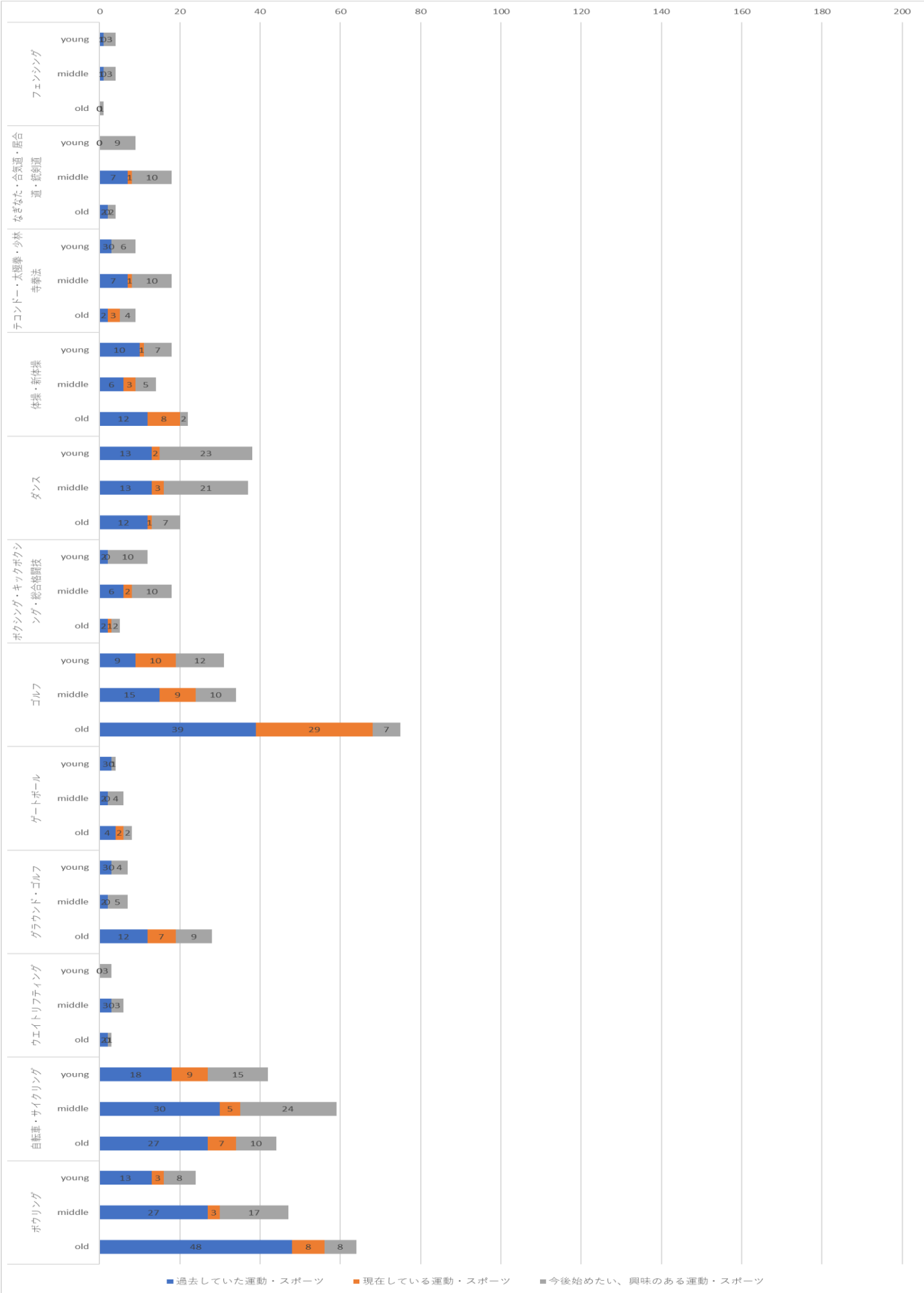
	全体	Young	Middle	Old
継続期間は1年以上である	116	25	34	54
継続期間は1年未満である	24	11	6	6
無回答	13	2	2	8

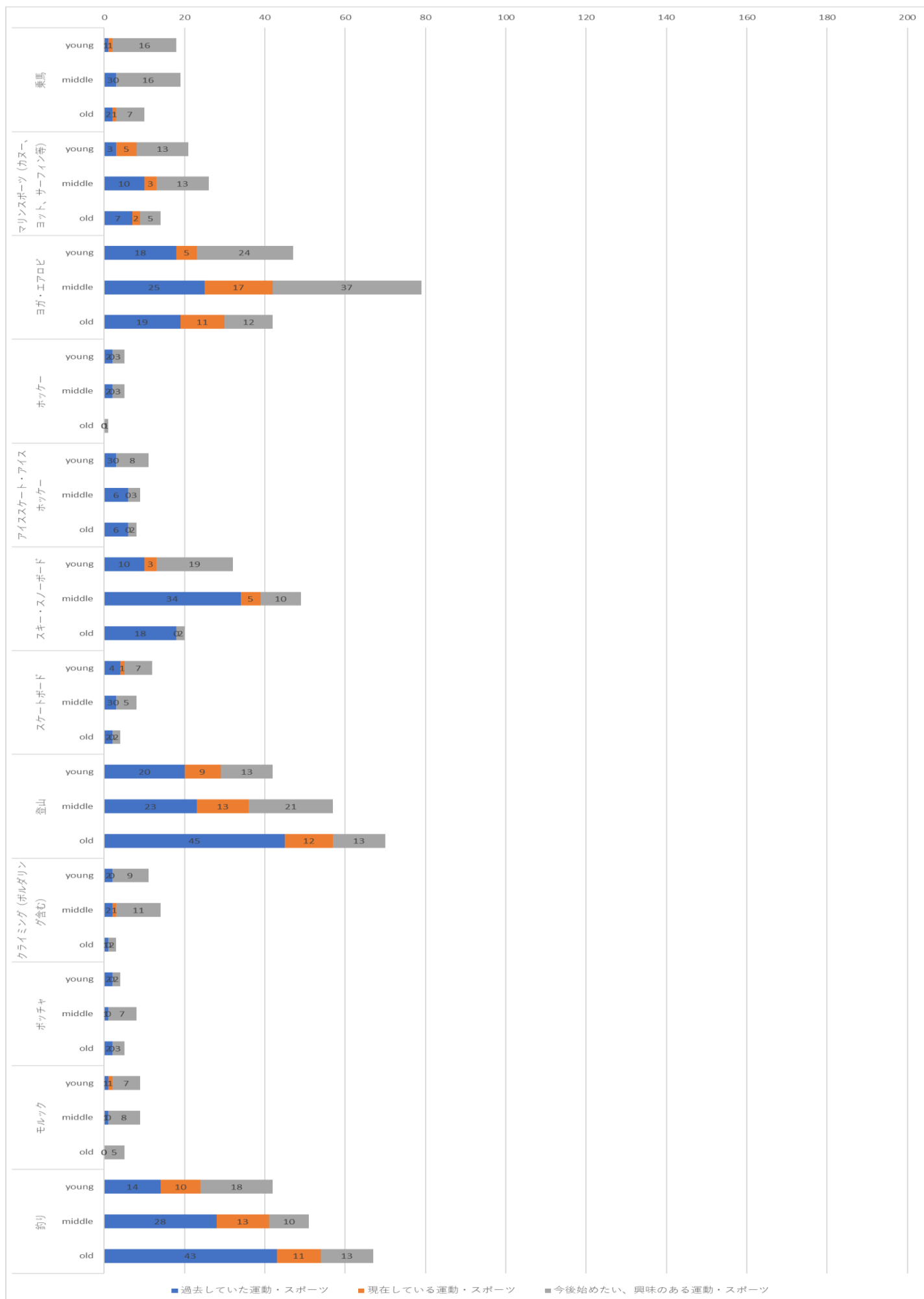
問8 あなたはどのような運動・スポーツの経験や興味がありますか。以下の項目から「過去していた運動・スポーツ」、「現在している運動・スポーツ」、「今後始めたい、興味がある運動・スポーツ」の該当する箇所に✓してください。

▼今後始めたい種目において回答者の10%以上が選択した種目は、Young 世代ではバドミントン、ダンス、ヨガ・エアロビ、Middle 世代ではウォーキング、ヨガ・エアロビ、Old 世代ではウォーキングでした。



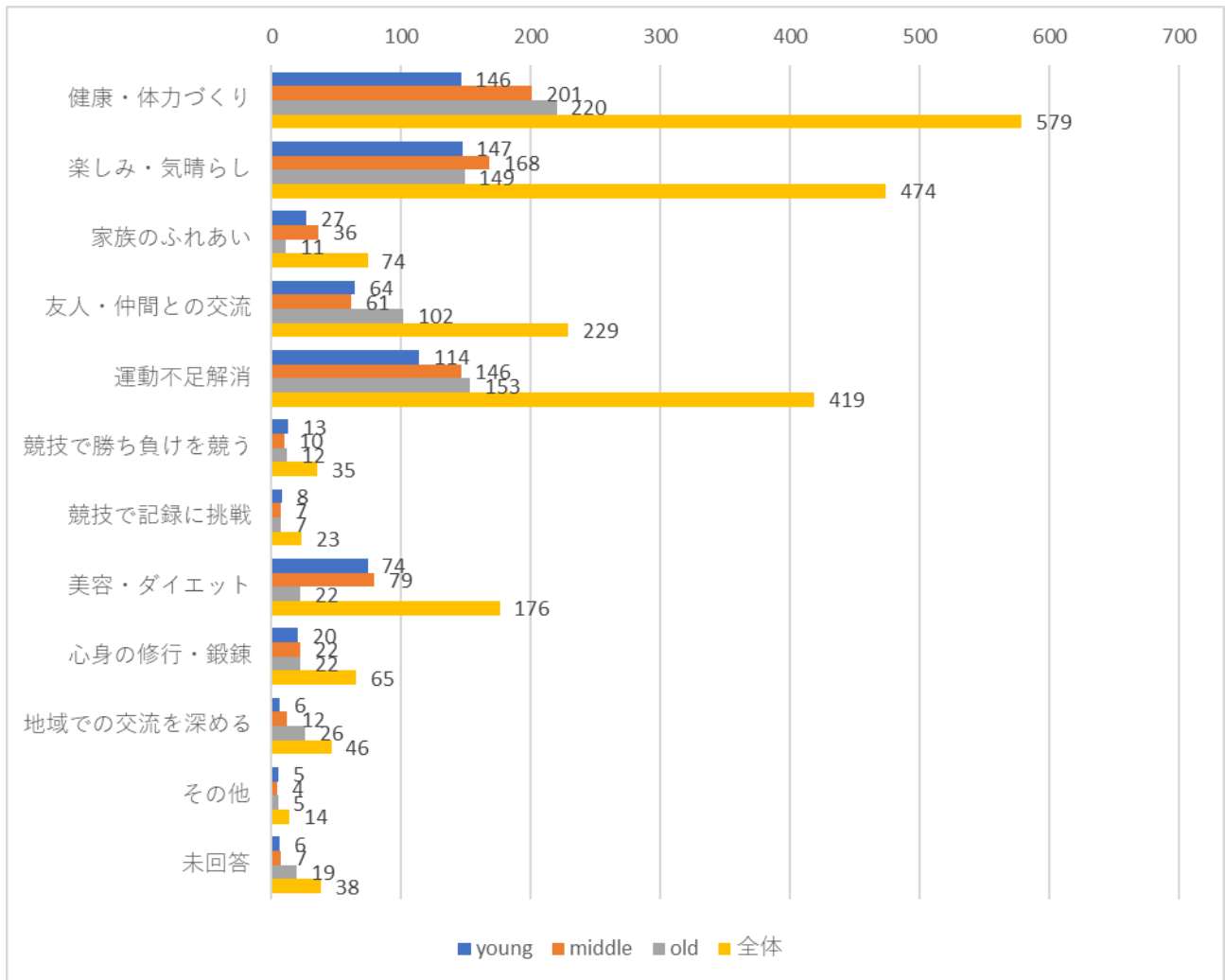






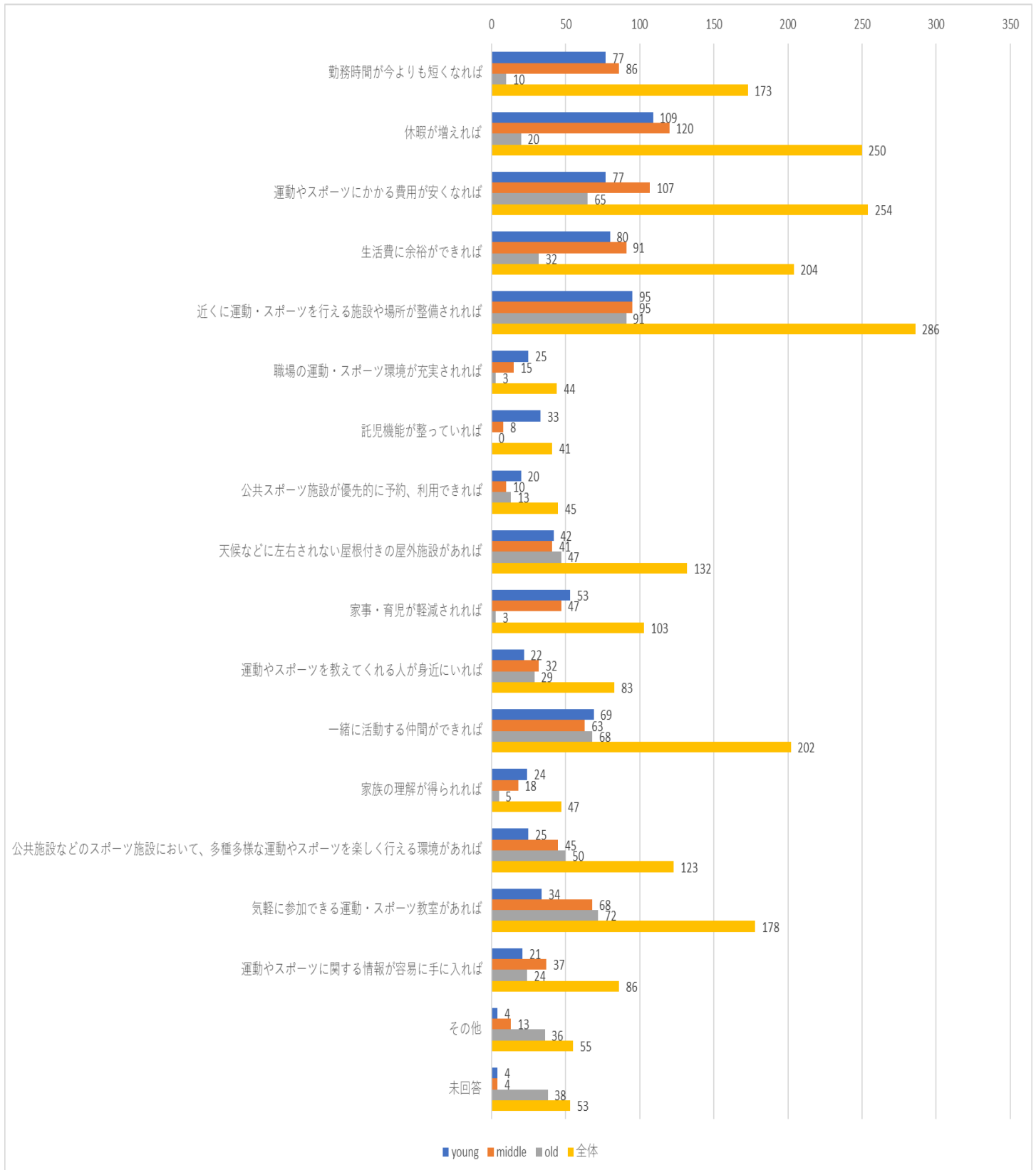
問9 あなたが運動やスポーツを行うのはどのような理由からですか。次の中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

▼回答者の50%以上が選択した項目は、「健康・体力づくり」「楽しみ・気晴らし」「運動不足解消」でした。また、Young と Middle 世代は、Old 世代に比べて、「美容・ダイエット」を選択した割合が高くなっています。



問10 あなたはどのような条件が揃えばもっと運動やスポーツを行う（始める）ことができますか。次の中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

▼「近くに運動・スポーツを行える施設や場所が整備されれば」と回答した者が最も多く、次いで「運動やスポーツにかかる費用が安くなれば」「休暇が増えれば」と回答した者が多い結果となりました。世代別の違いとしては、Young、Middle 世代では、時間や経済面が重視されているのに対し、Old 世代では、気軽さや仲間づくりが重視されています。



問11 あなたは宗像市の運動やスポーツをおこなう環境について満足していますか。満足していなければその理由も教えてください。

【運動やスポーツを実施する環境】

▼「満足している」と回答した者の割合は24.2%、「満足していない」と回答した割合は15.6%でした。50%以上は「分からない」との回答でした。

	全体	Young	Middle	Old
満足している	190	48	63	75
満足していない	122	32	51	38
分からない	443	134	151	146
未回答	29	2	3	19

【満足していない理由】

- ・近くにない ・もっと沢山小規模にあってもいいと思う ・近くにない。高齢者向けでない
- ・移動距離がある
- ・施設が少ない ・グラウンドがない ・テニスコートが少ない ・テニスコートを整備してほしい
- ・赤間地区なので(テニス)ユリックスが遠い ・施設が少なく、距離が遠く、車が必須なところ
- ・設備不足 ・硬式野球場があれば良い ・八所宮の弓道場に遠的場がない、設備などが不十分
- ・バスケ(ミニバスリング)のできるところが少ない ・施設が少ない(競技地、野球場など)
- ・天候に左右されるため ・屋外施設がない ・コミセンなどにも必要と思う
- ・宗像ユリックスに、バスケリングは一つしかないため、バスケットコートと併設してテニスコートの増設。また、ユリックス内は自転車禁止であれば、ふれあいの森総合公園の様にスケートボード場を作ってください。
- ・外遊びができる施設がない。フリーで遊べる広場(バスケ、テニス、サッカーなど)があるといい。小学生がサイクリングできるコースがあると面白い。
- ・ユリックスジムのトレーニングマシンの数が少ない。グローバルアリーナのジムのトレーニングマシンが利用できなくなって残念。
- ・ヨガやジムで体を動かした後にサウナやお風呂に入れる施設があると良いと思う(市民は料金が安い)
- ・近所にスポーツ施設(ジム)が少ない。 ・スポーツジムの場所が分からない
- ・市民体育館にトレーニングジムがないため
- ・時間が合わない ・少ない。曜日、時間が限られている。
- ・子連れは難しい
- ・利便性に課題がある ・公共交通機関の貧弱 ・交通の便が悪い
- ・公共交通機関を利用して行きにくい
- ・場所が分からない ・情報が入手しにくいから ・情報量が少ない
- ・費用が高い ・ジムの値上げ ・スポーツジムなど高いから ・野球場の電気料金高い
- ・野球グラウンドの照明代をもう少し下げてほしい
- ・プール高い費用 ・ユリックスのテニスコート代が高い ・公共、民間にしても費用が高い
- ・アクアドームの料金が安く感じるため
- ・グラウンドや施設を造っても利用できるきっかけやイベントがない ・実施する環境が少ない
- ・環境がもっと欲しい ・自由にグラウンドに入ることができない

- ・冷房がなく夏暑い。備品が老朽化している（特に勤労者体育館）。市民体育館の外のトイレが古くて汚い。テニスコートも水はけが悪い。
- ・ウォーキング、街灯がなく真っ暗で危ない　・車道が多く単調な景色が続く　・釣川沿いが暗すぎる
- ・種類が充実してほしい
- ・施設、管理が不備　・近くの施設が予約制で気軽に使えない
- ・運動やスポーツを1人でできる場所がない
- ・公共の運動施設がだいたい17時ごろで閉まるため、早朝や夜間に運動したくても公共施設が利用できない。
- ・運動の講座などに参加しようとした時もあったが、同世代の人が少ないイメージがあったので、諦めました。
- ・東郷地区ではユリックスが最寄りの運動施設になると思いますが、日常利用するには遠いため。
- ・毎日仕事で忙しい人にとっては、気軽にスポーツを始めたり、運動を楽しめる環境がない。
- ・夜間開いていればいいと思う
- ・競技の種類が少ない、人数が少ない
- ・老人が多い
- ・ヨガなど平日ばかりなような、、、
- ・土日でも子どもを預ける場所がなくように思います。ただ、一緒にできるならもっといいなあと思います。
- ・陸上競技場がなく、あってもグローバルアリーナのトラックは古すぎるし、ラグビーやサッカーのアップとして使われることがしばしば
- ・設備が、十分とはいえないし、指導者も十分とはいえない。
- ・目立った運動施設はユリックスくらいで、総合施設ではなく川沿いや道路側道などをウォーキング専用コースとして各地域にたくさん整備して市民の健康増進の動機に欲しい。
- ・宗像の名所を結ぶように整備できれば観光客も見込めると思う。

【運動やスポーツを学べる（初心者を指導する教室など）環境】

▼「満足している」と回答した割合は12.2%、「満足していない」と回答した割合は8.8%でした。「分からない」と回答した割合については、70%以上もありました。また、Middle 世代では、「満足している」と回答した者よりも「満足していない」と回答した者の方が多い結果となっています。

	全体	Young	Middle	Old
満足している	96	22	25	47
満足していない	69	13	31	24
分からない	581	179	209	181
未回答	38	2	3	26

【満足していない理由】

- ・各コミセン教室の案内を広報紙にのせてほしい。メイトムだけでなく。
- ・教室がない　・ソフトテニスの普及率は低い　・どこで何があるのかわからない
- ・卓球など興味があるが、きっかけとなる教室があるのか分からない
- ・夜の時間が少ないし高いから　・情報が入手しにくい。教室が少ない。
- ・少ない。自分の都合のいい時にない。夜が少ない。　・夜の講座が少ない
- ・初心者募集が少ない　・一つの教室のカテゴリーが少ない
- ・時間帯があわない　・種類や時間帯が少ない　・平日開催が多い　・仕事が終わってから行きたい

- ・指導者不足 ・一流の指導者 ・指導者というよりも友達同士でやっている感じ
- ・気軽に始められない為 ・環境がもっと欲しい
- ・費用が高い(受講料がかかる)
- ・衣装の見せ合いの場合になっている
- ・近場にできる場所がないため ・学びたいスポーツがあるが近くにない
- ・ネット配信したら自宅で行える
- ・窓口が分からない
- ・イベント不足

【運動やスポーツを楽しめる(スポーツ観戦やレクリエーション)環境】

▼「満足している」と回答した割合は15.9%、「満足していない」と回答した割合は9.9%でした。また、約70%が「分からない」との回答でした。

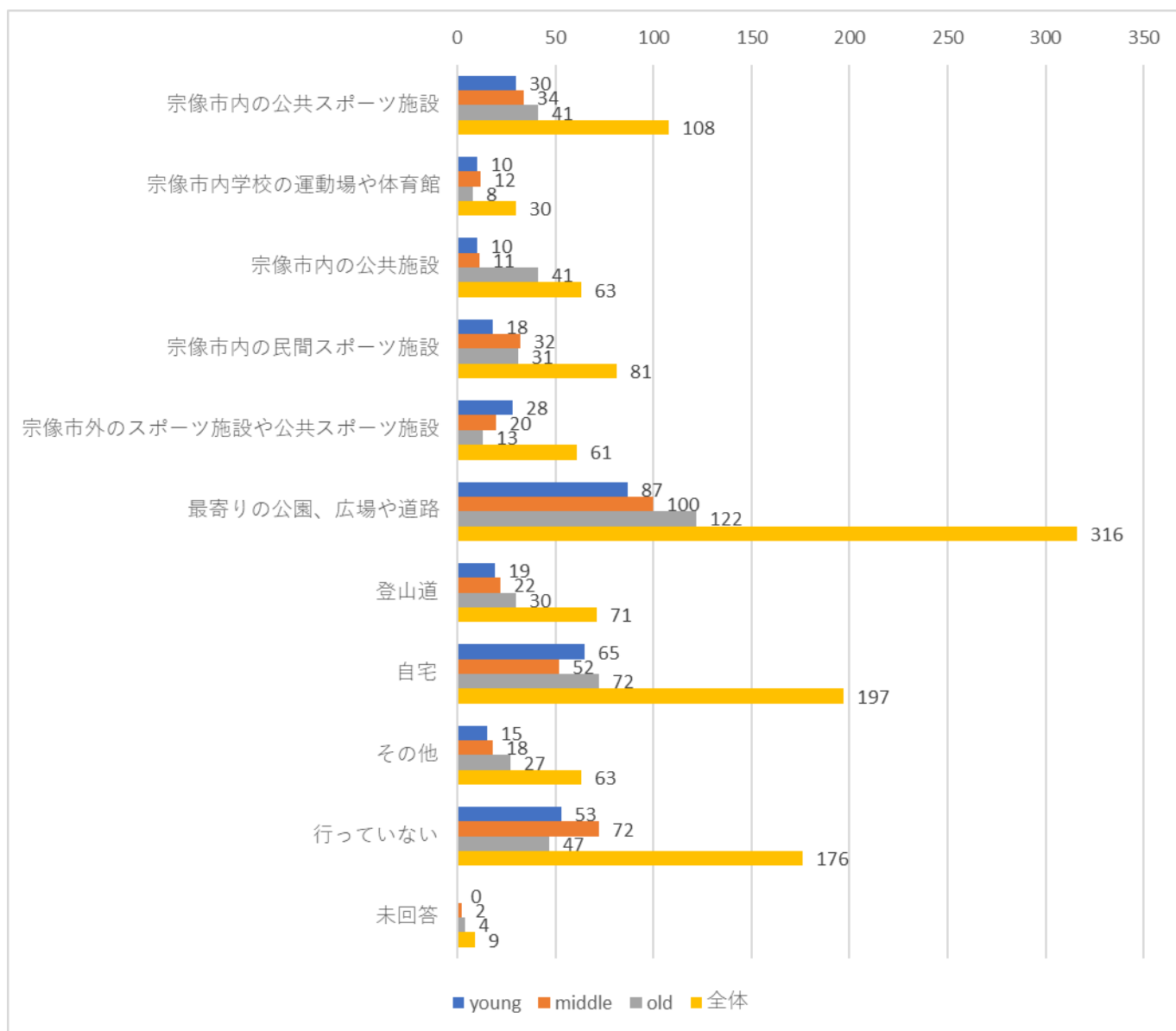
	全体	Young	Middle	Old
満足している	125	33	40	50
満足していない	78	10	28	38
分からない	544	170	197	166
未回答	37	3	3	24

【満足していない理由】

- ・そういう機会が少ない ・競技(宗像市大会)においても不十分
- ・施設が少ない ・屋内施設が充実でない ・観戦施設は少ないと思う
- ・公式戦ができないプールでは試合ができない
- ・送迎がない ・参加する足の手段がない。グローバルアリーナ等。
- ・近くにない ・道場が遠い
- ・交通手段がない ・公共交通機関を利用して行きにくい
- ・ほとんど近くで観戦したことがない。もっと有名人の指導を観たい。
- ・情報不足 ・マラソンぐらいしかわからない情報 ・観戦したい試合がない
- ・興味ある、魅力あるイベントがない ・宗像市内でのイベントが分からない
- ・プロのスポーツ観戦ができる施設がほとんどない ・プロの技が見られない ・サニックスブルースが解散した
- ・以前、宗像サニックスブルースがあった時のトップレベルのスポーツの観戦環境がなくなったから
- ・グローバルアリーナなど、スポーツを身近に感じる施設があるが、ラグビーやサッカーなどもっと大会などがあるとうれしい。
- ・スポーツ観戦はグローバルアリーナくらいで遠いし、アクセスの道路も少なく不便。
- ・以前より増えたが種目が限られている
- ・気が合う人がいなかった
- ・観客席がない箇所が多い ・市民体育館の観客席が狭小でゆっくり観戦出来ない
- ・空調設備もないので、大きな大会も誘致出来ないのではないかな

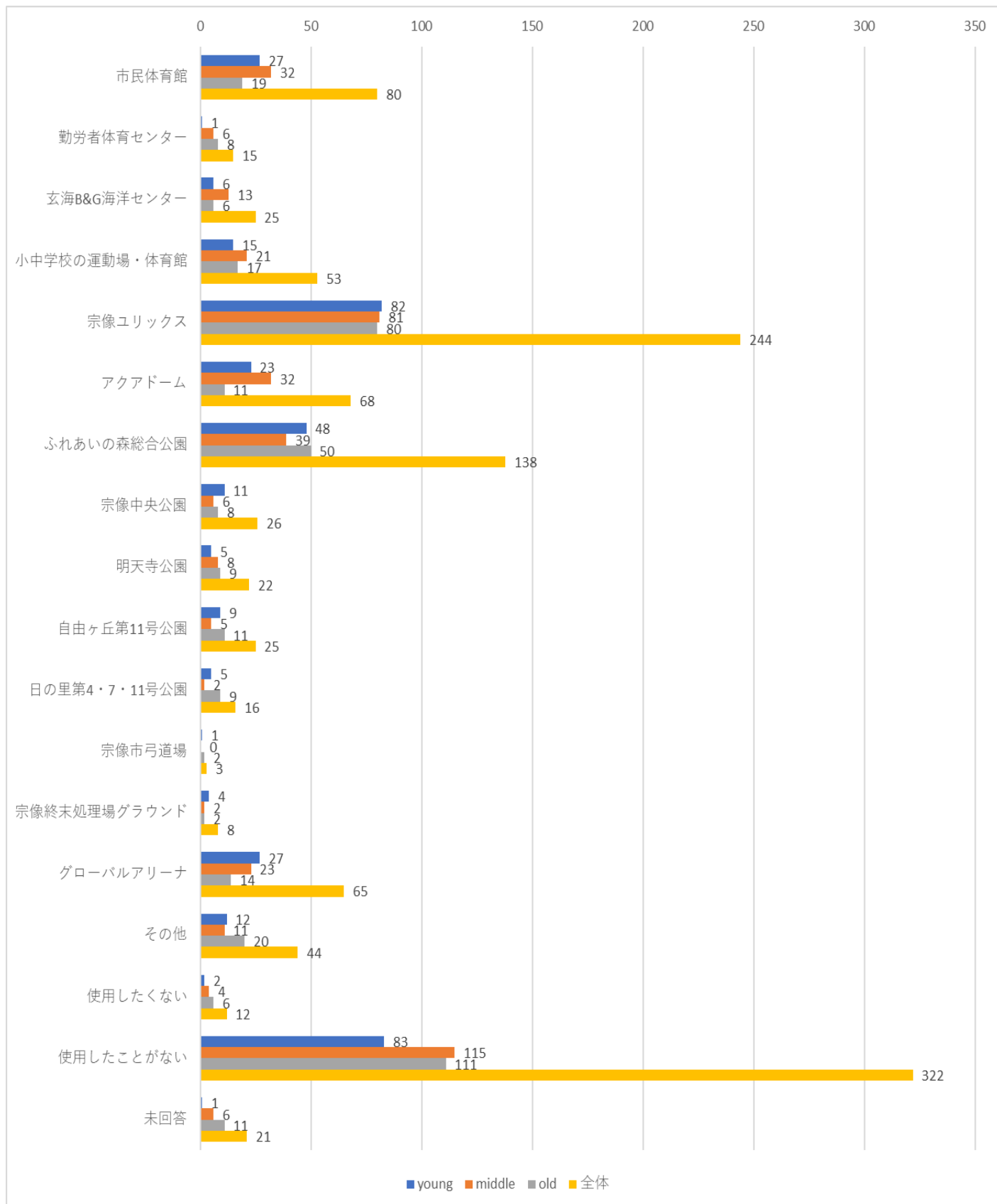
問12 あなたは日頃どのような場所で運動やスポーツを行っていますか。次の中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

▼回答者の約40%が「最寄りの公園、広場や道路」を選択しており、最も回答の多い項目でした。次いで「自宅」「行っていない」の順でした。



問13 あなたは過去2年間でどのスポーツ施設を使用したことがありますか。次の中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

▼回答者の約40%が「使用したことがない」を選択しており、最も回答の多い項目でした。使用したことがある施設については、回答者の約30%が「宗像ユリックス」を選択しており、次いで「ふれあいの森総合公園」「市民体育館」の順でした。



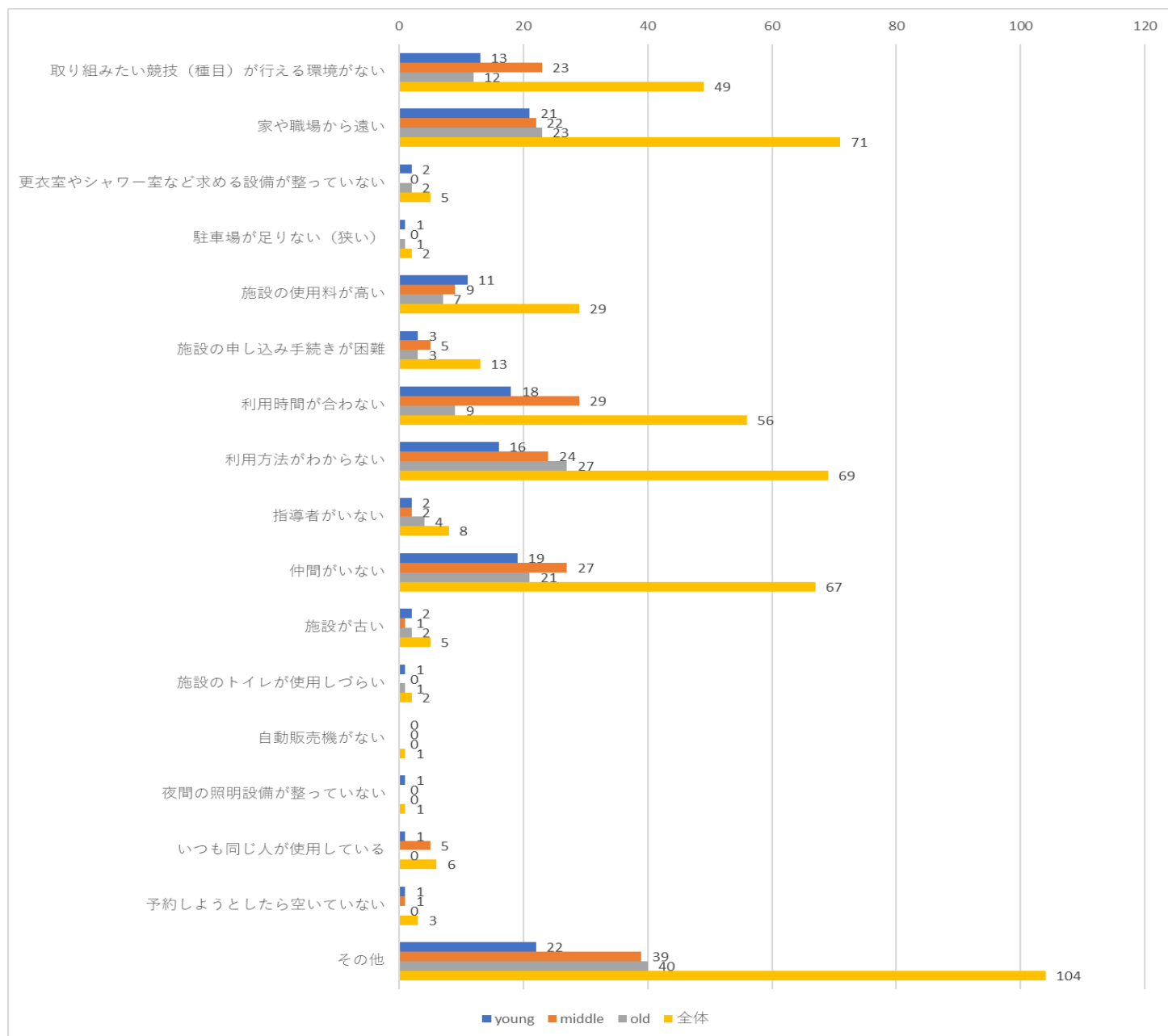
問14 問13で施設の使用があると答えた方にお聞きします。その施設をどのくらいの頻度で利用していますか。次の中からあてはまる番号1つに○印をつけてください。

▼「年に数回程度」と回答した割合が最も高く50.8%、次いで「週1～2回」が16.0%、「月に1回程度」が12.0%でした。また、月に1回以上利用している割合を世代別にみると、Young 世代が24.1%、Middle 世代が36.7%、Old 世代が51.0%と、年代の高い方が低い方に比べて利用頻度が高い傾向にありました。

	全体	Young	Middle	Old
年に数回程度	232	93	80	59
月に1回程度	55	21	20	14
週1～2回	73	9	24	37
週3～4回	30	5	7	18

問15 問13で「16. 使用したくない」、「17. 使用したことがない」と答えた方にお聞きます。あなたがスポーツ施設を使用したくない(したことがない)理由を教えてください。次の中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

▼「家や職場から遠い」が最も多く、次いで「利用方法がわからない」「仲間がいない」の順でした。また、世代別に最も回答の多かった項目をみると、Young 世代が「家や職場から遠い」、Middle 世代が「利用時間が合わない」、Old 世代が「利用方法がわからない」でした。



【その他】

- ・興味がない
- ・施設を利用する理由(目的)がない
- ・運動・スポーツを全くしない
- ・コロナでやめた
- ・取り組みたいスポーツがない
- ・取り組みたい内容や環境ではないため
- ・やる気がない
- ・使用するメリットが感じられない
- ・スポーツ以外の趣味があるのでそちらの方に時間をかけたい
- ・個人でできる運動を好むから
- ・近くの道路で散歩している
- ・年齢的にウォーキングのみ
- ・歩くだけなので使用する必要がない
- ・高齢なので近くの公民館で体操し、自宅でやっているのも満足

・登山、ウォーキングは時間の制限がない ・家事や介護でそれどころではない ・子どもが小さく見てくれる人がいない。施設を利用する時間がない ・子どもと一緒にだから ・人（老人）が多い。プールは子供が多いため ・高齢者が多すぎてプールが使えない ・どこで何ができるのかも知らない ・発作、てんかんのため、運動は必ず付き添いがないと無理 ・交通手段がない ・車を運転しないので交通が不便

問16 市民体育館の施設の既存の設備やサービスについて改善してほしい内容と、もし追加されるとすればこのような設備がほしいというものがあれば記入してください。

名 称	改善してほしい内容	理想的な設備
大体育室	・夏は暑くて、冬は寒い ・倉庫の引き戸が重い ・掃除道具入れ用ロッカー閉まらない ・受付の人の態度が悪かった。とても改善してほしい。 ・多様なスポーツに対応できるように（例宮若市の体育館） ・照明代が高い。団体料金を安くしてほしい。 ・普段日常的に利用していない人が利用するとモップや仕切ネットの片づけなどできていない。	・冷暖房完備 ・長机→コロ付きの軽量タイプへ ・得点板8個あったらいい ・受付時に使い方を徹底して伝えて欲しい利用回数の初の人や少ない人に対して ・客席の方だけ風を向けた(競技に風の影響が出ない)エアコン設備が欲しい ・観客席
小体育室 A,B,C	・寒すぎる ・子供が容易に利用 ・夏場が暑くてしょうじづらい ・掃除が不十分 ・広さが無い(卓球) ・武道場の見学スペースが外にある ・卓球の利用者が多い割に、卓球台が少ないと思う	・冷暖房完備 ・武道場が2面 ・中にも見学スペースがほしい
多目的ホール	・子供が容易に利用 ・多目的ホールが少ない。増やす。	・冷暖房完備
トイレ	・温便座が欲しい ・トイレが汚い、古い ・全て洋式にしてほしい ・洋式便座の数が少ない ・トイレ用の除菌クリーナーを置いてほしい ・全部ボックストイレ ・新設orリニューアル ・数を増やしてほしい ・夏場は便座に温かさは必要ないので切って欲しい	・ウォシュレット付き洋式便座 ・最低限の設備 ・新しいものを増やしてほしい ・子ども用トイレ
更衣室・シャワー室	・シャワーの台数を増やしてほしい ・水圧 ・ベンチタイプの椅子の設置。一つでいいので、足の悪い人など助かる。	・時間制限のないシャワー室に。 ・シャワーの台数が多くゆっくり利用できる環境 ・広いシャワー室
駐車場	・停められる台数が少ない ・大会等ではとめられない ・駐車場の舗装をきれいにしてほしい ・出入口の塀のせいで、車からも歩行者からも相手の存在が分かりにくい	・台数を増やしてほしい ・屋根付きの駐車場 ・輪止めがほしい

サービス	・予約の後に支払いにわざわざ体育館に行くのが大変 ・よくわからない ・子連れ可能にしてほしい ・利用料を安く ・予約なしで利用 ・電話での予約ができるようにしてほしい ・予約しづらい ・どのようなスポーツクラブやサークルが活動しているかわからない ・日頃開催されている運動教室やイベントなどの告知をアクアドーム並みにしてほしい。公式試合等でしか使えないのかな?と思っている	・分かりやすくしてほしい ・託児サービス ・ネットや LINE などからも予約やキャンセルができるシステム ・個人利用のハードルが高い ・HP で紹介してほしい ・予約の簡素化 ・当日ネットで簡単予約
その他	・利用者のマナーが悪い団体がいる ・周辺の交通状況が悪い。混雑しやすく行きづらい(特に旧3号)橋が少なく、JR や釣川を越えにくい。 ・卓球のラケットの貸し出しがなくなったようなので貸し出してほしい。シューズの貸し出しなどあれば利用しやすい。 ・高齢者のため行く機会がない ・ゲームスポーツ ・既存の施設は古い(老朽化)。改善ではなく建て替えを。 ・テニスコートをオムニコートにしてほしい ・市民体育館内に弓道場を作してほしい。 ・体育館の事務所の人の対応が悪い。 ・そもそもどこにあるかわからないし、行く交通手段がない ・PM2.5 や猛暑による熱中症対策のため、屋外でのスポーツ施設に屋根を設置することや屋内施設にする。(福智町、飯塚市の体育館) ・自転車、バイク置場がせまい ・空調設備、収容人員が大きなギャラリー、サブアリーナを備えた新しい体育館の新設 ・観覧席がない ・入口のレンガはがれ ・飯塚市や春日市のような体育館	・血圧計を増やしてほしい ・みんなが気持ちよく使えるように注意してほしい ・散歩ができるようなところ ・老若男女問わずゲームスポーツ(人が集まるのではないか) ・4階建てにして、それぞれのスポーツができるように弓道場もぜひしてほしい。 ・もっと接客マナーを勉強、指導して下さい。(むしろ上の人の方が笑顔一つない) 利用する人に対しての話し方が偉そうすぎて何様状態。 ・ラケット、ボール、ネットなど持ち込まなくても、手ぶらで体育館でスポーツができるようだといいなと思う。 ・ウォーキングやランニングコース ・観覧席を設置してほしい ・ジム施設 ・予約なしでも自由にストレッチなどができるスペースがほしい。 ・室内テニス ・オリエンテーリング

問17 ふれあいの森総合公園の既存の設備やサービスについて改善してほしい内容と、もし追加されればこのような設備がほしいというものがあれば記入してください。

名 称	改善してほしい内容	理想的な設備
多目的広場	土壌の改善をしてほしい ・排水改善 ・日除けを増やしてほしい ・予約なしで、個人でも利用したい ・芝、小砂利の撤去 ・でこぼこを直してほしい ・グラウンドが自由に使えること	・でこぼこのある所を直す ・定期的に「まさ土」を入れる ・ソフトボールベンチに日除け屋根 ・芝生エリアが欲しい
遊具エリア	・水はけを良くしてほしい ・危険個所の修繕 ・大型アスレチック ・滑り台の数 ・多くの遊具を設けてほしい ・小学校高学年の子が遊んで体を動かせる遊具が減ってしまったので復活させてほしいです。 ・牛ふんのにおい ・森を活かしてフォレストアドベンチャーまでは必要ないが山遊び、プレーパークみたいなのがあればいいかなと思う ・低年齢の子が遊べるようにしてほしい ・遊具が少ない。順番待ちが長い。 ・地面が傾斜になっていて、地面にシートが引かれているが、滑りやすい ・アスレチックや散歩道はあるといい	・ユリックスの芝生広場のトラック内にあるウエイトトレーニングや鉄棒のように体を動かせる施設 ・もっと滑り台があればいい ・砂場がもう少し広いとよい ・日陰となる東屋など。 ・遊具を増やしてほしい ・土日は人が多すぎてゆっくり遊べないので、遊具エリアを広げてほしい。水遊びできるような池や水辺がほしい。
散策路(山)	・アサギマダラの来蝶する植物の整備 ・もっと歩きやすくしてほしい。でも自然は残してほしい。 ・カラスの糞がたくさんだった ・コースの所々にベンチを置いてほしい。 ・花や木の名前を書いてほしい。 ・道を歩きやすくしてほしい ・今のままで十分良い。あまり手を入れなくていい。 ・山道(池)が危険すぎる。暗いので木の管理をしてほしい ・スズメバチの巣やイノシシの出没に危険の除却 ・案内標識をもっと整備してほしい ・犬を連れてても歩きやすいように ・山路の幅を広げてください ・歩いてみたいと誘導される様な入口、散策環境づくりが欲しい トイレ、散歩道の整備(ジメジメしているところがある) ・アスレチックや散歩道はあるといい	・スイセンジナとフジバカマの植生の充実 ・フィールドアスレチックのようなコースが欲しい ・子どもたちでも危なくないようにしてもらいたい ・丘の頂に見晴らしの利く展望台があればいい ・「この先右〇〇」の案内がほしい ・犬を連れて散歩できるエリア ・ランニングができるように ・カブトムシ等増やす ・山道には街灯があるとうれしい
トイレ	・数を増やしてほしい ・トイレを洋式にしてほしい ・もう少し明るく綺麗にしてほしい ・ドアがない ・水洗式にしてほしい ・案内ボ	・遊具近くに新設してほしい ・入口に防犯カメラ ・洋式トイレ、水洗、ウォシュレット ・山道にもほしい ・きれいなトイレに

	ード(50m先)・山中のトイレは汚く入りたくない・女子トイレに男子が入ってくる・一極集中ではなく要所に新設を・休日でも遊具近くのトイレが使えるようにして欲しい・使用場所によってはトイレが遠い	建て替えてほしい・子供用トイレの設置・明るく綺麗な洋式トイレ・綺麗なオムツ交換所
駐車場	・駐車スペースが少ない・第1駐車場の台数が少ない・遊具が減ったのに駐車場も狭くなってしまった。・スペースを明確に。(ぶつけられたこと有)・横山口奥駐車場が満車の時Uターンしづらい	・利用する施設ごとに駐車場がほしい(案内看板つけてほしい)・輪止めがほしい・屋根付き・広くしてほしい
スケートボード場	・初心者が練習しにくい・スケボーのセクションの難易度が高く(プロでも難しい)、ケガのリスクが高い。また狭いため、接触の恐れもある。	・パークがほしい・習熟度に応じたコースを作してほしい・セクションエリアとフラットエリアを区切りたい・セクションでヒザより低いボックスやレール、マニュアル台など初心者でもチャレンジしやすいものを設置・柵外に荷物置場の簡易棚
サービス	・案内ボード(10m先)・イベント開催時や土日等に飲食ブースができると便利なのは?近くに飲食店やコンビニもないので、キッチンカーなどくと喜ばれると思う・くつろげるカフェ・周辺にコンビニなどの施設がない	・飲食店に出店してほしい・コンビニの設置
その他	・空気が臭い・歩道にハエが多い・交通不便。高齢者のため足がない・階段が急で長すぎる(第1駐車場が使えないとき下から上がるのが大変)・ジム(筋トレルーム)が欲しい・バードウォッチングの案内板:見れる鳥の写真の掲示。野鳥の巣箱を市民で作り木に設置するイベント開催・手洗い場が欲しい・ミニ売店が欲しい・平日は17:30頃から早く出ると管理人にせかされる。すぐに解決してほしい。・雨の時でも遊べる所・3才、小2、小5を子育て中ですが、3才を遊ばせていれば、一緒に見守っていた小5が小さい子のお母さんに大きい子は邪魔と言われたり、小5に合わせて遊べば小2前後の男の子に3才が順番を抜かされたりと、個人の問題ではあるでしょうが、改築されてから遊びにくくなったと感じます。・休憩所にテントを立てる方が増えたので、ベンチやふちに座りにくくなって	・屋根付き休憩所・におい対策・サッカーやバスケット等個人利用できるところがほしい・樹木の名前を掲示する。月1程度でボランティアの講師を招いて自然観察会(植物、樹木、野鳥)・サイクリング/BMXやスケボーなどのアクティブな施設が欲しい・池で釣りをできるような環境づくり・ユリックス、響灘グリーンパークやなまずの里のようなイメージ・手洗い場の整備・屋内の広い場所・軽食・駕与丁公園のように一周何キロか分かる園内マップやバラけた遊具・ウォーキングやジョギングで足に負担の少ない弾力のある地面・年の差兄弟の子どもがいる人にも楽に連れてこれる平らな公園(ベビーカーを楽に押せる公園)・運動器具

	いる。・BBQ、デイキャンプ等ができる場所があればよい(有料でもよいので) ・何処にあるか知らないので教えてほしい ・サイクリング／BMXやスケボーができない ・芝生スペースの拡大(シートを敷いて寛げるスペース) ・食事を食べれる施設が欲しい(買いに行く場所が遠い) ・犬と走れる環境 ・雨の日使えないのは、非常につらい。 ・混雑 ・水捌けをよくしてほしい ・魚釣りが出来るようにしてほしい ・ベビーカーで一周できる道がほしい。また分散した遊具(集中して遊具がある)があるといい。 ・坂が急過ぎてしんどい。	
--	--	--

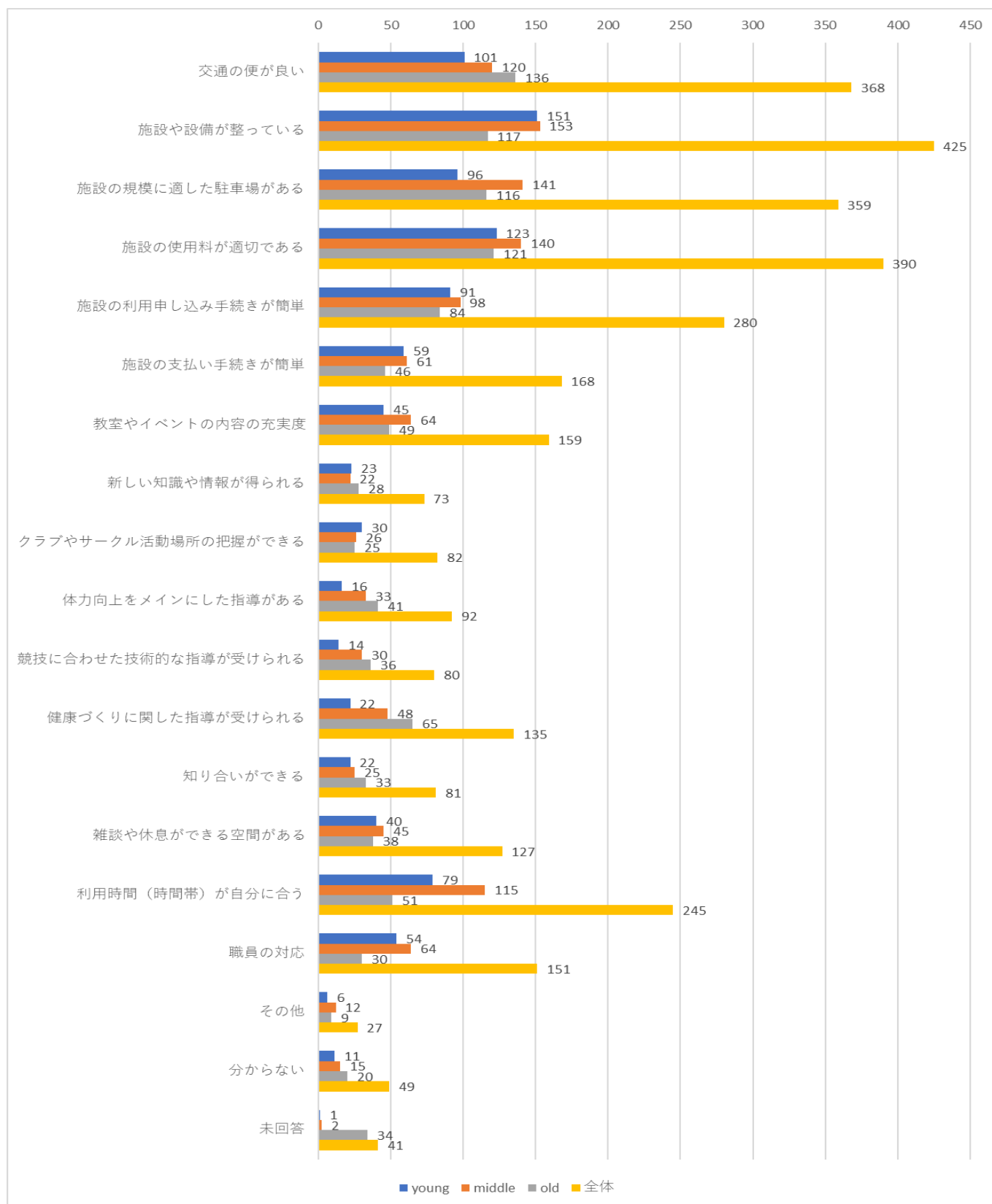
問18 上記2施設以外でも施設の機能やサービスについて改善してほしい内容と、もし追加されるとすればこのような機能がほしいというものがあれば記入してください。

名 称	改善してほしい内容	理想的な機能
アクアドーム	・レッスングラス ・高齢者が多い。もっと子供が泳げるところを増やしてほしい。教室がある日は特に狭い。人数にあった場所を。・利用料が高額である。年間パス等はもっと補助してくれていいと思う。・水泳教室でクローズされるレーンが多すぎる。休館日をなくしてほしい。	・レッスングラスを増やしてほしい ・大人ばかりではなく、子どもが参加できる教室ができるといいと思う。長期休暇の時は、特別教室を開くなど。高齢者が独占しすぎ。・市民の人は300円くらいで入れるサウナとお風呂（温泉） ・ウォーキングプール、子ども用プール ・1か月利用券や市民割を作してほしい
勤労者体育センター	・夏場の暑さがきつい ・使用料を安くしてほしい（電気使用料を含む） ・トイレ	・冷暖房完備 ・トイレの個室を増やす。床に温かみを。
グローバルアリーナ	・低料金で使える施設を市が経営してほしい ・ジョギングコースを改修し、夜中、早朝でも利用できるように。シャワー等も。	・24時間開放し、いつでも使える状態
テニスコート	オムニコートの新設。現状は石などでできているので、砂を入れる整備をしてほしい	
	・トイレが暗い。洋式トイレを増やしてほしい。・天候に左右されないランニングコースや散歩ができる空間が欲しい ・バスケットコートを増やしてほしい（ミニバス）。土日は特に混雑して利用しにくい。・犬の散歩ができるようにしてほしい ・利用料金が安い ・利用時間が短い ・レストランの改善 ・温泉施設 ・子供用のトイレ ・くつろぎスペース ・テニスコートの水はけが悪い。コートがつぎはぎで転びそうで怖い。屋根付きにする。・料金を安くしてほしい。福津市は非常に安いので。・外周道路を足にやさしい舗装にしてほしい。・ジョギングコースの舗装の痛み及び不陸を補修してもらいたい ・ドッグラン施設を作してほしい。・テニスコートの予約がとりにくい ・レンタサイクルができると良いと思う	・大人用と子ども用（コートサイズに合わせる）と分けて子どもにも練習する機会を作りたい。ゴールが高くてボールが届かない（バスケ）。・利用料金を安くする（セット割や会員割は既にあると思いますが、全体的に安くする） ・利用時間を2時間から増やす ・和・洋・中ビュッフェ ・宿泊 ・座って楽に過ごせるスペース ・雨降りや強風の日でも使える。・インターネットで予約状況がわかるようにしてほしい。
宗像市弓道場	近的、遠的、巻藁ができる場所を確保してほしい。	それぞれの場所ができるよう改善してほしい。

等

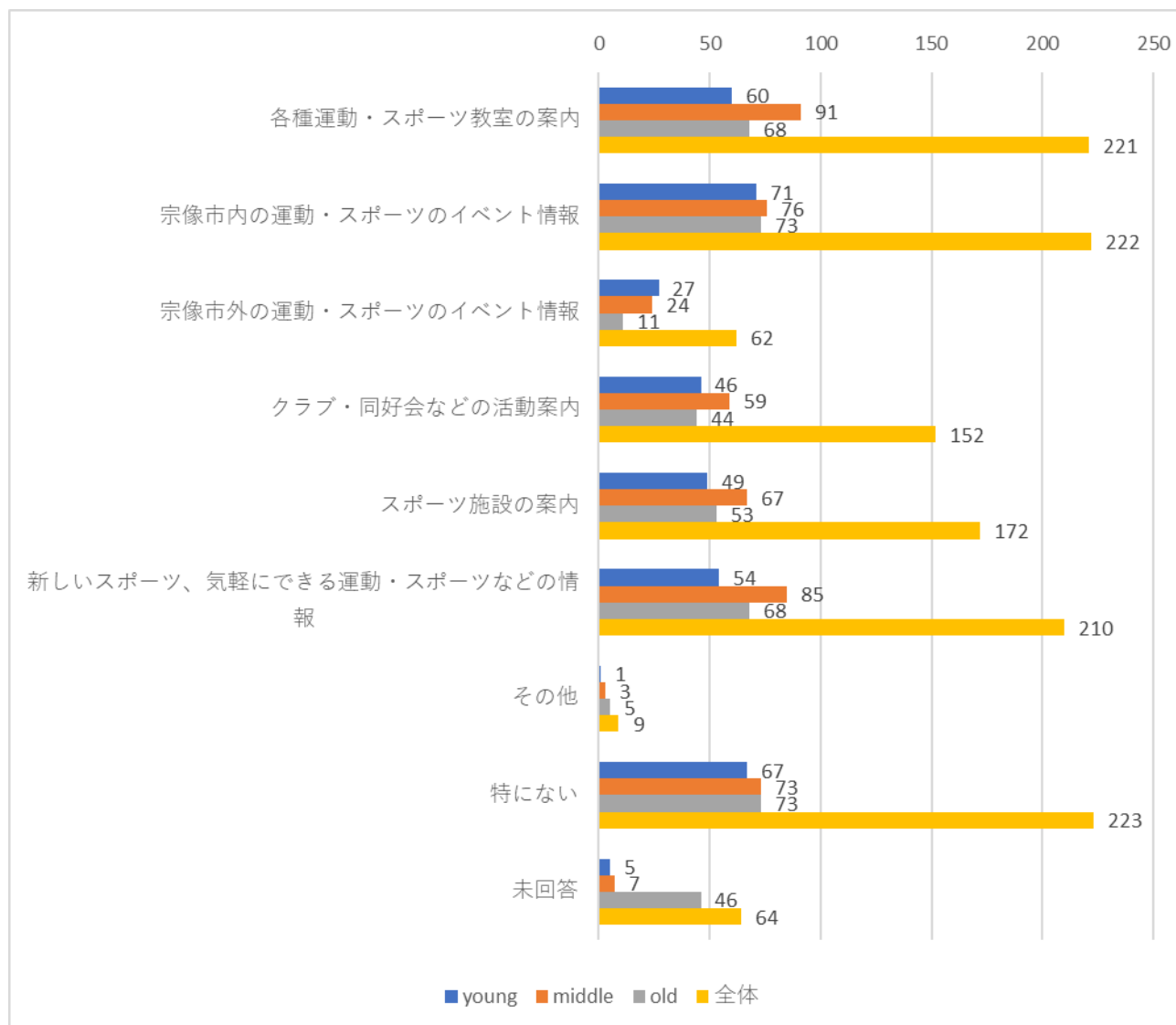
問19 あなたがスポーツ施設にとって重要だと思うものは何ですか。次の中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

▼「施設や設備が整っている」が最も多く、次いで「施設の使用料が適切である」「交通の便がいい」の順でした。



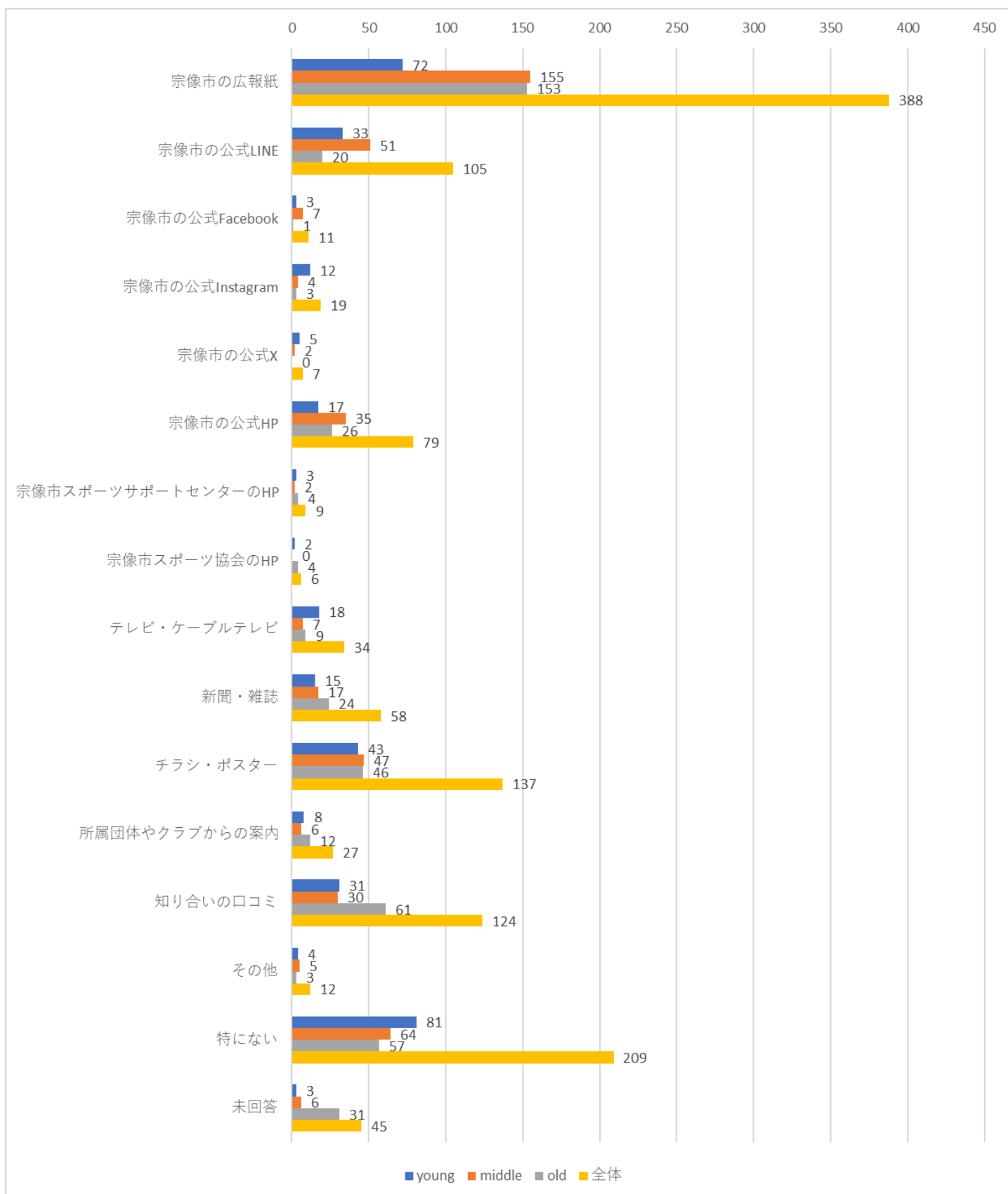
問20 あなたはどのような運動やスポーツの情報が欲しいですか。次の中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

▼「特にない」が最も多く、次いで「宗像市内の運動・スポーツのイベント情報」「各種運動・スポーツ教室の案内」の順でした。また、「宗像市外の運動・スポーツのイベント情報」の項目のみ回答者の割合が10%を下回っており、その他の項目については、概ね20～30%でした。



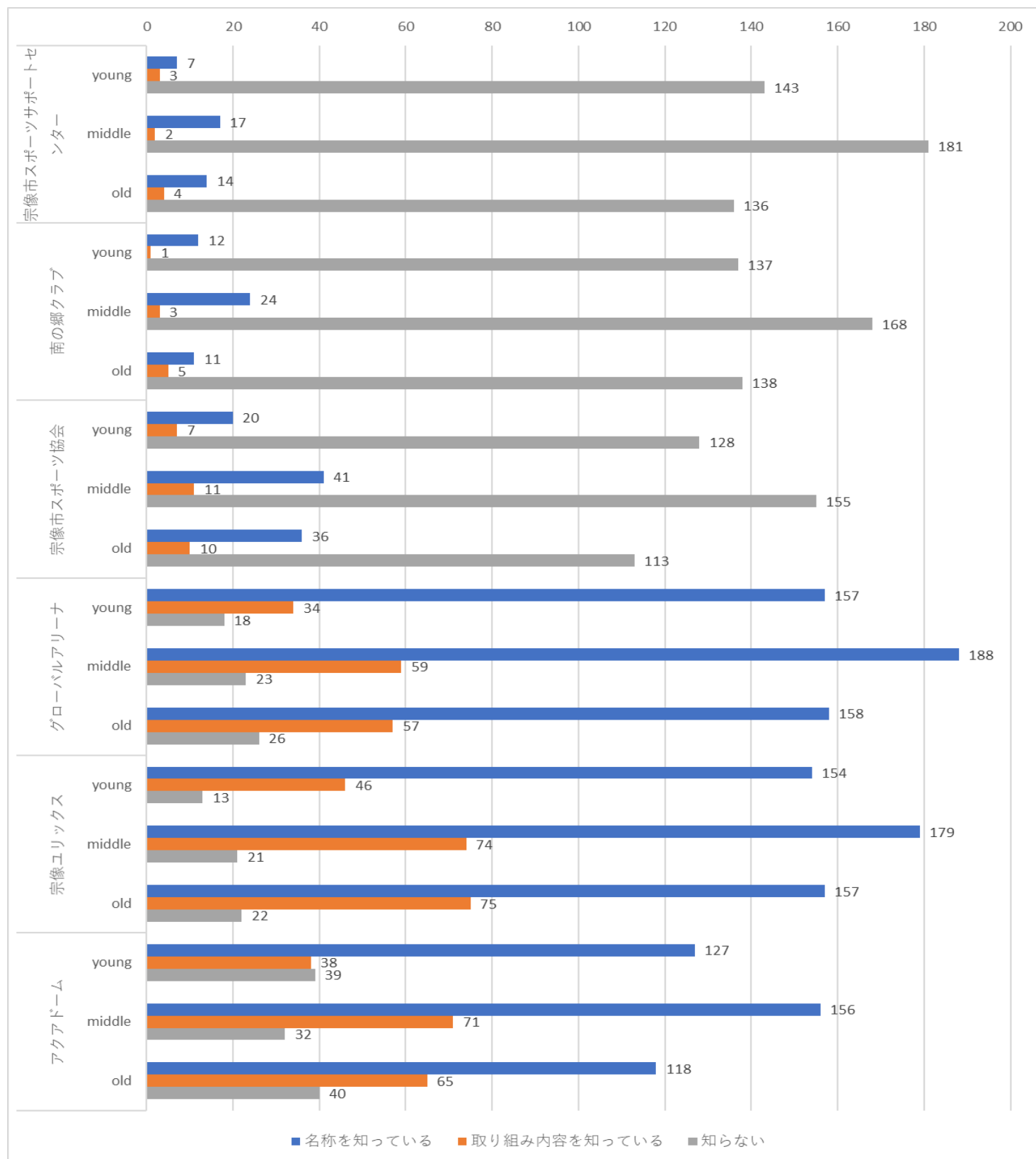
問21 あなたは宗像市内の運動・スポーツ情報をどのような方法で手に入れていますか。次の中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

▼「宗像市の広報紙」が最も多く、回答者の約50%から選択された項目でした。次いで「特にない」「チラシ・ポスター」の順でした。LINE や Instagram 等の SNS の項目については、いずれも 15%以下でした。



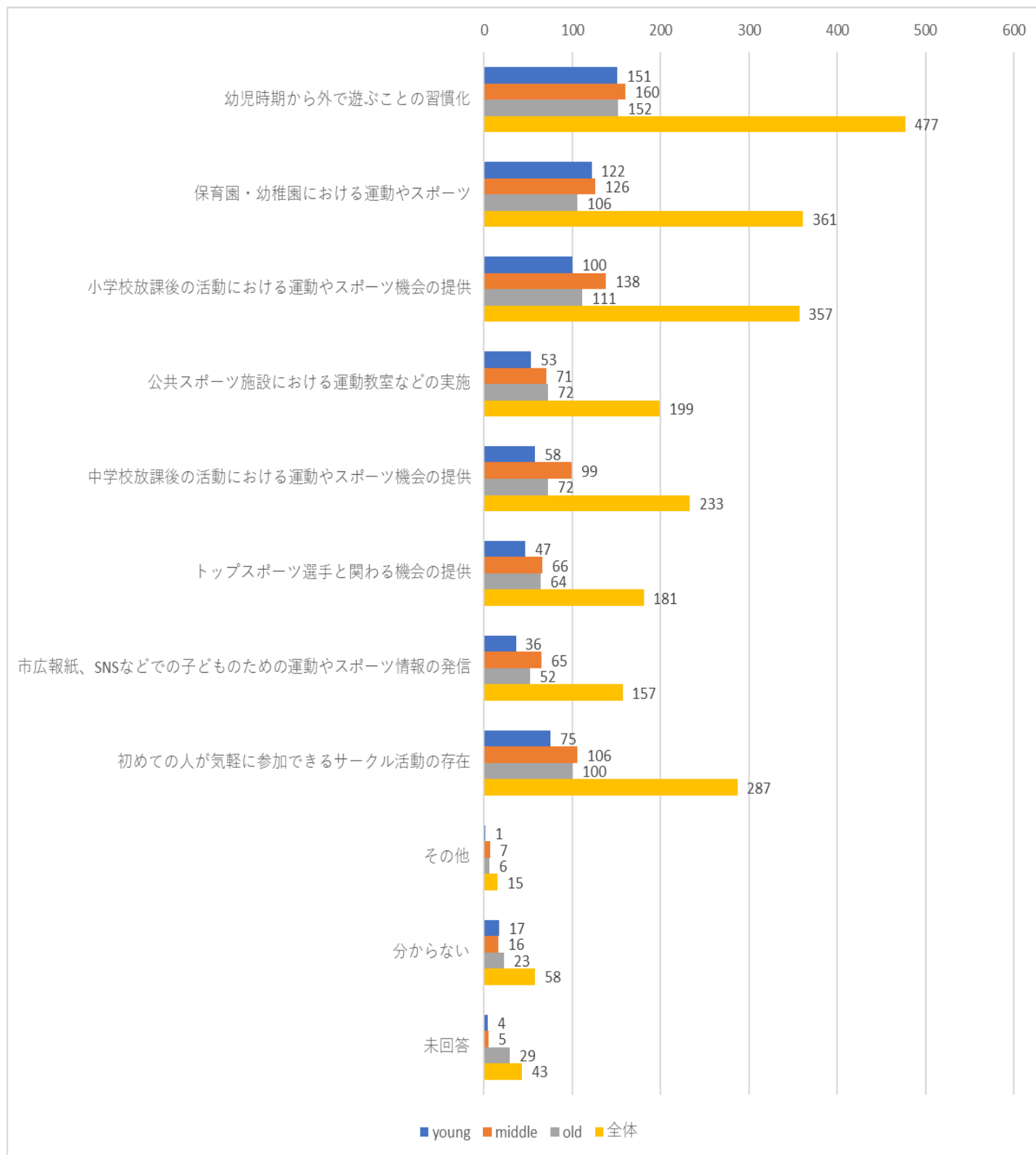
問22 あなたは以下の宗像市内の組織や団体の名称、取り組み内容を知っていますか。該当する箇所に✓してください。

▼「名称を知っている」または「取り組み内容を知っている」と回答した割合が最も高かった項目は「宗像ユリックス」で89.5%でした。次いで「グローバルアリーナ」85.2%、「アクアドーム」74.9%の順でした。「宗像市スポーツサポートセンター」「南の郷クラブ」「宗像市スポーツ協会」については、いずれも20%を下回る結果でした。



問23 あなたが、子どもが運動やスポーツを始めるきっかけづくりのために重要だと思うものは何ですか。次の中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

▼「幼児時期から外で遊ぶことの習慣化」が最も多く、回答者の60%以上が選択した項目であった。次いで「保育園・幼稚園における運動やスポーツ」「学校放課後の活動における運動やスポーツ機会の提供」の順であった。



問24 あなたは、スポーツクラブや地域のサークルなど、3人以上で構成される団体に参加して運動やスポーツを行う、または、指導をしていますか。スポーツクラブなどに加入していない方はどのような環境を整えばスポーツクラブなどで活動したいと思えるかご回答ください。

▼「活動している」と回答した割合は13.1%でした。世代別にみると、Young 世代が6.9%、Middle 世代が13.4%、Old 世代が16.2%と年代の高い方が低い方に比べて加入率が高い傾向にありました。

	全体	Young	Middle	Old
活動している	103	15	36	45
活動していない	583	188	217	171
未回答	99	13	15	63

「活動していない」と回答した「Young」

【どのような環境を整えば活動したいと思えるか】

- ・お誘いがあれば
- ・情報が入ってこれば
- ・活動内容、場所が分かれば ・実施場所の案内があれば ・内容、場所が分かり時間が合えば
- ・内容の詳細が書かれている
- ・人員、年齢構成、活動レベルの情報 ・実施頻度が分かれば
- ・託児サービスがあれば ・小さい子どもと一緒にでも可能であれば
- ・時間があれば ・時間に余裕ができれば ・フルタイムの人間でもできる環境があれば
- ・生活環境が合えば ・時間が合わない、勤務後に参加できるものがない
- ・費用が安すければ ・費用がかからなければ
- ・自分に合いそうと感じれば ・時間、料金、内容が自分の都合にあっていて、良好な関係を築ける人がいれば
- ・きっちりしていない、いけるとときに行くくらいだと入りやすい ・タイミングがあれば
- ・仕事と育児の合間でできるなら ・所属はしていたが、参加できなくなった。子育てがひと段落したら。
- ・運動が苦手な人でも入りやすい ・初心者でもできる、しんどくない、丁寧にしてくれる
- ・入りやすい環境があれば ・初心者が多ければ ・気軽さ手軽さがあれば
- ・行きたいとおもったときだけに気軽に行けるような団体があれば
- ・小さい子どもがいて決まった曜日、日時に集まるのはハードルが高い。人数が多く自由参加なもの(自分が欠席しても支障ないもの)や、料金が都度払いやチケット制のものがあれば参加しやすい
- ・仕事していてもできるように、約束などが不必要な気軽なもの
- ・家から近ければ ・家の近いところで子連れOKなら ・利用しやすい場所に施設があれば
- ・家の近くで、年齢関係なく、初心者でも楽しく活動ができればいいと思います
- ・仕事や家事の合間で手軽な料金でふらっと立ち寄れる環境があれば通いたい
- ・友人がいれば、スポーツ選手と関われる機会があれば ・一緒に加入してくれる知人・友人がいたら
- ・仲の良い友達がいれば ・知人が同じ事に興味を持ち、活動できる時間帯が同じになれば。
- ・人間関係が良ければ ・友達に誘われれば ・同年代の人が参加していれば
- ・運動が特に好きでない ・やる気があれば
- ・野球ができる環境(道具がなくても)
- ・子育てに余裕ができ家庭環境を整えば

- ・利益があれば
- ・気軽に予約ができる場所　・暖かい雰囲気　・初めてでも通いやすい環境や雰囲気
- ・友人と運動しようとして、簡単に予約できる体育館があれば
- ・好きなスポーツがあれば

「活動していない」と回答した「Middle」

【どのような環境が整えば活動したいと思えるか】

- ・費用が安くなれば　・お金がかからなければ
- ・無料体験があれば
- ・出席が毎回自由であれば　・参加してもしなくても他の方に迷惑がかからなければ　・予約が取りやすい環境
- ・グループの雰囲気を知りたい。写真やイメージでも良いと思う。
- ・興味が持てる内容であれば　・自分に合ったスポーツがあるか
- ・気が合い、レベルがある程度合う仲間。指導経験が豊富な方がいる
- ・高齢者、初心者可のものがあれば　・初心者～3回目を対象にした活動なら、気が楽に参加できる
- ・勧誘があれば　・知り合いがいれば　・気が合う仲間に出会えたら　・仲の良い友人と時間が合えば
- ・参加しやすい環境、新しく加入した人を受け入れてくれるなど　・同じ世代の交流
- ・強制ではなく気軽に集える仲間が集まりさえすれば、どんな運動内容でも企画はできると思う。そのときに相談できる窓口が示されていれば、より始めやすい。
- ・場所が近いところであれば
- ・行きたいときにだけ行ける所があれば。時間帯が合えば
- ・自分の時間があれば　・時間と興味があれば　・実施時間が合えば　・家事や育児が軽減されたら
- ・仕事が休みて安価で近場で子供もさんかできるのであれば
- ・興味のあるものがない　・情報が入り興味を持てば活動するつもり
- ・情報があれば　・内容が自分に合えば　・実施場所が分かれば
- ・移動手段がない
- ・気持ちのければ

「活動していない」と回答した「Old」

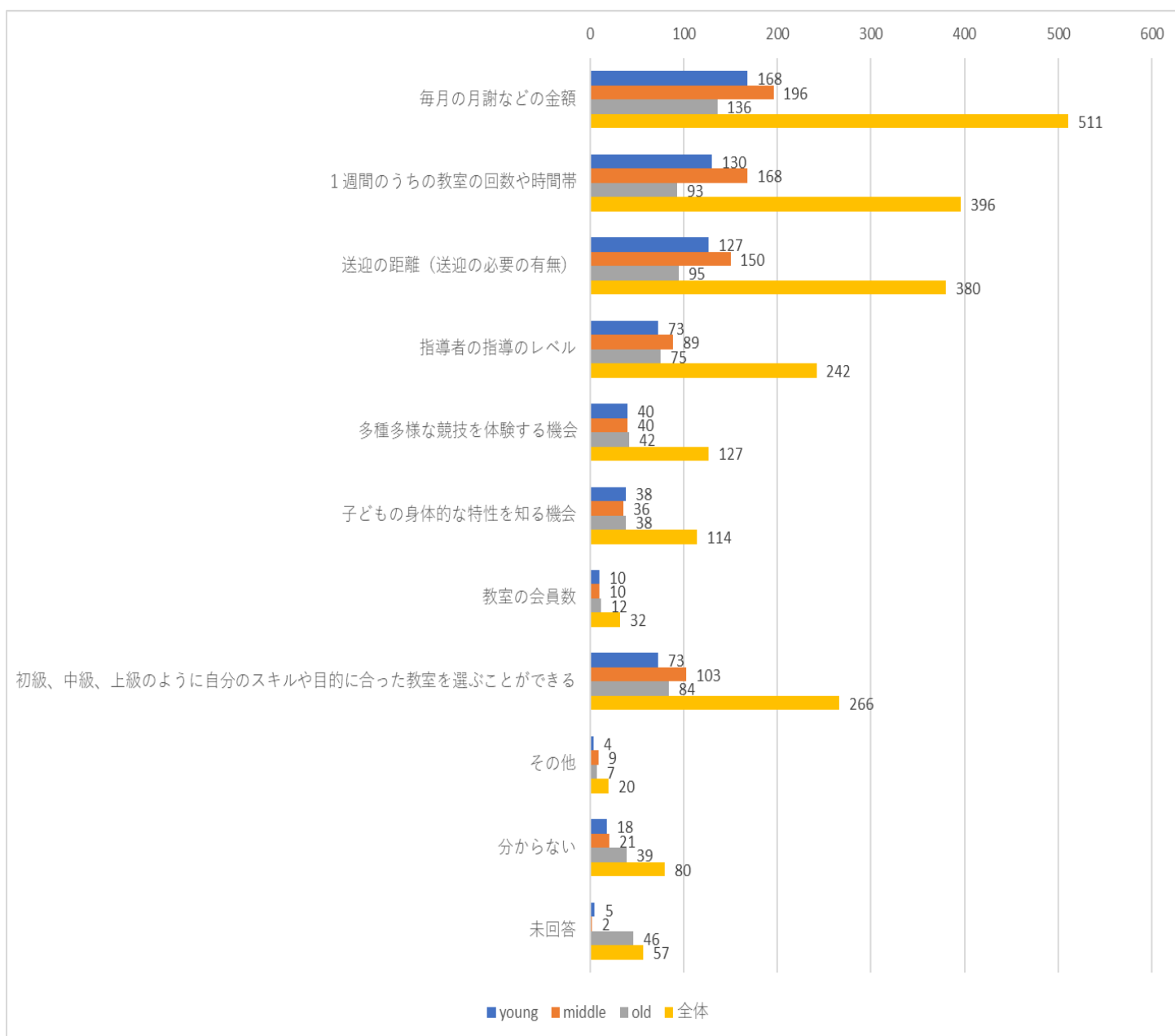
【どのような環境が整えば活動したいと思えるか】

- ・勧誘があれば　・身近な場所での勧誘があれば　・身近に施設があれば
- ・時間と内容が自分に合えば　・活動内容の詳細がわかれば
- ・自分の体力に合ったマイペースで行えるソフトなスポーツであれば　・自分に合う活動があれば
- ・経験がない人でも参加できれば。初心者でも安心して参加できれば　・気楽に参加できること
- ・実施場所がわかれば　・活動内容や実施場所がわかれば
- ・興味のある活動内容であれば　・スポーツクラブとの交流会で活動主旨等を知る機会の創出
- ・どこで何をやっているという情報が欲しい　・加入できるクラブの存在がわかれば
- ・知っている人がいれば　・自分にとって興味ある種目、よりよい人間関係
- ・共通の趣味嗜好を有する人が集う。
- ・指導者がいれば
- ・予約の簡素化、駐車場
- ・以前は指導していた。年のため難しい　・年齢的に難しい

- ・モチベーションと体力があれば時間を確保してでも楽しみたい
- ・偉そうな管理者や無愛想な係員が多いので難しい
- ・足が悪いから ・体調が良くなれば
- ・登山グループ解散のため

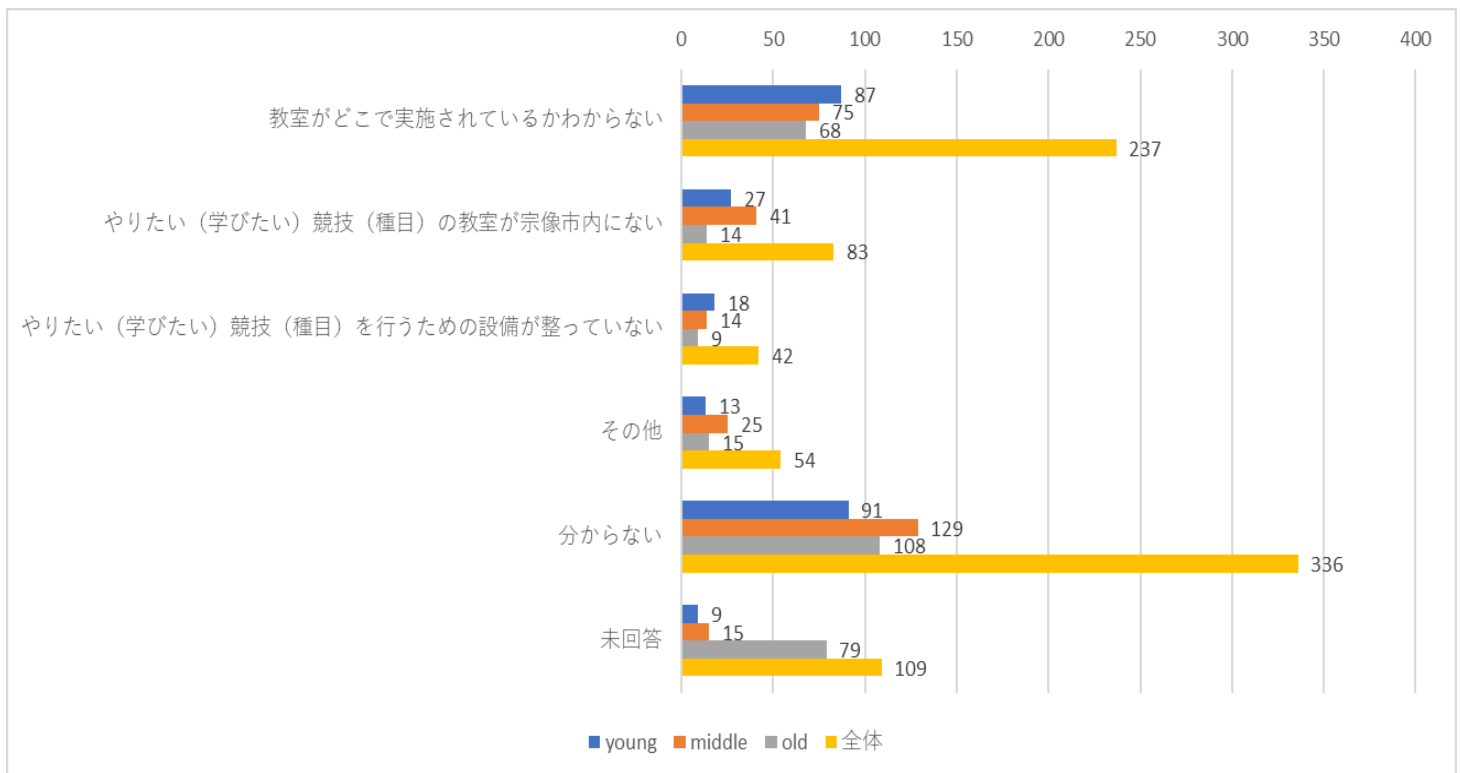
問25 あなた自身や子どもたちが習い事をはじめると、重視されることは何ですか。次の中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

▼「毎月の月謝などの金額」が最も多く、回答者の約65%が選択した項目でした。次いで「1週間のうちの教室の回数や時間帯」「送迎の距離（送迎の必要性の有無）」の順でした。



問26 あなた自身や子どもたちが習い事をはじめめるうえで、困っていることは何ですか。次の中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

▼「分からない」が最も多く、次いで「教室がどこで実施されているかわからない」「やりたい(学びたい)競技(種目)の教室が宗像市内にない」の順でした。



【その他】

- ・月謝など金額を考えます ・金額が高い。
- ・自身の体力に不安がある為踏み込めない
- ・行ける時と、時間、曜日が合わない ・夜や週末の教室が少ない
- ・今は時間がない ・時間とお金 ・月謝とスケジュールの都合が合わない
- ・時間がない、お金がない、子供の預け先がない ・時間が選べない
- ・駐車場がない
- ・移動手段がない ・自宅付近で手軽なスポーツ教室がない(車を運転できないので)
- ・ダンスを娘に習わせたいが、どんな所があるのかネットで調べるしかない。何か情報が欲しいです。
- ・仕事と送迎の両立 ・子どものやりたいことがあっても送迎ができない
- ・初心者として気軽に始めてみたいと思っても入ってみたらとてもハードであったり休むことを言いにくかったりするところが多いと思う。うまくなる、試合に勝つだけが目的ではない。気軽に楽しんでもみましょうというクラブに出会いたかった。
- ・もっと気軽に参加できる
- ・知らない人ばかりだと入りにくい
- ・適切な指導ができる指導者がいるかどうか
- ・情報がない ・やりたい種目の教室が市内で行われているか情報がわからない
- ・やりたいスポーツが分からない。膝が悪いので、体幹をきたえたい。
- ・精神・身体両方に障害があるのでいろいろな事でハンデキャップになる

問27 あなたはどの程度スポーツ観戦（高校生以上の大会）をされていますか。次の中からあてはまる番号1つに○印をつけてください。

▼「最近1年間で1回以上、会場に直接行って観戦している」と回答した割合は、18.1%、「興味がなく、最近1年間は観戦していない」と回答した割合は、23.5%でした。また、「最近1年間で会場には行っていないが、テレビ放送や配信などで観戦している」と回答した割合が最も高くありましたが、特にOld世代においては、その割合が49.0%を占めています。

	全体	Young	Middle	Old
最近1年間で1回以上、会場に直接行って観戦している	142	44	68	29
最近1年間で会場には行っていないが、テレビ放送や配信などで観戦している	302	66	88	136
興味はあるが、最近1年間は観戦していない	93	30	30	31
興味がなく、最近1年間は観戦していない	184	65	76	39
未回答	63	11	6	43

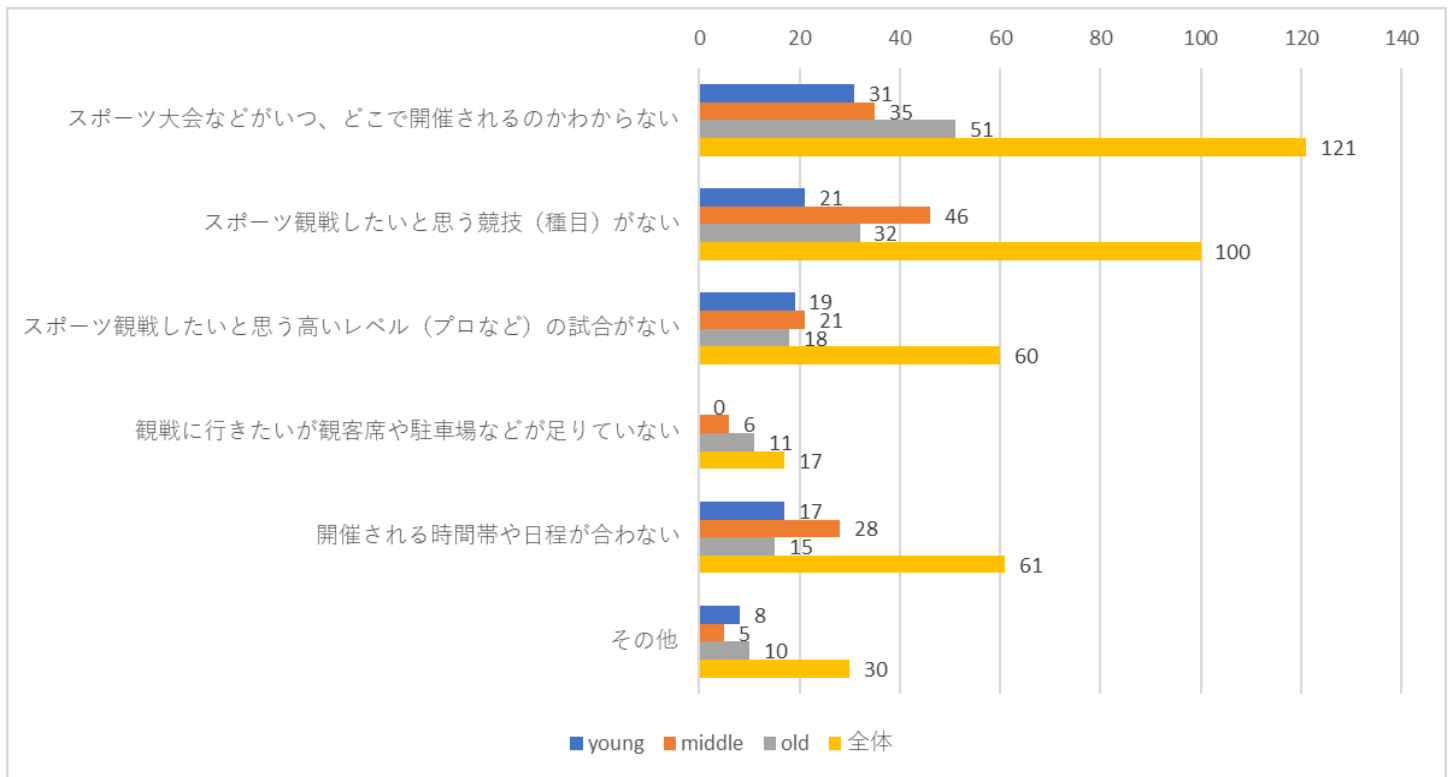
問28 問27 で「1. 最近1年間で1回以上、会場に直接行って観戦している」と答えた方にお聞きます。宗像市内でスポーツ観戦されたことはありますか。次の中からあてはまる番号1つに○印をつけてください。

▼宗像市内の会場で直接スポーツ観戦をしたことがある割合は、6.0%でした。

	全体	Young	Middle	Old
観戦したことある	47	12	18	16
観戦したことない	163	41	65	49

問29 問28 で「2. 観戦したことがない」と答えた方にお聞きます。宗像市内でスポーツ観戦をしない理由は何ですか。次の中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

▼「スポーツ大会などがいつ、どこで開催されるのかわからない」が最も多く、次いで「スポーツ観戦したいと思う競技（種目）がない」「開催される時間帯や日程が合わない」の順でした。

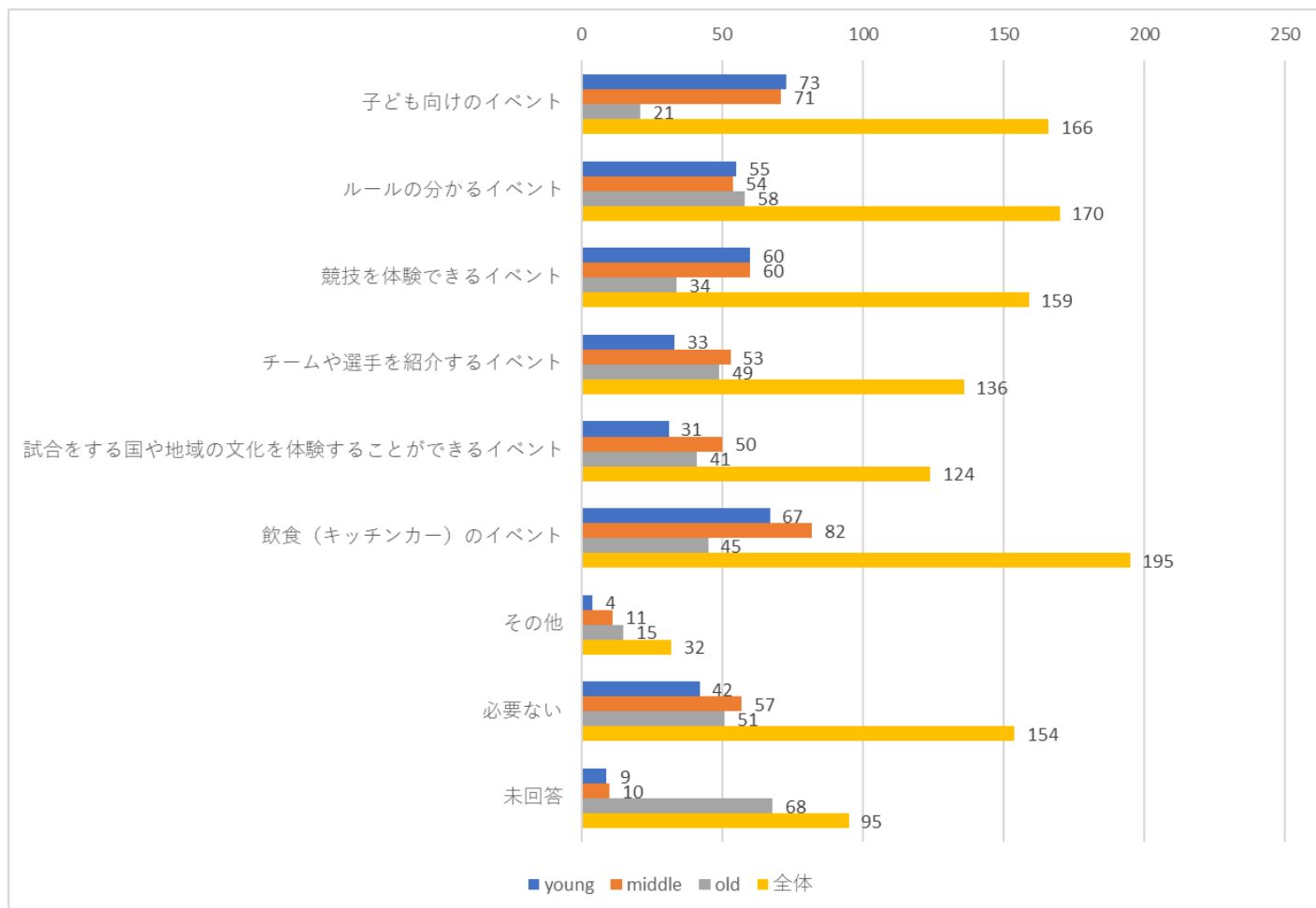


【その他】

- ・スポーツに興味がない
- ・興味がないので情報を見ないから
- ・行くまでのことはない
- ・テレビ観戦をより好んでいるため
- ・女子マラソンはテレビ中継なのでテレビで観戦する
- ・テレビで野球やバスケットボール、ラグビーを見ている
- ・車がない
- ・交通機関がない
- ・小さな子供がいると難しい
- ・家族の世話
- ・保護者達の車が多い中、混雑したところに行きたくない

問30 あなたは、トップレベルのアスリート（高校生以上）の大会やイベントの会場でどのような取り組みがあると来場したいと思いますか。次の中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

▼「飲食（キッチンカー）のイベント」が最も多く、次いで「ルールの分かるイベント」「子ども向けのイベント」の順でした。しかし、「子ども向けのイベント」については、選択した者のうち87.3%は Young と Middle 世代が占めており、世代によつての違いが見られました。



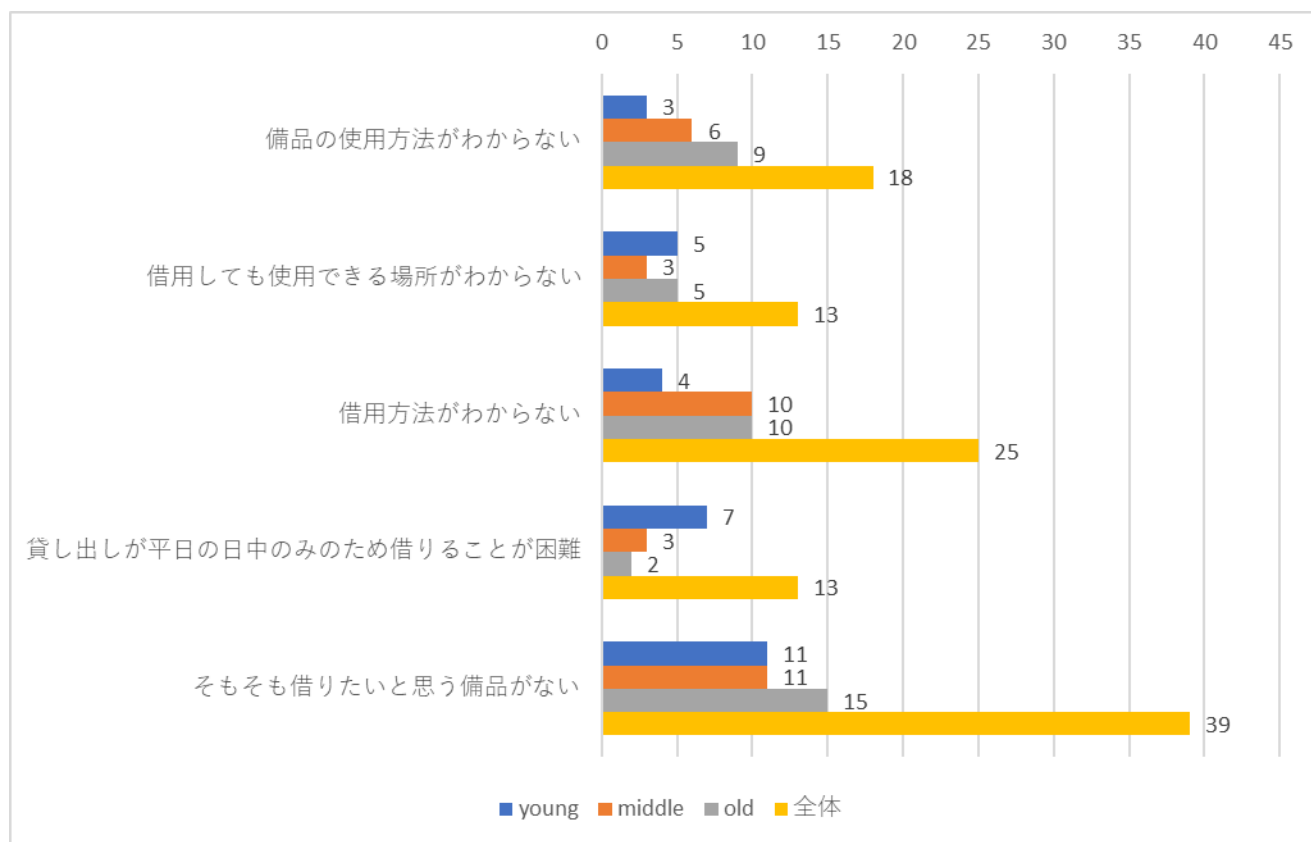
問31 あなたは、宗像市で運動やスポーツの備品（ニュースポーツ）の無料の貸し出しサービスがあることを知っていますか。また、利用したことがありますか。次の中からあてはまる番号1つに○印をつけてください。
※ニュースポーツ：グラウンド・ゴルフやペタンク、わなげ、ボッチャ、モルックなど、年齢や体力にかかわらず誰もが楽しめる近年考案された新しいスポーツ

▼「貸し出しサービスのことを知っていて利用したことがある」または「貸し出しサービスのことを知ってはいるが利用したことはない」と回答した割合は、12.8%でした。

	全体	Young	Middle	Old
知っていて利用したことがある	35	2	18	13
知っているが利用したことはない	65	17	17	31
知らない	631	188	228	199
未回答	53	9	5	35

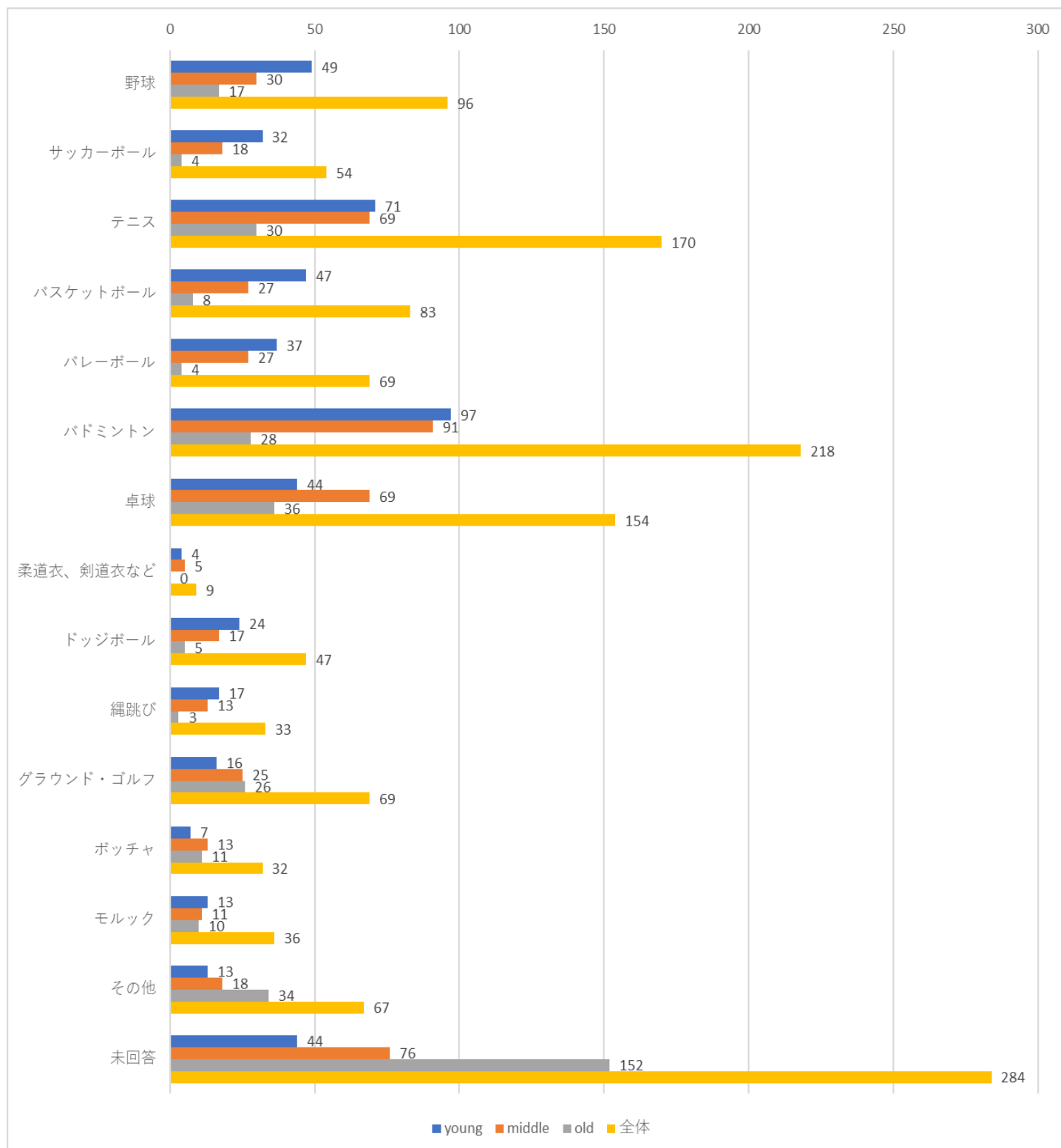
問32 問31で「2. 貸し出しサービスのことを知ってはいるが利用したことはない」とお答えの方にお聞きします。利用したことがない理由は何ですか。次の中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

▼「そもそも借りたいと思う備品がない」が最も多く、次いで「借用方法が分からない」「備品の使用方法がわからない」の順でした。



問33 宗像中央公園内には、宗像市民体育館（アリーナ、武道場、卓球場、多目的室）、野球場、テニスコート、屋根付き多目的グラウンドがあります。どのようなスポーツ備品の貸出サービスがあれば利用したいと思いますか。次の中からあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

▼「バドミントン（ラケット、シャトル）」が最も多く、回答者の約30%が選択した項目でした。次いで「テニス（ラケット、ボール）」が21.7%、「卓球（ラケット、ピン球）」が19.6%でした。



問34 最後に、運動やスポーツの取り組みについてご意見などがありましたら自由にお書きください。

- ・スポーツをすることで健康でいたい(健康寿命の期間が長くなるように)
- ・小さい子の子育てで手一杯。元々は運動は好きなので…チャンスがないだけです。いつかまた何かスポーツやってみたいです。
- ・70 歳を越えるとスポーツも限られてくる。走るスポーツは年々少なくなってきました。体は鍛えていますが、やはり歩く程度～ジョギングが主になります。これから水泳をやりたいと思ってます。
- ・運動やスポーツ、クラブチームに所属すると、子どもの場合、必ず親の助けが必要になります。ある程度の助けは許容範囲ですが、毎週土日、平日も頻繁に、となると入りたくても親の都合で入ることが難しいことがあります。子どものやりたいことはできる限り協力したいですが、限界がある為、親の負担が少しでも減るようなクラブチームの体制ができると入会の幅が広がるのではないかと思います。
- ・小中学生のスポーツする機会が減りつつある日々に、スポーツをする楽しさをもっと広げてほしい。スポーツすることで社会に出て役に立つことが多くありました。スポーツする事で大切な事を学んでほしい。
- ・中学校のテニスコート等部活動をやっていない日があれば貸し出しをぜひしてほしい。金額かかってもよいのでぜひ。
- ・自家用車があるという下での質問で、高齢者のスポーツは対象にはなっていないようですね。がっかりです。高齢者は、自分に合った所を少々金額か張っても自分のお金でどうぞということでしょう。
- ・駅の近くにスポーツセンター的なものを建設してもらいたい。
- ・習い事に通わせてもらえる子がスポーツをし、そうでない子は家の中でゲームという二極化が著しいように身の回りでは感じる。公園ではボールで遊べない、自転車をその辺で乗ることも出来ない、親の共働きで見守りがなく外出ができない、学校で部活動が強制でないので取り組むきっかけがない等々、スポーツに接する、身体を動かす環境が失われてはいないか。宗像のスポーツ人口はどの程度のものなののでしょうか。有名コーチを誘致してクラブ活動を活発化させる等の今時なやり方がやはり良いのでしょうか。
- ・自分の好きなタイミングで行きたい。
- ・友人などは時間が合わないので一人で気軽に参加したい
- ・宗像市にプロスポーツのクラブなどを誘致してほしい。
- ・運動もダイエットもしたくない人のためのスポーツの取り組みがあったら良いかも。皆が皆運動している人、取り組んでいる人とは限りません。
- ・今ある施設を十分に利用してください。もう宗像の自然を壊すようなことばかり企画しないでください。施設も作りすぎ、ソーラーパネルもひどすぎです。本当にいい加減にして下さい！
- ・高齢者のスポーツマンが多いと思いますが交通の便が悪く(女性が特に多い)参加募集するときは交通、足の方法を説明に入れる。
- ・宗像の東側にスポーツ施設が少ない。城山中学の近くに設けてほしい。
- ・大会の開催の PR が少ない。
- ・いろんなスポーツを知れるイベントがあれば良い。まず知らないスポーツを知って興味を持つことからではないかと思う。
- ・シニア向けの軽スポーツ、音楽に合わせての体操、ダンス等あればいい。
- ・70 代に入り動きの激しいスポーツは難しい。ウォーキングサークルや軽い登山などだと参加するのも楽しいかなと思う。
- ・娘が 5 歳で幼稚園に通っています。色々なスポーツの存在自体を知ってほしいと思います。私と夫はホークス好きなので野球観戦は年に5回程行きます。ほかにも沢山スポーツがあるので知ることだけでも何か機会があればと思います。陸上など TV があれば観るようにはしています。

- ・子供はどのような競技・スポーツがあるか知らないため、多くの競技・スポーツと触れ合う（知る機会を作る）ことができればありがたい。その上で、他の習い事や生活との兼ね合いから安価（できるなら無償）であれば非常に助かる。
- ・運動やスポーツにあまり関心や興味が無いので市からの情報などスルーしていることが多く申し訳ありません。
- ・毎日元気で忙しく、自己流ストレッチや散歩などで決まって時間が取れずにいますので回答に答えられず申し訳ありません。
- ・ユリックスやいせきんぐなどに無料で遊べるアスレチック（滑り台やジャングルジムのものではない）を造ったら良いと思う。子どもの想像力を高めるような知的アスレチックを造ったら良いと思います。
- ・街灯がほとんどないため、整備してほしい（吉武地区）
- ・宗像市＝スポーツ・運動に「力を入れている」「強みである」というイメージを持っていないので、市に対して要望を抱くことが常々ありませんでした。これから市（行政）がどんな目的、目標をもって推進すべきかの材料となるアンケートでしようが、従来からの取り組み内容をほとんど知らないのでは解答し難い設問もあったと感じました。
- ・70歳以上の高齢者のため今の体力を維持すること、気楽で無理のない運動程度、ややこしいことや新しいことは入りづらい。
- ・宗像市民体育館の施設が小さく、アリーナがもっと大きく観覧席もある施設がほしい
- ・数年前に宗像市へ転入してきましたが、住宅街なども含めてウォーキングできるコースが沢山あって毎日違ったコースに行っていて楽しんでいます。ウォーキングなどの歩数でポイントを貯めてお店や施設で利用できる等のシステムが宗像市にもあるといいですね。宗像市はマリンスポーツには力を入れているのですか？海があるのにもったいないなと思いました。犬と楽しめるドッグランや遊具？競技用施設などもあるといいなと思います。飲食も併設してほしいです。
- ・情報の発信が足りないと感じます。（施設情報、どこで何ができるかわかりません）子どものイベント等は学校より手紙で案内され、知ることができそうですが、大人向け、高齢者向けのイベントは市のホームページを見ないとわかりません。（タウンプレスに掲載されているかもしれませんが見逃してしまっています。以前のように月2発行だと周知が徹底されてよかったのになってしまいます。テレビもあまり見ないので地域情報に疎いです。）誰でも気軽に施設を利用できるようにしてほしいです。（タダでとは言いません）
- ・ふれあいの森が歩きやすくなったらうれしいです。走りやすいところもほしいです。今はでこぼこの険しい道なので。
- ・子供たち（小中学生）がもっと気軽に日常を楽しめる程度のスポーツサークルのようなものがあると良いと思う。今はクラブに入ると試合を目的とし勝つためのチームを作っていくチームが多いため、気兼ねな気持ちで入っても負担を感じる方が多くなってしまうのが残念です。野球やサッカー、バレーボールなど休日に試合や大会のないただみんなでスポーツを楽しむところがあると良いと思います。ヨガやピラティスも健康づくりにはとても良いので子供も参加できる場所があると良いなと思います。
- ・宗像市は自然に囲まれスポーツ施設、多目的の公園も多く、恵まれていると思います。管理も大変と思いますが、市民のために頑張ってください。
- ・年齢的にスポーツには縁が遠くなりました。
- ・興味のあるスポーツがあったら、取り組める場所や教室、クラブなど調べてみるのが大切ですね。わからないまま流れてしまうので、体験できる場が大切だと思いました。
- ・運動は個々の好き嫌いがある。だが目的があれば取り組める。体力が低下してきているので、運動をすることでどれだけ体力が良かったなど体力テスト（運動能力テスト）などを行い、数値として見えてくれれば継続しやすい。
- ・高齢者が健康で生き生きと暮らせるようなサークルを作してほしいです。お願いします。運動不足、物忘れ予防

教室など。

- ・宗像でどの山に登れるか、登山パンフレットがあると便利だと思う。
- ・御市がスポーツ推進に力を入れておられることに敬意を表します。私は高齢者ゆえ自分の体力、体調を見ながら、御市の施設を利用させていただくことがあれば、その時は、お願いしようと考えております。
- ・仕事や家事で忙しいため、運動を楽しんだり、必要性を感じてはいるものの自分だけのためにコンスタントに時間を費やすことに気が引けて、ジムや教室を続けられない。親子（小学生くらい）で一緒にできるような教室があれば参加したい。ドッチボールとか縄跳びなど。
- ・とにかく市民体育館の大体育館、小体育館に冷房を付けてください。事故が起こってからでは遅いです。今は冷房がない体育館はほとんどないですよ。スポーツを推進するのであれば、至急するべきです。
- ・このようなアンケートよりも生活に密着した設備を増やしてほしい。生活するのに不便です。
- ・小さな子からスポーツを気軽にできる公園施設があると興味を持つきっかけにも練習にもなり、宗像市全体で上手になる気がします。特に小中学生が個人練習できる場所が少なく、自宅でやるとご近所さんからクレームもあり、昔みたいに練習ができないので、自然とスポーツ離れに繋がりますので、できる場所を増やしてあげてほしいです。どうぞよろしくお願いいたします。
- ・運動・スポーツのアンケートは初めてでした。自分が今いかにスポーツなどしていないか自覚しガックリしました。軽いウォーキングを始めようかなとふと思いました。
- ・老人が多いので需要が低いと思われる。道がきれいなので走りやすい。
- ・土穴周辺に筋トレできるような設備がなく、せめてどこかの公園に懸垂ができる鉄棒があればすごくうれしいので、どこかの公園につくってほしいです。どうかお願いします。また、子供に武道の心得を教えたいのですが、武道教室等が行われている情報を発信してほしいです。
- ・今後も運動する予定はありません
- ・コロナ感染にリスクがあるのでウォーキングくらいしかできません。
- ・入会した協議サークルに人が集えば集うほどそこに必ず軋轢が生じる（妬みやつかみからくる悪口やうわさ話）。楽しむ以前に嫌気がさします。指導者の方もおかれている立場から動きも取れない。特に子供がかかかわると強くその傾向が表れる。強い心と信念がないと続かない。
- ・市の施設ではありませんが、グローバルアリーナに以前ラグビーやサッカーの試合を見に行ったことがあります。本格的な施設でとても面白かったです。ユリックスで大昔ユニバシアード大会のバレーボールの試合を見ました。市の施設で誘致できるスポーツの試合が開かれれば見たいと思います。プリンセス駅伝は毎年テレビで応援しています。高齢者なので激しいスポーツはできませんが、体力づくり健康増進ができるようなスポーツ施設があればいいと思います。高齢者が増加している今、必要なのではないのでしょうか。
- ・広報でも十分に知ることができる案内情報がほしい。
- ・宗像市は公園が大小沢山あり、子どもを連れてのびのび身体を親子で動かすことができとてもありがたいです。ユリックスは施設も充実しているし、イベントも沢山あって近くに住んでいるので嬉しいです。高齢者の方向けの教室が沢山あって、高齢の方でも元気に楽しそうに運動されているのをよく見かけます。よく娘たちにも話しかけて下さります。パワーをもらいます！
- ・今回このアンケートで、宗像市がスポーツに関して取り組みを行っていることを初めて知りました。いろんなポスターやチラシは子供向けだし回覧板でくるのは年配者向けだし、その間の私たち世代向けの情報を発信してくれるといいなと思います。もしあるとしたら、それはどこで？ユリックス等の施設に行けばあるというのであればわざわざ行かない。
- ・トレーニングジムで活用しているようなスポーツ器具を設置している無料施設があると良いと思う。
- ・市民を中心としたスポーツ競技会（マラソン、体育祭、ゴルフコンペ等）の開催を希望します。

- ・中央公園の野球やテニスの練習をよくみかける（散歩中に）。楽しそうではほえましい。
- ・許斐山、家族でも登りやすい山と思うのですが、友達と頂上から降りるとき、少しでも目印があったほうが下りやすい。（脑梗塞で）
- ・まだ子どもが小さいので利用できていない状況ですが、子どもが大きくなったら一緒に遊んだり利用していきたいと思います。その時に、利用しやすい施設だったり、もっと近くに公園等があればいいなと思います。その際、バスケットボールが出来る環境だとありがたいです。
- ・子どもがドッチボールに興味があるけど、教室や体験などの情報がほしい。チラシ、広告、Facebook、インスタ色々見えます。
- ・もっと気楽に参加できる取り組みがあればうれしいです。取り組みを知る方法が多いとありがたいです。
- ・高齢者が体力をつけられるような簡単にできるスポーツか、ストレッチ、体操などを楽しむ取り組みを考えていただいたら良いなと思います。
- ・地域のスポーツ試合、大会など。老後の体力づくりの為に施設、費用の充実など。
- ・引っ越して4年目くらいになるので、まだスポーツについては考えておりません。
- ・いつでも、どこでも、だれにでも言葉に合わせてスポーツ人口を増やしてほしい。
- ・子どものサッカークラブや野球クラブの話は身近に聞くことが多いのですが、陸上クラブなどの話はあまり聞かないので、その様なクラブがあるのかなど、子どもが利用できる市内のクラブ表などがあれば、やってみたいスポーツに参加し絵見ようかと思う子どもも大人もいるのではないのでしょうか。
- ・初めてニュースポーツ（なげなわ、ボッチャ）があることが分かりました。どこで、いつされているかわかりませんが、余り体が動かないけど、チョットだけ興味がわいてきましたので、どこでされているか分かれば見学に行きたいなと思いました。
- ・運動やスポーツに関心があれば、良い回答ができたかもしれませんが、残念ながら自分に関心がないので、すみません、
- ・高齢の為、体力的にもあまり積極的にできない。
- ・スポーツ教室等の開催時間に合わせた公共交通機関があれば参加しやすい
- ・サイクリング道路の整備。ウォーキング・ジョギング道路の整備
- ・参加したくなるような試合（大会）を企画し、多くの人が参加できるようにしてほしい。目標があれば、練習の意欲が沸くし、継続すると思う。ただ、試合のシーズンは練習用の予約が取りにくくなるため、やはり、雨天順延なおで複数日押さえられることがないようにしなければダメだと思います。
- ・マリンスポーツもやってほしい。
- ・もう高齢者につき、このアンケートは興味がわかなかった。このことを伝えたいと思った。年寄りこんなもんだぜ。
- ・屋根付きの施設が欲しい。スケートボードパーク。
- ・スポーツをしていない（特に高齢者）人へのアンケートを実施するのもおもしろいデータが取れる気がします。私は若いころは特にスポーツはしていませんが、年重がフエルトカラダを動かすようになりましたので、皆さん色々な考えが見れると思います。
- ・ウォーキングしたくなるような街、歩道が宗像にはあまりないような
- ・宗像市はスポーツ施設へのアクセスが非常に悪いと思います。市民体育館、メイトム、アリーナなどへは、教室開催に合わせて、無料バス等があれば良いなと思います。
- ・街づくりの根本を作り直してほしい。スポーツの定義が多様化しているので、ただ歩くだけでも運動だと思う。
- ・スポーツは一人ではできない。健康づくりのためのレクリエーションは、何かイベントがあれば参加してみたいと思う。

- ・一流の指導者を多く入れてほしい。小児（４才～６才）の取り組みを。
- ・高齢者向けのやさしいスポーツの教室があればと思っています。
- ・健康の為に（車いすに乗りたくない）体操教室を広めてください。
- ・市内にジムが増えたりと、手軽に運動ができそうになってきましたが、平日フルタイム勤務の主婦には、時間的に通うことが難しいです。（夜は閉まっている。土日はやっていない。または託児なくて行けない。平日休みをとれたとしても、高齢者や専業主婦の方等が占領していたり、グループを作っていたりと、とても通いやすい雰囲気ではないのが現実です。頑張って夜に時間を作ってもインストラクターがいない、料金が高いなどデメリットばかりです。もう少し公平性があればいいな。
- ＊アクアドームでロッカー利用しようとした時も、フリーなはずなのに後で来るご婦人がそこを使うから他の人は使わないのが暗黙のルールになってたりなど、だれでも使っていいはずなんですけどね。
- ・５年前から膝が悪くなりスポーツはできないですが、体幹を鍛えるピラティスなどがあるといいなと思います。（ネットを使って体操などをしています）
- ・区の運動会が取りやめになって全く運動することができなくなった。参加が少ないので取りやめになったのではあるが、機会を失ってしまったと思う。歩くことスマホの動画を見てトレーニングをちょっとだけすることがあるので、市のホームページで配信されるといいかと思います。
- ・地域対抗でスポーツのイベントがあればいい。①宗像一周（１００km、５０km）ウォーキングの開催②四塚縦走大会の開催①②をクリアできたら表彰式（市役所で）①②プラス自転車競技追加しても
- ・子どもが大きくなったら考える
- ・今回のアンケートは、私みたいな高齢者（８１才）向きでないのでは出するのは止めようと思いましたが、空欄がありましたので愚痴を聴いていただこうと思いました。現在、アクアドームにはほぼ毎日、プールでは泳ぎ、水中ウォーク等、又はイベントの参加、ジムと楽しんでいます。又、週１日以上は宗像シティボールでボーリングも楽しんでいます。なのですが、車が乗れなくなるとどこにも行けなくなると思うと目先真っ黒になります。今日一日一日アクアドームに元気で行ったと感謝の毎日です。
- ・高齢化が進む中、歩きたくるようなウォーキングコースの整備が必要です。市内でウォーキングコースやジョギングコースがあるのはどうだろうか→無い。大濠公園といかなくても、市内にいくつもある池に親水公園や周回ウォーキングコースを整備して、ウォーキング人口を増やすべきと考える
- ・高校まではずっとスポーツ（部活）をしていたけど、大学に入り、スポーツをするという機会が減ってきていると感じていた中で、宗像市としてスポーツに対していろいろな取り組みが行われていることを知り、またスポーツを試みようかなと思うきっかけとなった。でも、自分が住んでいる地区でスポーツをするとなると、若い年代の人があまりいないとか高齢の方ばかりで浮くんじゃないかと覆うことがあるから。若い人でも気軽に参加できるような内容もやってみるとよいかと思う。若い人のスポーツ離れは、生活習慣病のリスクも高くなるから、ちゃんと運動して健康を維持していこうと思います。
- ・コロナ前はアクアドームで水泳をしたり運動をしたりしていました。以後、ウォーキングを始めました。歩いてみたら施設内より楽しかったので、アクアドームに行くのをやめました。
- ・平日、土日祝関係なく気軽に立ち寄れる場所が出来ればうれしい。（時間も営業時間内であればいつでもOK等）
- ・日々のウォーキングで満足している
- ・運動は健康維持という面もありますが、出会う人にあいさつし、ボケの防止に役立てるためと思っています。
- ・働いている人向けの時間帯（夜や夕方、土日）にヨガ教室をしてほしい
- ・身体障害者でも体を動かす施設を作ってください
- ・宗像市は、今後ますます高齢化が進むと思います。ウォーキング、ジョギング、ラジオ体操等の教室を定期的に

- 行って、運動の大切さ、楽しさ、健康づくりに啓発してもらえたらと思います。期待しています。
- ・城西ヶ丘の住民です。市の管理のおかげで毎日の散歩道の整備が良くされており、大変感謝しております。
 - ・少年野球やミニバスなど子どものクラブ情報をとりまとめて欲しいです。また同様に大人のクラブ情報もあれば参考にしたいと思います。
 - ・ウォーキングはほぼ毎日しているのですが、筋トレが（特に上半身を鍛える運動）できてません。もっと老後の生活を考えて"貯筋"をしたいと思っているのですが、どこでどのような教室をやっているのか知りたいと思っています。
 - ・グランドゴルフは自治会、市を含んで大会が開催されていて、他のスポーツでもこの様な大会なり自己実現できる場（舞台）があったらと思います。現在どのようなスポーツが行われ利用者がどの程度かPRが欲しい
 - ・仕事や介護で運動できる時間が取れませんが、できればウォーキングがやりたいです。市民体育館にもそのような設備があったらいいと思います
 - ・これまでスポーツについて考えたことはなかったが、民間のスポーツ施設が在る中で公共施設の役割というのは変化していくべきだと思う。・大きなスポーツ大会を開催することよりも一般の市民が気軽に運動する事ができる施設を広めて欲しい。
 - ・日の里 7 号公園テニスコートの全天候型へいわゆるオムニコート化をして頂きたい。
 - ・子どもが弓道に興味がありホームページで調べてみましたが道場があるのは分かったけど教室が見つかりませんでした。もしあるなら教えて欲しいです。
 - ・毎年 10 月の 3 連休に行橋～別府 100 キロウォークに参加しております。宗像で開催されれば参加します。
 - ・色々取り組みがあるのは知っていますが、習わせたい、子供が習いたいものがあったても、まず①送迎②価格（月謝）でつまづく家庭が多いと思います。部活動の地域化も送迎ができない我が家は参加することができず疎外感を感じるだろうなと思っています。地域化も悪く無いとは思いますが学校（通学範囲）でできていたスポーツができなくなる状況（送迎困難や月謝代負担のせい）は、どう考えていますか。ぜひその考えを聞かせて下さい。我が家だけではないです。家計への負担もです。子育てに優しくないです。福岡市を見習っては？ここで子育てしたいと思える市になって欲しい。
 - ・釣川の河川敷または土手を利用して赤間から宗像大社までのサイクリングコースなどを作れないか
 - ・息子が雨の日でも無料で安全に散歩できる施設がほしいです。
 - ・鐘崎の深浜は砂浜の保護の為に沖にブロックを入れていますが、サーフポイントと、してはとても勿体無いことをしていると思います。国内屈指のサーフポイントだった場所です、なんとか過去サーフィンができた環境にもどせないでしょうか？非常にもったいないです。
 - ・先人が積み上げてきたスポーツのレガシーは偉大ですが、そこに入れない（受け入れない）人もまた多いのではないかと思います。その意味で、スポーツをしたかどうかに指標を置くことに違和感があります。スポーツに興味のない人を既存の仕組みの中に取り込むのではなく、娯楽や、生活のモチベーションとして、スポーツ（見て楽しんだり、支えたりを含む広い意味で）には誰でも関わる事ができると多くの人が実感できれば、生き生きとした社会に向かうのではないのでしょうか？
 - ・宗像市内スポーツマップ？のようなものがあると、どの地区で何があるのか、自宅から通えるかなどわかりやすいと思う。（病院マップみたいな）合わせて問い合わせ先も掲載して欲しい。運動教室にも高齢者向けのもの、子ども向けのものなど色々あるので難しいと思うが・・・
 - ・他市町と比較して宗像市の施設は充実しています。
 - ・利用して運動してみたいですが、既利用者グループに遠慮してしまいます。
 - ・今から、50 代ぐらいからでも、仲間づくりをする世代向けに参加しやすい取り組みをしていただけたらと思います。

- ・健康維持の観点で、スポーツ推進がなされればいいと思います。
- ・ユリックス以外にも、ウォーキングしやすい歩道がたくさんあるといいなと思います。
- ・宗像市にこれ以上の施設はいらない。今あるものの有効活用、リニューアル、運用方法の向上、等をして、莫大なお金をかけずに取り組まないといけない。
- ・スポーツは身体や思考、感情を豊かに育むことができると信じています。環境が整っていても指導者の人間性や責任感、考え方がしっかりとしていないと事故の元になります。人の性格やお子様の教育方針もまばらなので指導者の育成が大切だと思います。
- ・山登りブームで、休日の城山、特に教育大学側は人が増えすぎている感じがします。三郎丸登山口にも少し離れた場所でも良いので広い駐車場をきちんと整備した方がよさそうです。
- ・いろいろと参加して、やってみたいと思いました。ありがとうございました。
- ・子供が小さく、運動を楽しむ余裕がありません。したい気持ちはあるのですが…。
- ・色々と楽しい企画を考えられていると思います！今後も機会があれば利用させていただきます！
- ・生涯スポーツと競技スポーツの情報は個人が希望すればわかる範囲で良いと思うが、知らないスポーツの魅力を紹介する媒体があればと思います。ニュースポーツなどは名称を聞いてもよくわからない。
- ・時間と場所に拘束されることなく、且つ利用者の目的に合ったスポーツの機会を提供してもらいたい。
- ・特に施設はいらない。自然公園 遊歩道のようなものがあれば良い
- ・自分自身が運動が苦手なので、特にありません。ただ、全ての施設は車でないと移動できないので、免許を持っていない人、または高齢の方は来場しにくいのかなと思います。
- ・宗像ユリックスの公園の電気が月曜日消えているのはジョギングや散歩をするのにとっても危険です。できれば電気をつけていただきたいです。結構真っ暗な中でも来ている人は多いです。
- ・小学校の水泳の授業を民間委託し、安全でより専門的な指導がされていて安心しています。先生や PTA の負担軽減にもなっています。ありがとうございました。
- ・今回「宗像市におけるスポーツ」に関するアンケートに参加する機会を頂いたので、アンケートで表現できなかった感じていることを書かせていただきます。人、もの、金の事は置いておいての勝手な意見であり、色々な事情の中で難しい問題なのだと思いますし、小さな堅実な取り組みが、そのことで飛んでしまうものではなく、引き続き現在の取り組みを市民としてはありがたく感じていますのでそこは感謝の上での意見になります。
- ・宗像市のスポーツ関連の取り組みで素晴らしい事として、毎年のプリンセス駅伝の招致があると思います。駅伝は過去、日の里中や河東中の全国制覇もあったいわゆる駅伝処であり、将来競技者として一流選手を目指す小中学生にとっても、また、普通の市民にとっても、一流選手を見られる機会が毎年得られている事はありがたいことです。また一流選手を見ることで身近なランニングというスポーツに興味を持ってランニングに取り組む影響が市民の健康増進にもきっと寄与していると思いますので、「市のスポーツの取り組み」の中で大きな効果のある取り組みであると思います。一方で残念な事になってしまいますが、2022年に28年間宗像で活動してきたプロラグビーチームの宗像サニックスブルースが活動休止しました。サニックスブルースによってもたらされた選手や関係者の人口流入や、市民（特に子供たち）にもたらされたラグビーやスポーツ（特にトップレベルの選手たち）への知らず知らずのうちのふれあいや、現在も存続している玄海グランドやグローバルアリーナで運営されている、スクールや試合、大会が市内のスポーツや運動へ果している貢献は、（ラグビーだけでなく、サッカー、ハンドボール、柔道、テニス等）、他には代えられない様々な恩恵を市や市民にもたらしてきたと思います。宗像からラグビーが後退する一方で、先日うきは市を中心とした筑後地区の「ルリー口福岡」が2年間の活動を経て競技のトップカテゴリーのリーグワンに昇格参入が決定し、地域の活性化につながる大きなニュースになっています。ルリー口がゼロから立ち上げてリーグワンに参入するまでになりましたが、宗像には施設・設備もあってラグビー文化もあったので、もう少し何かできなかったかなと残念でなりません。（様々な事情があった

と思いますので、恨み節ではありませんが、2022 年の時点で市が市内企業や市民に呼びかけてチームを維持できなかったのかと思ってしまいます。)

- ・現在も企業の努力で、宗像のラグビー文化は残っています。今も玄海グランドやグローバルアリーナで、サニックスが施設運営やスクール、アカデミーを運営しています。この活動も企業(サニックスやサニックス財団)の業績や意向によっていつまで守られるかわかりません。「宗像市のスポーツ」を考える時に、このブルースの活動休止はあまりに大きな出来事だと思います。できる事ならまだわずかに残っているこの遺産に対し、今後市が前向きに支援や共助をしていって欲しいなという気持ちです。引き続き宗像のスポーツの取り組みをよろしくお願いします。
- ・送迎サービスがあると利用しやすいと思います。
- ・市民の健康促進への取組はとても大事な事ですが、一部テニスコートの利用等、常連利用者の既得権(優遇団体制度)を止めるべきかと思います。受益者負担前提で備品購入費や教室やイベントの開催費等を考えるべきでは無いかと思います。
- ・最近健康のために運動を始めたばかりで少し体力がついてきたのでコミュニティなど、知る機会があったら参加したいと思う。ただ、引っ越してきたばかりのため調べ方がわからない。
- ・市民が積極的にスポーツに取り組める環境に今後も力を入れていただきたい。
- ・知らなかったかもしれませんが、こういうアンケートは初めてでした。市民の意見を聞き、これから先へ活かす事は、とても大事で良い取り組みだと思います。これからもスポーツだけではなく、色んな意見を聞き、宗像市をより良い街にしていって欲しいと思います。
- ・ラグビーのサニックスブルースを復活させて欲しい。企業が難しければ市民球団として出来ないものでしょうか。グローバルアリーナのラグビー場のスタジアムを綺麗にして欲しい。クラウドファンディングでもいい。市民球団が無理ならトップリーグの試合(ディビジョン 1、2、3)をグローバルアリーナで観戦出来るようになれば嬉しい。
- ・好みの競技登録の仕組みを導入し、クラブチームに所属しなくても、初めてのメンバー同士が集まり、気軽に競技に取り組めるようなシステムがあると良い。
- ・情報やきっかけがあれば、参加する方は多いと思います。今後の取組みを期待します!
- ・娘(年長)が車椅子ユーザーなので、車椅子の競技を体験したり、ハンデがあっても習える教室があるととても嬉しいです!車椅子スポーツを習わせてあげたいですが、今のところ宗像市内には無さそうなので困っています。
- ・屋内施設は予約や開館時間の短さなどが障害となってプレーすることが躊躇われる。ユリックスのバスケットボールのゴールは利用しやすいが、昨今の人気で混んでいることがある。もう一つくらい欲しいと思う。もう第一線ではないので贅沢は言わないが、立派な陸上競技場は近くにはなく、北九州市の本城陸上競技場を活用している。宗像市の規模でこれを持つ体力はないが、あれば良いなというももう。
- ・子育て世代は運動したくても夫婦どちらかが子どもを預かる時間を確保しなければ自分1人で運動するというのは難しい気がします。平日は基本ワンオペや仕事で帰宅時間が遅い人も多いので、休日は家族の時間として、出かけたり家族で過ごす方が多いのかと。自分のための運動の時間というのは贅沢な気がしてしまいます。。。なので宗像市として運動やスポーツ推進のための活動や施設があることも知らなかったですし、はじめから諦めていて調べることもすらありませんでした!春から子どもが幼稚園へ行くので日中の時間で活動している運動やサークルがあれば参加してみたいとアンケートを通して感じました。
- ・市が取り組んでいる内容を、もっと積極的に広報して欲しい。今回の、アンケートで、知らない内容が、たくさんあった。
- ・高齢者と子供の交流を意識したとりくみに期待したい。

- ・その前に宗像市の経済的発展を目指す努力をしたらどうですか？
- ・頑張ってください！
- ・もっと気軽に運動が出来る環境作りをお願いします。屋外でのバスケットボールの為利用した事は有りますが、半面だと限界があります。
- ・初心者向けの登山やウォーキングの１日イベントが定期的に有れば良い
- ・駅併設のスポーツ施設があれば、仕事後によってみたい。(福工大前駅のような駅が宗像にあればすごく嬉しい)
- ・このアンケートで、宗像のスポーツ施設や設備が充実していくことを期待しています。
- ・市民の健康増進を施設整備や環境整備に小さな事から尽力いただきたい。
- ・地域のしほりや、参加の強制などなくなればいい。どこで何をしてるかわからないのでわかりやすくしてほしい。子供の遊べる環境が少なく、遊びづらい規則が多い。
- ・経費を削減しながら、取り組んでいただけるとありがたいです。市民の負担が増えるようでしたら、市外で観戦を楽しむように考えたいです。
- ・北海道にスキーに行って、美味しいもの食べるサークルとか、運動だけでなくその後の飲み会を楽しむサークルとか、スポーツ+アルファを楽しむ、という発想が生活を豊かにすると思う。
- ・定年後の身には、回答に窮する内容ばかりでした
- ・子供の未来を考えた場合 今のグローバル時代においては 費用の問題がありますが
同世代の子供たちには 同一競技を海外の子供たちとゲームを通じて交流できる様な取り組みには期待があります
- ・スポーツ(ゲーム)は個人的に苦手です。しかし、一人で取り組めるウォーキングや筋トレは好きです。一人でできる運動について、知ることができる手段があればいいなと思います。
- ・運動スポーツの取り組みを何も知らなかったのもっと若い世代にもわかるように、打ち出した方がいいと思います。
- ・仲間とするのも楽しく好きですが、時間と曜日を合わせるのが大変なので一人でも練習出来るような設備があると利用したい

7-1. 基本方針について

【施策目標に含まれる記号（★）（◆）の意味について】

文末に（★）がついている目標の（★）印については、「基本方針4」の「施策目標⑨」の「スポーツ協会に「★」を推進する基盤体制が構築できるよう体制の整備に努める」の★印のことを指します。

文末に（◆）がついている目標の（◆）印については、「基本方針5」の「施策目標③」の「◆」の情報が発信されている」の◆印のことを指します。

基本方針Ⅰ スポーツで市民の心と身体健康づくり

アンケートの結果から市民の身体活動への関心が国の平均と比べて低いと推測されるため、無関心層へのアプローチを中心に健康づくりを推進します。

施策目標① 自分の健康状態に適したスポーツに取り組める（◆）

目標	指標	データソース	目標値	現状値
スポーツを行っている者の増加	「成人の週1回30分以上の運動やスポーツを行っている者」の割合	市民アンケート	50.0%	45.0%

●市民アンケートにおける「成人の週1回30分以上の運動やスポーツを行っている者」の割合は、現状45.0%となっています。この5年間で毎年1,000人ずつ増加していくことを目標に、目標値を50.0%と設定します。

目標	指標	データソース	目標値	現状値
スポーツを行っている者の増加	「成人の週1回30分以上の運動やスポーツを行っている者」の割合	5年後の文化スポーツ課アンケート	50.0%	45.7%

●文化スポーツ課で実施したアンケートにおける「成人の週1回30分以上の運動やスポーツを行っている者」の割合は、現状45.7%となっています。この5年間で毎年1,000人ずつ増加していくことを目標に、目標値を50.0%と設定します。

目標	指標	データソース	目標値	現状値
スポーツを行っている者の増加	「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している人」の割合	法定報告	57.0%	52.1%

●法定報告における「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している人」の割合は、現状52.1%となっています。この5年間で毎年1,000人ずつ増加していくことを目標に、目標値を57.0%と設定します。

施策目標② 市民が地区ごとに自宅から歩けるウォーキングコースを知っている（◆）

目標	指標	データソース	目標値	現状値
ウォーキングコースを知っている者の増加	ウォーキングコースを知っている者の割合	5年後の文化スポーツ課アンケート	推進地区で20.0%	なし

●ウォーキングコースを知っている者の割合については、現状、推進の取り組みを行っておらず現状値の把握はありません。これから取り組みを実施していくにあたり、市内全域を一斉に推進していくことは困難であることから、コミュニティ単位で地区を区切り、まずは2地区において取り組みを実施します。目標値は推進地区で20.0%と設定します。

施策目標③ 健康意識が高まり、新たにスポーツを始める人が増えている

目標	指標	データソース	目標値	現状値
（再掲）スポーツを行っている者の増加	「成人の週1回30分以上の運動やスポーツを行っている者」の割合	市民アンケート	50.0%	45.0%

●市民アンケートにおける「成人の週1回30分以上の運動やスポーツを行っている者」の割合は、現状45.0%となっています。この5年間で毎年1,000人ずつ増加していくことを目標に、目標値を50.0%と設定します。

目標	指標	データソース	目標値	現状値
（再掲）スポーツを行っている者の増加	「成人の週1回30分以上の運動やスポーツを行っている者」の割合	5年後の文化スポーツ課アンケート	50.0%	45.7%

●文化スポーツ課で実施したアンケートにおける「成人の週1回30分以上の運動やスポーツを行っている者」の割合は、現状45.7%となっています。この5年間で毎年1,000人ずつ増加していくことを目標に、目標値を50.0%と設定します。

目標	指標	データソース	目標値	現状値
（再掲）スポーツを行っている者の増加	「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している人」の割合	法定報告	57.0%	52.1%

●法定報告における「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している人」の割合は、現状52.1%となっています。この5年間で毎年1,000人ずつ増加していくことを目標に、目標値を57.0%と設定します。

目標	指標	データソース	目標値	現状値
スポーツを通じた健康づくりに関する相談支援件数の増加	スポーツを通じた健康づくりに関する相談支援件数	実績	100 件/年	なし

●スポーツを通じた健康づくりに関する相談支援件数については、現状の把握はありません。目標値については、1 年でアウトリーチを 2 回実施し、アウトリーチ 1 回につき 50 件の相談支援を行うことを目標に、100 件/年と設定します。

基本方針 2 誰もがスポーツを楽しむことのできる環境づくり

スポーツ施設の利用状況等からスポーツを生きがいに行っている市民が多いことから、引き続き市民のスポーツによる生きがいづくりを推進します。

施策目標① 誰もが気軽にスポーツに取り組める（★◆）

目標	指標	データソース	目標値	現状値
（再掲）運動やスポーツを行っている者の増加	「成人の週 1 回 30 分以上の運動やスポーツを行っている者」の割合	市民アンケート	50.0%	45.0%

●市民アンケートにおける「成人の週 1 回 30 分以上の運動やスポーツを行っている者」の割合は、現状 45.0%となっています。この 5 年間で毎年 1,000 人ずつ増加していくことを目標に、目標値を 50.0%と設定します。

目標	指標	データソース	目標値	現状値
（再掲）運動やスポーツを行っている者の増加	「成人の週 1 回 30 分以上の運動やスポーツを行っている者」の割合	5 年後の文化スポーツ課アンケート	50.0%	45.7%

●文化スポーツ課で実施したアンケートにおける「成人の週 1 回 30 分以上の運動やスポーツを行っている者」の割合は、現状 45.7%となっています。この 5 年間で毎年 1,000 人ずつ増加していくことを目標に、目標値を 50.0%と設定します。

目標	指標	データソース	目標値	現状値
（再掲）運動やスポーツを行っている者の増加	「1 回 30 分以上の軽く汗をかく運動を週 2 日以上、1 年以上実施している人」の割合	法定報告	57.0%	52.1%

●法定報告における「1 回 30 分以上の軽く汗をかく運動を週 2 日以上、1 年以上実施している人」の割合は、現状 52.1%となっています。この 5 年間で毎年 1,000 人ずつ増加していくことを目標に、目標値を 57.0%と設定します。

目標	指標	データソース	目標値	現状値
スポーツを行っていない者の減少	「運動やスポーツを行っていない者」の割合	5年後の文化スポーツ課アンケート	35.0%	37.4%

●文化スポーツ課で実施したアンケートにおける「運動やスポーツを行っていない者」の割合は、現状 37.4%となっています。この 5 年間で毎年 500 人ずつ減少していくことを目標に、目標値を 35.0%と設定します。

施策目標② スポーツの体験→練習→仲間づくりができる（★）

目標	指標	データソース	目標値	現状値
体験できる教室の設置	体験できる教室の数	実績	5 種目	なし
スキルアップできる教室の設置	スキルアップできる教室の数	実績	5 種目	なし
共通の目的を持った者が集って競い合う教室の設置	共通の目的を持った者が集って競い合う教室の数	実績	5 種目	なし

●体験できる教室、スキルアップできる教室、共通の目的を持った者が集って競い合う教室については、現状、取り組みはありません。目標値については、令和 5 年度の宗像市スポーツ協会の実績（9 種目）を参考に、5 種目と設定します。

目標	指標	データソース	目標値	現状値
団体加入率の増加	団体加入率	5 年後の文化スポーツ課アンケート	16.0%	15.0%

●文化スポーツ課で実施したアンケートにおける団体加入率は、現状 15.0%となっています。この 5 年間で毎年 200 人ずつ増加していくことを目標に、目標値を 16.0%と設定します。

施策目標③ スポーツを継続する人のために、その目標となる成果発表の場がある（★◆）

目標	指標	データソース	目標値	現状値
成果発表の場の設置	成果発表ができる種目の数	実績	19 種目	なし

●成果発表ができる種目の数については、現状、取り組みはありません。目標値については、令和 5 年度の宗像市スポーツ協会の実績（19 種目）を参考に、19 種目と設定します。

施策目標④ 市民のニーズに合ったプログラムを提供している（★◆）

目標	指標	データソース	目標値	現状値
アンケートでニーズの多いプログラムの提供	プログラムの種目の数	実績	3 種目	なし

●市民のニーズに合ったプログラムの種目の数については、宗像市スポーツサポートセンターにおいてプログラムを実施しているものの、「市民のニーズに合った」という観点においては、現状、取り組みはありません。目標値については、既存のプログラムの精査等も視野に入れながら、宗像市スポーツサポートセンターの実績（4 種目）を参考に、3 種目と設定します。

施策目標⑤ 障がいの有無にかかわらずスポーツに親しむことができる

目標	指標	データソース	目標値	現状値
スポーツや文化芸術活動等への参加率の増加	スポーツや文化芸術活動等の参加率	実績	26.0%	22.5%

●福祉政策課が実施したアンケートにおける障がい者のスポーツや文化芸術活動等の参加率は、現状 22.5%となっています。この 5 年間で毎年 40 人ずつ増加していくことを目標に、目標値を 26.0%と設定します。

施策目標⑥ スポーツの継続年数にかかわらず、スポーツを通じて楽しさや喜びを実感し続けることができる

目標	指標	データソース	目標値	現状値
スキルや目的に合った教室の設置	スキル等に合わせて選ぶことができる教室の数	実績	4 教室	なし

●スキル等に合わせて選ぶことができる教室の数については、現状、取り組みはありません。この 5 年間で、自身のレベルに応じて初級、中級を選ぶことのできる教室を 2 種目取り組むことを目標に、目標値を 4 教室と設定します。

目標	指標	データソース	目標値	現状値
上記教室の指導者の育成や確保	上記教室に携わる指導者の人数	実績	4 人	なし

●上記教室に携わる指導者の人数については、現状、取り組みはありません。目標値については、上記教室の 1 教室につき最低 1 人として、4 人と設定します。

施策目標⑦ スポーツを始めるきっかけとして e スポーツの普及について研究している

目標	指標	データソース	目標値	現状値
-	-	-	-	-

基本方針3 子どもがスポーツを楽しめる機会の創出

アンケートの結果から、大人からスポーツを始めることのハードルが高いこと、子どもからスポーツを始めることが大切であることの見が多いことから、中学生を中心に子どもがスポーツを楽しめる機会の創出を推進します。

施策目標① 幼児期から様々なスポーツを体験できる（★◆）

目標	指標	データソース	目標値	現状値
幼児対象の体験教室の増加	体験できる種目の数	実績	2 種目	なし

●幼児対象の体験教室の種目数については、現状、取り組みはありません。目標値については、新規事業の企画から取り組んでいくことを鑑み、2 種目と設定します。

目標	指標	データソース	目標値	現状値
スポーツが好きな小学 5 年生の増加	「運動が好きな小学 5 年生」の割合	学校アンケート (全国体力テスト)	66.0%	61.0%

●学校アンケートにおける「運動が好きな小学 5 年生」の割合は、現状 61.0%となっています。目標値については、小学 5 年生の現状値を参考にその人数より毎年 10 人ずつ増加することを目標に、66.0%と設定します。

施策目標② すべての中学生が取り組みたいスポーツを行うことができる（◆）

目標	指標	データソース	目標値	現状値
中学生対象の様々な教室の設置	種目の数	実績	10 種目	10 種目

●中学生対象の教室の種目数については、現状、部活動地域移行後の受皿となるクラブの 10 種目の実績があります。目標値については、現在取り組みを実施している部活動地域移行の事業において対象としている種目数（10 種目）を参考に、10 種目と設定します。

目標	指標	データソース	目標値	現状値
中学生対象の学校以外の場での教室の設置	種目の数	実績	3 種目	3 種目

●中学生対象の学校以外の場での教室の種目数については、現状、南の郷クラブの 3 種目の実績があります。目標値については、現状維持を最低ラインとし、3 種目と設定します。

目標	指標	データソース	目標値	現状値
スポーツが好きな中学 2 年生の増加	「運動が好きな中学 2 年生」の割合	学校アンケート (全国体力テスト)	50.0%	44.1%

●学校アンケートにおける「運動が好きな中学 2 年生」の割合は、現状 44.1%となっています。目標値については、中学 2 年生の現状値を参考にその人数より毎年 10 人ずつ

増加することを目標に、50.0%と設定します。

施策目標③ 子どもがトップスポーツ選手と交流できる（◆）

目標	指標	データソース	目標値	現状値
トップスポーツ選手との交流事業の実施	交流事業の回数	実績	2回/年	年2回

●トップスポーツ選手との交流事業の回数については、現状、年2回の交流実績があります。目標値については、現状維持を最低ラインとし、年2回と設定します。

基本方針4 スポーツ活動を支える基盤体制の整備

第2期宗像市スポーツ推進計画の振り返りから宗像市スポーツ協会や民間組織等、スポーツ施策の関係者との更なる連携が必要であるため、これらの関係者との連携強化等の基盤づくりを推進します。

施策目標① それぞれの取り組みにおいて適した指導者がいる（★）

目標	指標	データソース	目標値	現状値
(再掲)上記教室の指導者の育成や確保	上記教室に携わる指導者の人数	実績	4人	なし

●上記教室に携わる指導者の人数については、現状、取り組みはありません。目標値については、上記教室の1教室につき最低1人として、4人と設定します。

施策目標② 相談できる環境が整っており、市民がそれを知っている（★◆）

目標	指標	データソース	目標値	現状値
(再掲)スポーツを通じた健康づくりに関する相談支援件数の増加	スポーツを通じた健康づくりに関する相談支援件数	実績	100件/年	なし

●スポーツを通じた健康づくりに関する相談支援件数については、現状の把握はありません。目標値については、1年でアウトリーチを2回実施し、アウトリーチ1回につき50件の相談支援を行うことを目標に、100件/年と設定します。

目標	指標	データソース	目標値	現状値
上記の支援体制 の市民の認知	知っている市民 の割合	5年後の文化ス ポーツ課アンケ ート	アクアドーム 76.0% スポーツ協会 30.0% 相談支援体制 30.0%	アクアドーム 74.9% スポーツ協会 16.0% サポートセン ター6.3%

●文化スポーツ課が実施したアンケートにおける支援体制を知っている市民の割合は、現状、アクアドームが74.9%、宗像市スポーツ協会が16.0%、宗像市スポーツサポートセンターが6.3%となっています。アクアドームについては、この5年間で毎年200人ずつ増加していくことを目標に、目標値を76.0%と設定します。宗像市スポーツ協会及び相談支援体制（現宗像市スポーツサポートセンター）については、最低ラインを30%として、目標値を30%に設定します。

施策目標③ 市民のスポーツできる場を確保している

目標	指標	データソース	目標値	現状値
種目数の維持	種目数	実績	19種目	なし

●種目数については、現状の把握はありません。目標値については、宗像市スポーツ協会に加盟する単位協会の数（19団体）を参考に、19種目と設定します。

目標	指標	データソース	目標値	現状値
面数の維持	面数	実績	屋内施設 バスケット 40 面 温水プール 25m×7 コース 屋外施設 野球場 5 面 テニスコート 11 面 弓道場	屋内施設 バスケット 40 面 温水プール 25m×7 コース 屋外施設 野球場 5 面 テニスコート 11 面 弓道場

●面数の現状については、屋内施設が、バスケットコート 40 面、温水プール 25m×7 コース、屋外施設が、野球場 5 面、テニスコート 11 面、弓道場となっています。目標値については、現状維持とし、現状値と同様で設定します。

目標	指標	データソース	目標値	現状値
稼働率の維持	稼働率	実績	屋内施設 93.0% 屋外施設 50.0%	屋内施設（3 体育館）： 91.4% 屋外施設（運動広場）： 44.3%

●稼働率の現状については、屋内施設（市民体育館、勤労者体育センター、玄海 B & G 海洋センター）が91.4%、屋外施設（運動広場）が44.3%となっています。目標値については、屋内施設を93.0%、屋外施設を50.0%と設定します。

施策目標④ 地域スポーツの課題が明らかになり、スポーツ推進委員と連携してそれらに取り組んでいる

目標	指標	データソース	目標値	現状値
スポーツ推進委員の支援体制の維持	支援回数	実績	20 回/年	20 回/年

●スポーツ推進委員の支援回数については、現状、年 20 回の支援実績があります。目標値については、現状維持を最低ラインとし、年 20 回と設定します。

目標	指標	データソース	目標値	現状値
スポーツ推進委員との連携による地域課題解決事業の推進	委員の延べ参加人数	実績	484 人/年	484 人/年

●地域課題解決事業へのスポーツ推進委員延べ参加人数については、現状、年 484 人の参加実績があります。目標値については、現状維持を最低ラインとし、年 484 人と設定します。

施策目標⑤ スポーツ施設に関する計画に基づく施設の集約・複合化や既存施設の有効活用等を着実に実行している

目標	指標	データソース	目標値	現状値
-	-	-	-	-

施策目標⑥ 市民が施設にアクセスしやすくなる対策が研究されている

目標	指標	データソース	目標値	現状値
-	-	-	-	-

施策目標⑦ 世代や地域を超えて交流できる場がある

目標	指標	データソース	目標値	現状値
南の郷クラブの会員数増加	南の郷クラブの会員数	実績	154 人	124 人

●南の郷クラブの会員数については、現状、124 人となっています。この 5 年間で、毎年大人が 2 人ずつ、子どもが 4 人ずつ増加していくことを目標に、目標値は 154 人と設定します。

施策目標⑧ 市民が市内でスポーツ観戦（トップスポーツ）をしている

目標	指標	データソース	目標値	現状値
市内観戦者数の増加	「市内で観戦したことがある者」の割合	5 年後の文化スポーツ課アンケート	10.0%	6.0%

●文化スポーツ課が実施したアンケートにおける「市内でスポーツ観戦（トップスポーツ）をしたことがある者」の割合は、現状 6.0%となっています。この 5 年間で、毎年 800 人ずつ増加していくことを目標に、目標値を 10.0%と設定します。

施策目標⑨ スポーツ協会に「★」を推進する基盤体制が構築できるよう体制の整備に努める

目標	指標	データソース	目標値	現状値
-	-	-	-	-

基本方針 5 「伝わる」効果的な情報の発信

アンケートの結果から、スポーツ施策の取り組み内容の認知度が低く、また、スポーツに関する情報が少ないと感じている人が多いことから、市民が知りたいときに知りたい情報にたどり着けるよう、また、発信した情報が市民のもとへ届き、興味を持ってもらえるよう「伝わる」効果的な情報の発信を推進します。

施策目標① 市民が次のサービスを知っている ①施設で何ができるか ②施設の使い方やルール ③スポーツ用具の貸出制度（★）

目標	指標	データソース	目標値	現状値
認知度の増加	認知度	5 年後の文化スポーツ課アンケート	①60.0% ②60.0% ③15.0%	①なし ②なし ③13.7%

●サービスの認知度の現状については、“①施設で何ができるか”、“②施設の使い方やルール”については把握がなく、“③スポーツ用具の貸出制度”については、13.7%となっています。目標値については、①②は、文化スポーツ課が実施したアンケートにおいてスポーツ施設を利用したことがあると回答した割合（56.2%）に 5,000 人を加え、60.0%と設定します。また、③は、毎年 200 人ずつ増加していくことを目標に、15.0%と設定します。

施策目標② 毎年、市広報紙でスポーツの体験→教室(練習)→仲間づくり→成果発表の場(→観戦(見学))を情報発信している

目標	指標	データソース	目標値	現状値
情報発信の定着	市広報紙への掲載号数	実績	1 回/年	なし

●スポーツの体験→教室(練習)→仲間づくり→成果発表の場(→観戦(見学))に関する市広報紙への掲載号数については、現状、取り組みはありません。目標値については、最低 1 回は広報紙において周知することを目標に、年 1 回と設定します。

施策目標③ 「◆」の情報を発信している

目標	指標	データソース	目標値	現状値
情報発信の定着	市広報紙への掲載号数	実績	1 回/年	なし

●「◆」の情報に関する市広報紙への掲載号数については、現状、取り組みはありません。目標値については、最低 1 回は広報紙において周知することを目標に、年 1 回と設定します。

施策目標④ 情報発信（蓄積）サイトが充実している

目標	指標	データソース	目標値	現状値
サイト認知度の増加	認知度	5 年後の文化スポーツ課アンケート	25.0%	なし

●サイトの認知度については、現状の把握はありません。目標値については、全体の 4 分の 1 を最低ラインとし、25.0%と設定します。

施策目標⑤ 発信した情報が市民のもとへ確実に届いている

目標	指標	データソース	目標値	現状値
（再掲）サイト認知度の増加	認知度	5 年後の文化スポーツ課アンケート	25.0%	なし

●サイトの認知度については、現状の把握はありません。目標値については、全体の 4 分の 1 を最低ラインとし、25.0%と設定します。

施策目標⑥ 宗像市のイベントが市外の人にも興味を持ってもらえている

目標	指標	データソース	目標値	現状値
同一イベントの市外視聴率の増加	市外視聴率（プリンセス駅伝）	実績	6.3%	5.8%

●同一イベントの市外視聴率については、現状 5.8%となっています（プリンセス駅伝関東地区世帯視聴率）。この 5 年間で、毎年 0.1%ずつ増加していくことを目標に、目標値を 6.3%と設定します。なお、0.1%の増加で約 2 万世帯の増加となります。

基本方針 6 “むなかた”の地域資源を活用したスポーツ観光等の推進

本市には、海や宿泊施設とスポーツ施設が充実したグローバルアリーナ、10 年以上続く実業団女子駅伝等、貴重な地域資源があることから、これらの地域資源を持続して活用するスポーツ観光等のスポーツ活動を推進します。

施策目標① 毎年、子どもたちに海に親しむ機会を提供している（◆）

目標	指標	データソース	目標値	現状値
維持	提供件数	実績	25 コマ/ 年	25 コマ/ 年

●子どもたちが海に親しむ機会の提供件数については、小学5年生を対象とした海洋性スポーツ体験事業において、年25コマの実績があります。目標値については、現状維持を最低ラインとし、年25コマと設定します。

施策目標② プリンセス駅伝が継続されるよう支援を行っている（◆）

目標	指標	データソース	目標値	現状値
持続	実績	実績	5年継続	10年継続

●プリンセス駅伝の開催地としての実績については、これまで10年間継続して開催された実績があります。この5年間ににおいても継続して宗像市で開催されることを目標に、目標値は5年間継続と設定します。

施策目標③ ホストタウン交流による子どもの異文化交流ができていく（◆）

目標	指標	データソース	目標値	現状値
持続	交流件数	実績	5件/年	9件/年

●ホストタウン交流件数については、現状、年9件（令和5年度）の実績があります。ただし、令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が収束した反動により、例年よりも実績が多くなった状況があります。そのため、例年の実績を鑑み、目標値は年5回と設定します。

施策目標④ 世代ごとのラグビーを通じた交流やラグビーの試合、観戦の提供が行われるように支援を行っている（◆）

目標	指標	データソース	目標値	現状値
持続	来場者数	実績	4,000人/日（休日）	なし

●来場者数については、現状の把握はありません。目標値については、ワールドラグビーユースの来場者数（19,700人/5日間）を参考に、1日4,000人（休日）と設定します。

施策目標⑤ 市内の民間スポーツ施設等のスポーツ資源を有効に活用している

目標	指標	データソース	目標値	現状値
活用数の増加	活用数	実績	6回/年	なし

●民間スポーツ施設等の活用回数については、現状の把握はありません。目標値については、セカンドスクールやむなかたキッズセブン等の活用可能なイベント等の数を参考に、年6回と設定します。

8-1. 関係機関について

一般社団法人宗像市スポーツ協会

〈所在地：〒811-3406 福岡県宗像市稲元5丁目2番1号 宗像市民体育館内〉

（これまで果たしてくれた役割）

昭和56年に宗像市体育協会として発足以降、市民体育大会やスポーツ講習会の開催等、市民のスポーツ活動への参画機会を提供する中心的な役割として活動を続けてきました。また、平成18年以降、指定管理者として体育施設の管理、その他にも学校開放事業、有料公園予約事務等の業務委託を受ける等、公共の体育施設に関する事務を一元的に管理する重要な役割を担い、市民の「するスポーツ」「支えるスポーツ」に長年貢献してきました。

（本計画における役割）

市民の誰もがそれぞれの目標に応じて主体的にスポーツ活動が行えるよう「生涯にわたってスポーツに取り組める社会」の実現に努めていきます。

また、所属する各単位協会や競技団体、企業等と連携を図りながら、レクリエーション（生涯スポーツ）からトップスポーツ（競技スポーツ）に至るまで、幅広いスポーツ活動の推進に取り組みます。

さらに、講習会や研修会等による選手、指導者、審判の安全・事故防止や技術向上、スポーツ施設の環境整備及び施設予約の適切な管理等、中核的な役割を担っていきます。

（一財）サニックススポーツ振興財団、（株）グローバルアリーナ

〈所在地：〒811-4153 福岡県宗像市吉留46-1〉

（これまで果たしてくれた役割）

グローバルアリーナでは、屋内外のスポーツ施設に加えて、1,000人が宿泊できる宿泊施設も兼ね備えています。この充実した施設を強みに、平成9年の設立以降、多くの国際大会を開催し、市民の「観るスポーツ」「支えるスポーツ」に大きく貢献してきました。また、子どもを対象としたラグビー教室やラグビーアカデミー、ガールズラグビー教室等も積極的に開催し、子ども達の健全育成・競技力向上に貢献してきました。

（本計画における役割）

市民や地域が集ってみんなでスポーツを楽しめるよう「わがまちのスポーツクラブ」の実現に努めていきます。

また、スポーツ・文化を通じた青少年の健全育成や国際交流を推進していきます。

さらに、ラグビーを中心とした国際的なスポーツ大会や文化イベントの実施、子どものスポーツ活動の体験機会の提供、ユース世代選手の育成を行うとともに、グローバルアリーナの施設の強みや、全国、国際規模の大会運営のノウハウを活かした市民の国際交流やスポーツ観戦の場の提供に取り組みます。

宗像ユリックス アクアドーム

《所在地：〒811-3437 福岡県宗像市久原 400》

（これまで果たしてくれた役割）

宗像ユリックス・アクアドームは、屋内温水プールとトレーニングジム、スタジオを備えており、「市民の健康づくりの拠点」として親しまれてきました。運動のみならず、栄養管理のサポートを併せて行えることをひとつの強みに、“全身持久力の向上”をベースとした、様々なターゲット層に応じた健康づくりの取り組みを実施し、市民の健康づくりの場として、大きな役割を果たしてきました。

（本計画における役割）

市民一人ひとりの状態に適した健康づくりのサポートに取り組めるよう「市民の健康づくりの拠点」としての更なる機能の充実に努めていきます。

また、特定保健指導プログラムや健康づくり事業、不登校や身体機能の低下に悩む市民向けイベント等、健康づくりを軸とした多様な事業を展開していくことで、様々なターゲット層へアプローチを行うとともに、専門的な指導者による、個々に応じた効果的な指導を実施していきます。

さらに、運動管理だけでなく、栄養管理を併せて行うことで、相互作用による効率的な健康づくりのサポートに取り組んでいきます。

福祉や観光等の庁内関連部署及び観光協会等の関連団体等

（本計画における役割）

福祉や観光等の庁内関係部署及び観光協会等の関連団体等と連携し、スポーツツーリズムの推進に取り組めます。

スポーツ施設

（これまで果たしてくれた役割）

市内のスポーツ施設には、体育館やグラウンド、プール、弓道場等、様々な競技に対応できる施設があり、市民がスポーツを「する」「観る」「支える」場として、大きな役割を果たしてきました。

（本計画における役割）

【公共施設】

市民体育館、勤労者体育センター、玄海 B&G 海洋センター、有料公園、学校開放施設、弓道場、運動広場では、主に“競技スポーツの体験の場”として、市民が様々な競技スポーツに触れ、興味を持つきっかけとなる場を提供していきます。また、宗像ユリックス・アクア

ドームでは、主に”運動の場”として、市民が健康づくりのために運動を行うことができる場を提供していきます。

【民間施設】

グローバルアリーナ等の民間施設では、主に”スキルアップの場”として、各種スポーツのスキル向上を目指す市民の活動の場を提供していきます。

【公共施設と民間施設の連携】

公共施設と民間施設のそれぞれが、上記で示す役割を果たしながら、施設間の連携に努めます。具体的には、公共施設で様々なスポーツを体験し興味を持った競技について、本格的に競技に取り組みたい、スキルアップを目指したいと感じた市民が、民間施設で専門的にその競技に取り組むことができるよう、公共施設と民間施設の連携を図っていきます。

施設予約システム

(これまで果たしてくれた役割)

施設予約システムの導入により、インターネット上で、施設の空き状況の検索や予約の手続き、予約状況の確認が可能となりました。市民は、時間や場所を問わず、先述の情報へのアクセス、施設予約ができるようになり、利便性の向上に寄与してきました。

(本計画における役割)

市民が、時間や場所を問わずに、施設の空き状況の検索や予約の手続き、予約状況の確認ができるよう、引き続き施設予約システムの管理に努めていきます。また、情報技術の進歩等、社会の変化に対応し、より市民が利用しやすいシステムを目指していきます。

行政

(本計画における役割)

スポーツ関係団体や民間組織等が上記で示す役割を十分に果たすことができ、さらには、より充実した活動が実施できるよう、スポーツ関係団体や民間組織等に対して必要なバックアップを積極的に行います。それにより、市民がスポーツを通じた健康づくりや生きがいづくりに活発に取り組める環境の構築を目指します。

市民

(本計画における役割)

上記で示されたスポーツ関係団体や民間組織等のサービスを積極的に活用し、自身の健康づくり、生きがいづくりに励みます。

9-1. 審議会の概要

●審議会条例

○宗像市スポーツ推進審議会条例

平成16年3月31日

条例第5号

改正 平成16年12月28日条例第33号

平成22年12月27日条例第29号

平成23年12月28日条例第21号

(題名改称)

平成24年12月28日条例第33号

平成27年1月23日条例第1号

(趣旨)

第1条 この条例は、スポーツ基本法(平成23年法律第78号)第31条の規定に基づき、スポーツ推進審議会に関し、必要な事項を定めるものとする。

(平23条例21・一部改正)

(設置)

第2条 本市にスポーツ推進審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(平23条例21・一部改正)

(組織)

第3条 審議会は、15人以内の委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから宗像市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が委嘱する。

- (1) 教育関係機関を代表する者
- (2) 知識経験を有する者
- (3) スポーツ関係団体を代表する者
- (4) 市民代表

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第5条 審議会に、会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会の会議は、会長が招集する。

2 審議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決することができない。

3 審議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(庶務)

第7条 審議会の庶務は、市民協働環境部文化スポーツ課において処理する。

(平16条例33・平22条例29・平24条例33・平27条例1・一部改正)

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 (平成16年12月28日条例第33号)

この条例は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (平成22年12月27日条例第29号)

この条例は、平成23年4月1日から施行する。

附 則 (平成23年12月28日条例第21号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成24年12月28日条例第33号)

この条例は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (平成27年1月23日条例第1号)

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

●審議会委員名簿

任期：令和５年６月１日～令和７年５月３１日

(宗像市スポーツ推進審議会条例第３条の組織及び５０音順)

区分	氏名	所属	役職	専門
教育関係機関を 代表する者	河野 和道	地島小学校	校長	学校教育 子どもの体力づくり
教育関係機関を 代表する者	村山 正治	城山中学校	校長	学校教育 子どもの体力づくり
知識経験を有す る者	市丸 直人	福岡教育大学	教授	健康教育学、運動学
知識経験を有す る者	西村 和美	日赤看護大学	准教授	ヘルスプロモーション 在宅看護
スポーツ関係団 体を代表する者	石松 幸子	宗像市スポーツ 推進委員会	副委員 長	市民スポーツ
スポーツ関係団 体を代表する者	釜瀬 計	宗像市スポーツ 協会	副会長	市民、青少年スポーツ
スポーツ関係団 体を代表する者	末永 昭人	宗像ユリックス・ アクアドーム	所長	公共スポーツ施設
スポーツ関係団 体を代表する者	野口 典子	南郷地区総合型 地域スポーツク ラブ	事務局 員	地域スポーツ健康づくり
市民公募	大賀 龍夫	市民公募		

10-1. その他

1 第3期宗像市スポーツ推進計画諮問

(公印省略)

5宗文第193号
令和5年8月2日

宗像市スポーツ推進審議会 会長 様

宗像市教育委員会教育長 高宮 史郎
(文化スポーツ課スポーツ推進係)

第3期 宗像市スポーツ推進計画の策定について（諮問）

本市におけるスポーツ施策につきましては、令和2年3月に策定した第2期宗像市スポーツ推進計画等に基づき、総合的かつ計画的に推進しています。

この計画策定直後は世界的な規模で新型コロナウイルス感染症拡大が急速に進み、様々なスポーツ活動が中止や延期を余儀なくされ、スポーツに親しむ機会が失われていった一方で、感染症対策の徹底やデジタルを活用した新しい観戦方法の導入といった様々な創意工夫により、スポーツイベントや児童・生徒・学生の大会を開催するなど、スポーツを通じて市民や社会を勇気づける取り組みが続けられてきました。

この第2期計画の策定時には予期しなかった事象に加え、本市の社会環境は大きく変化しています。令和元年に人口が9万7千人を超えて以降これまで横ばいで推移していますが、6歳以下人口の減少が加速化しており、いよいよこれから児童数に加え、生徒数の減少が加速化するなど少子高齢化がさらに進むことが見込まれています（令和5年5月末現在の高齢化率30.3%）。このことは、スポーツに参画する者やそれを支える担い手の不足、学校部活動や地域におけるスポーツ・運動環境の維持の困難さにつながると考えられます。

今後、スポーツ基本法の前文において「スポーツは、心身の健全な発達、健康及び体力の増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動であり、今日、国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なもの」と示されていることも踏まえ、あらゆる世代のスポーツ機会を確保できるよう、スポーツを活用した健康増進やまちづくりの取り組みを推進することが大切であると考えます。

来年度、第2期宗像市スポーツ推進計画の計画期間が終了することから、これらの第2期計画期間中の動向を踏まえつつ、令和7年度から令和11年度までを対象期間とする第3期計画を新たに策定するため、この5年間のスポーツ施策の目指すべき方向性について、貴審議会のご意見を伺いたく、諮問いたします。

2 第3期宗像市スポーツ推進計画答申

令和7年3月11日

宗像市教育委員会
教育長 猿樂 隆司 様

宗像市スポーツ推進審議会
会長 市丸 直人

第3期宗像市スポーツ推進計画（案）について（答申）

令和5年8月2日付け5宗文ス第193号により諮問のあった標記の件について、本審議会で慎重に審議を重ねた結果、別添のとおり答申します。

今回のスポーツ推進計画においては、第2期スポーツ推進計画の振り返りや市民ニーズの分析などから課題を整理したうえで、本市のスポーツ施策の5年先の将来像を見据えた基本的な方針を示すものとして、①健康づくりの推進、②生きがいづくりの推進、③子どものスポーツの推進、④基盤体制の整備、⑤情報発信の強化、⑥地域資源の活用
の6つの視点を提示しました。さらに、これまでの計画よりも目標を共有しやすく、また、各主体が連携しながらより効果的に推進できる計画となるよう、5年後に達成したい状況や目標数値、関係団体の役割を明確に示すことを提示しました。

スポーツは、生活習慣病の予防等身体的な健康の維持増進だけでなく、爽快感や達成感、楽しみや喜びをもたらす、さらには、人と人、地域と地域との交流も深め、人生をより豊かに、充実したものとします。そのため本計画では、市民の誰もがいつまでもスポーツを楽しみ、喜びを実感し続けることで、スポーツが市民にとって、人生を豊かに彩る存在となることを目指します。

宗像市におきましては、この答申を踏まえ、「「スポーツ」と「市民」と「宗像市」と共に創る 笑顔輝くおなかたのまち」という基本理念の実現に向けて、着実に取り組みを推進されるよう切に希望します。

3 パブリック・コメントの意見およびその回答

様式

第3期宗像市スポーツ推進計画（案）に関する市民意見提出手続の意見及びその回答

箇所	意 見	対応	回 答
(P7-4)	基本方針2 誰もがスポーツを楽しむことのできる環境づくり 施策目標⑦ スポーツを始めるきっかけとしてeスポーツの普及について研究しているところですが、宗像市としてeスポーツをスポーツとして捉えているかどうかについて明確にした方がよいのではないのでしょうか。そしてその上で、仮に明確にしておられるのであれば目標へ近づいているかどうか確認できるように指標や目標値を示したほうが良いのではないのでしょうか。例えば「eスポーツに触れる機会をつくり年間100人に機会を提供する」など。	原案とおり	本計画においては、競技スポーツから身体活動までをスポーツと定義しており、この身体活動に含まれるeスポーツについては、スポーツとして捉えています。 また、目標値については、現在、eスポーツの分野について知識や経験の積み上げが十分ではありません。そのため本計画期間では、目標値を示すための前段階としてeスポーツをどのように市民の健康づくりや生きがいづくり等に活用できるか研究に取り組みることとし、具体的な目標値については、この研究の結果を基に次の計画の中で検討します。
P7-6	基本方針4 スポーツ活動を支える基盤体制の整備 施策目標⑤ スポーツ施設に関する計画に基づく施設の集約・複合化や既存施設の有効活用等を着実に実行しているとありますが、下記に具体的な記載がない理由は何でしょうか。現状値はなくても目標値は出せるのではないのでしょうか。	原案とおり	本市のスポーツ施設は老朽化が進行しています。本市を取り巻く社会環境については、近年では物価が上昇し続け、将来においては人口の減少が予測される等の状況です。 本市はスポーツ施設の充実とコストの削減が重要と考えています。そこで、令和6年度にスポーツ施設の利用実態や将来需要、最良案を明らかにできるように調査を行いました。 この調査結果を基に令和7年度以降、スポーツ施設に関する方針を決定する予定です。具体的な目標値については、そちらで検討する予定であるため、本計画には記載をしておりません。
P7-6	基本方針4 スポーツ活動を支える基盤体制の整備 施策目標⑥ 市民が施設にアクセスしやすくなる対策を研究しているところですが、記載がない理由は何でしょうか。もし仮に、交通手段などの移動（アクセス）に関する課題についての対策でありましたら、公共交通計画の中で議論がなされることとなるのでスポーツ推進計画の中で何か選択や判断して決定する余地があるのか、そして現状値や目標値などの指標は明示できるのか疑問が残ります。	原案とおり	市民アンケートの結果、スポーツ環境の整備に関しては、身近に気軽にスポーツを行える環境づくりも重要と考えています。 本市のスポーツ施設は老朽化が進行しています。本市を取り巻く社会環境については、近年では物価が上昇し続け、将来においては人口の減少が予測される等の状況です。 本市はスポーツ施設の充実とコストの削減が重要と考えています。そこで、令和6年度にスポーツ施設の利用実態や将来需要、最良案を明らかにできるように調査を行いました。 この調査結果を基に令和7年度以降、スポーツ施設に関する方針を決定する予定です。 この方針を基に市民が身近に気軽にスポーツを行える環境づくりについて研究に取り組みることとし、具体的な目標値については、この研究の結果を基に必要に応じて関係部署と連携して次の計画等の中で検討します。